

← NW

SE→



写真⑫



写真⑬

← E

W→



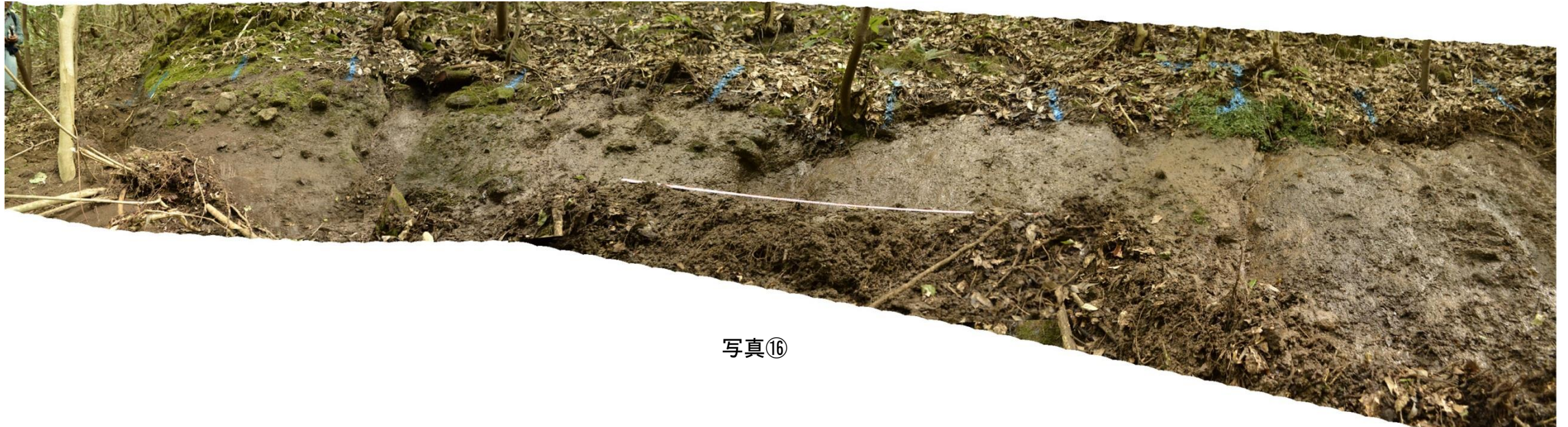
写真⑭

← NW

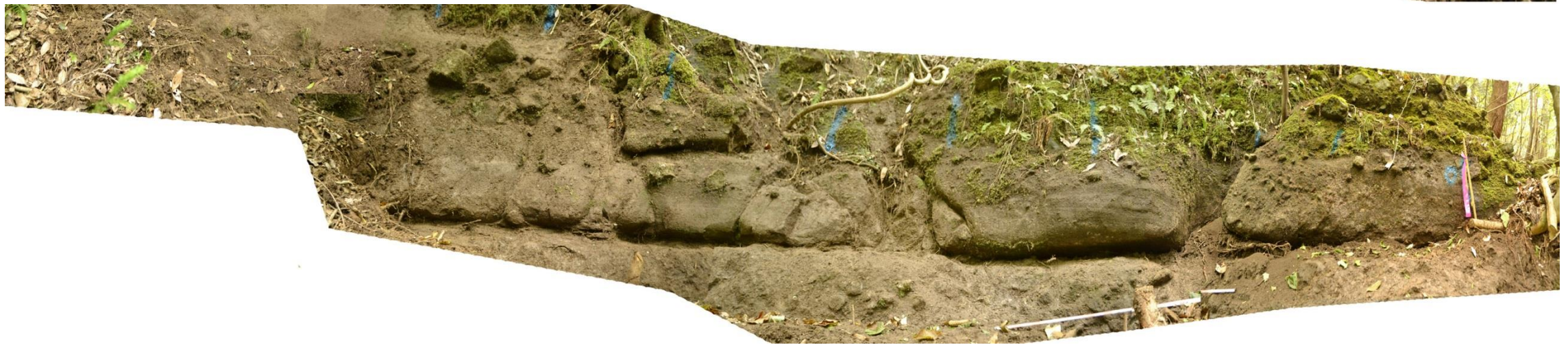
SE →



写真⑮



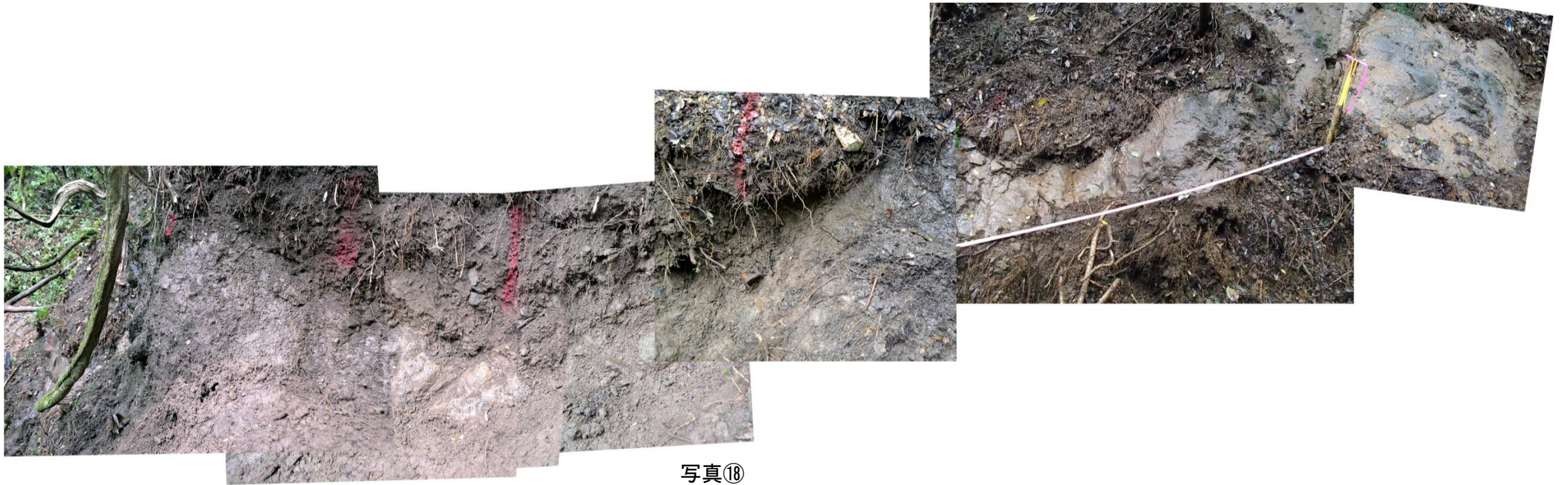
写真⑯



写真⑰

← W

E →



写真⑱

← NW

SE →



写真⑲

← N

S →



写真⑳

← SE

NW→



写真㉓

← E

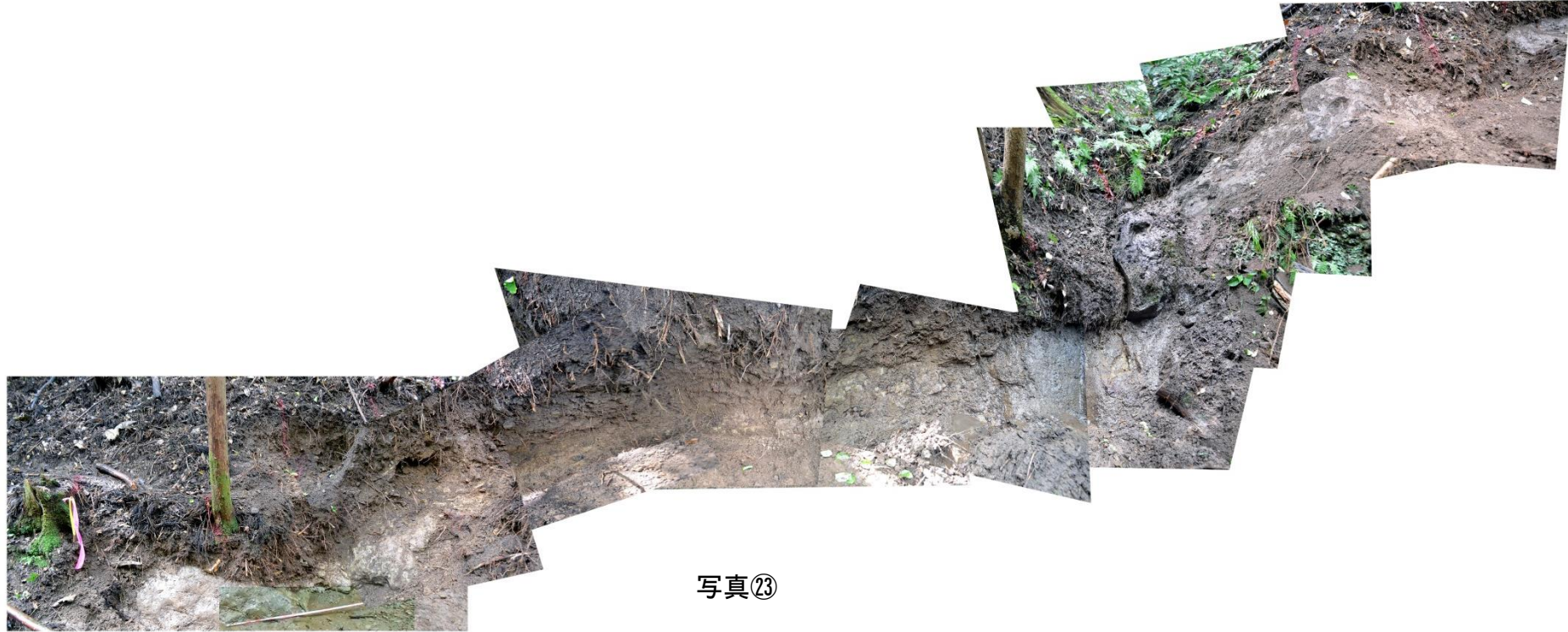
W→



写真㉔

← NE

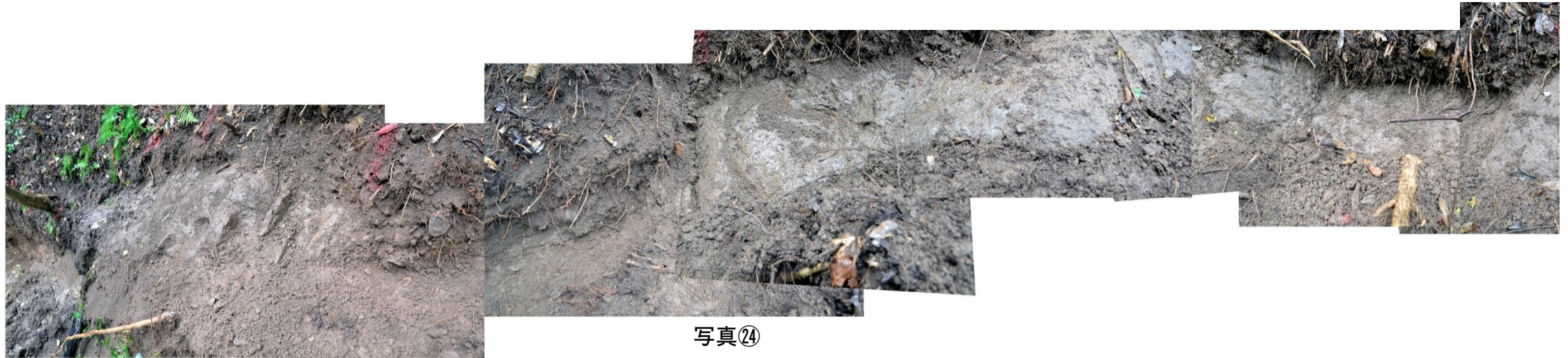
SW→



写真㉓

← E

W→

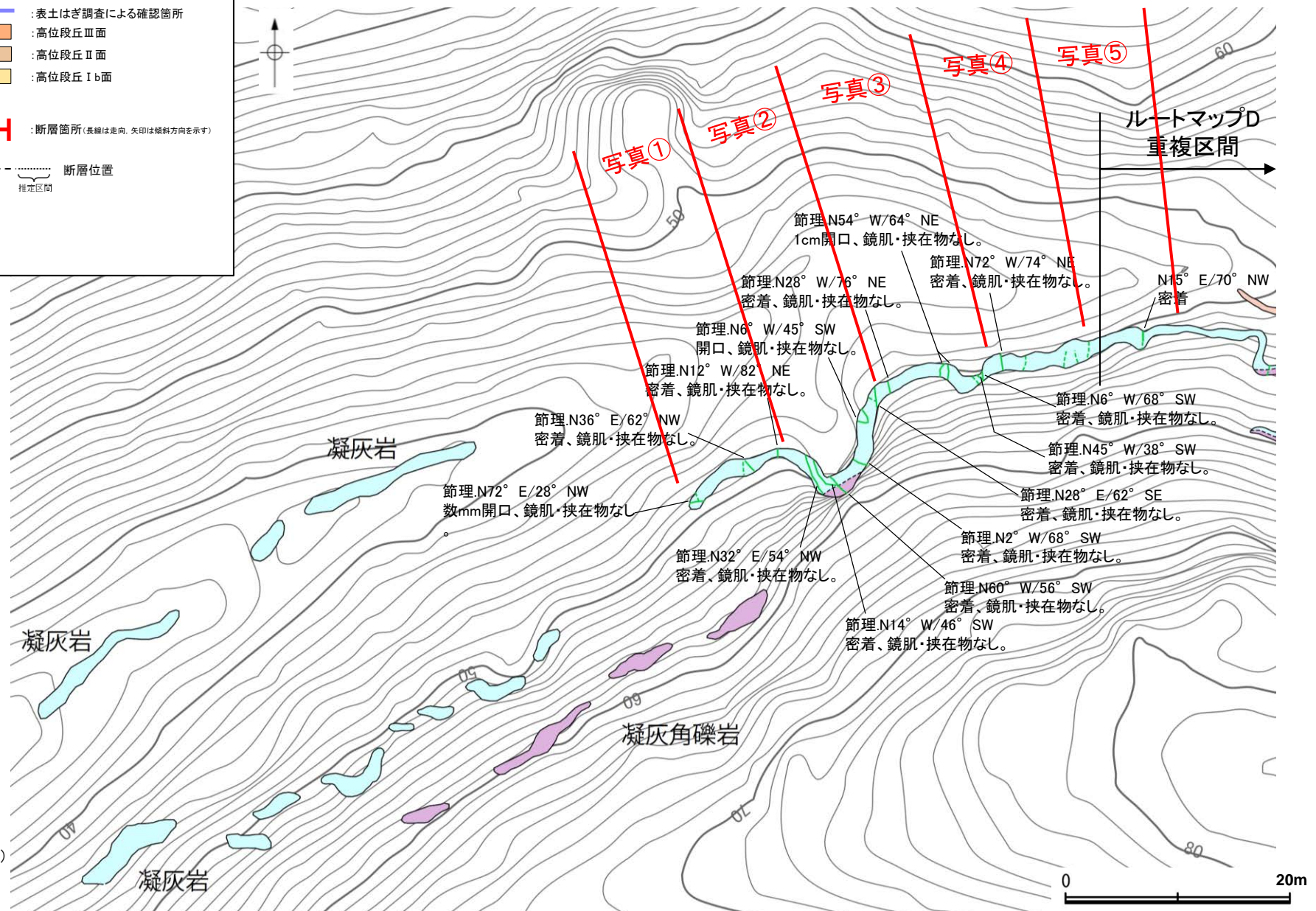
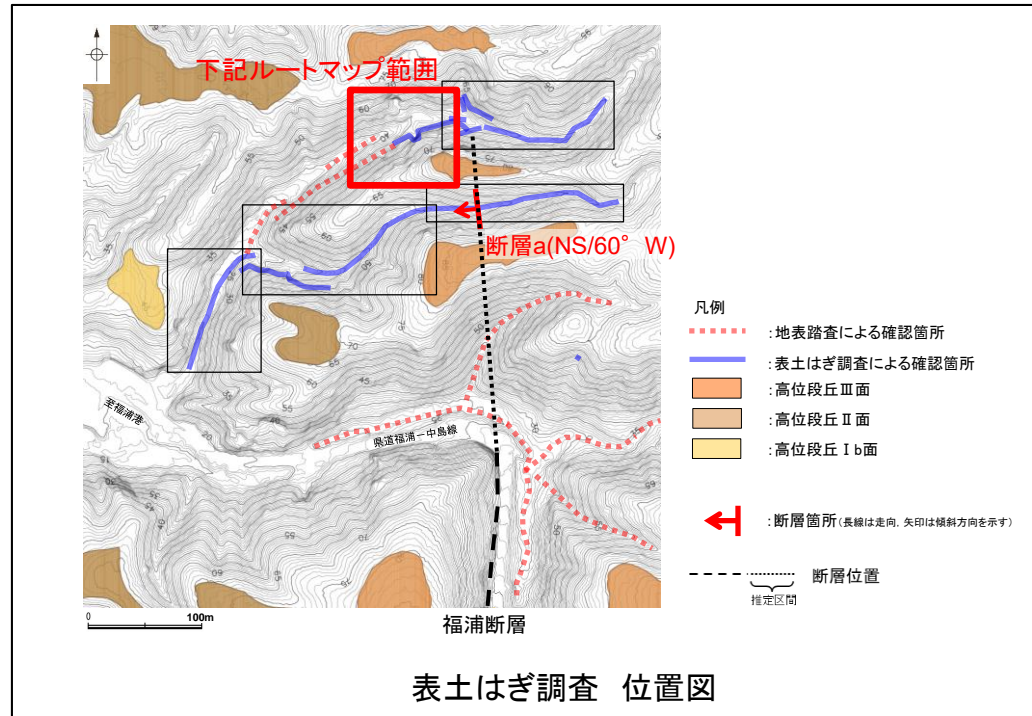


写真㉔



写真㉕

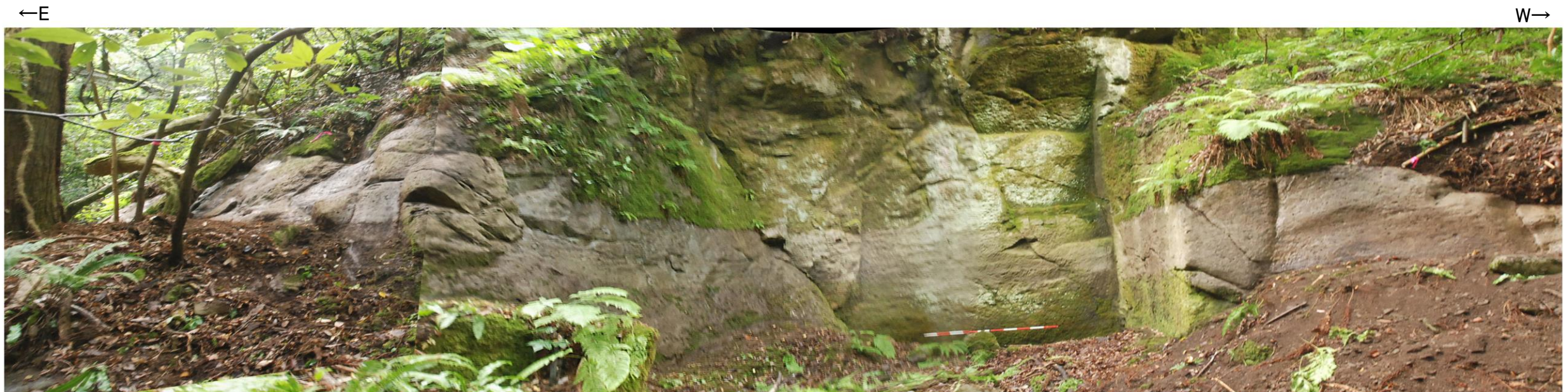
○表土はぎ調査(ルートマップE)の結果, 本調査範囲内には断層は認められない。  
○全線の写真を次頁以降に示す。



表土はぎ調査結果(ルートマップE)



写真①



写真②

←E



W→

写真③

下写真 撮影方向



←E



W→

写真④



←E

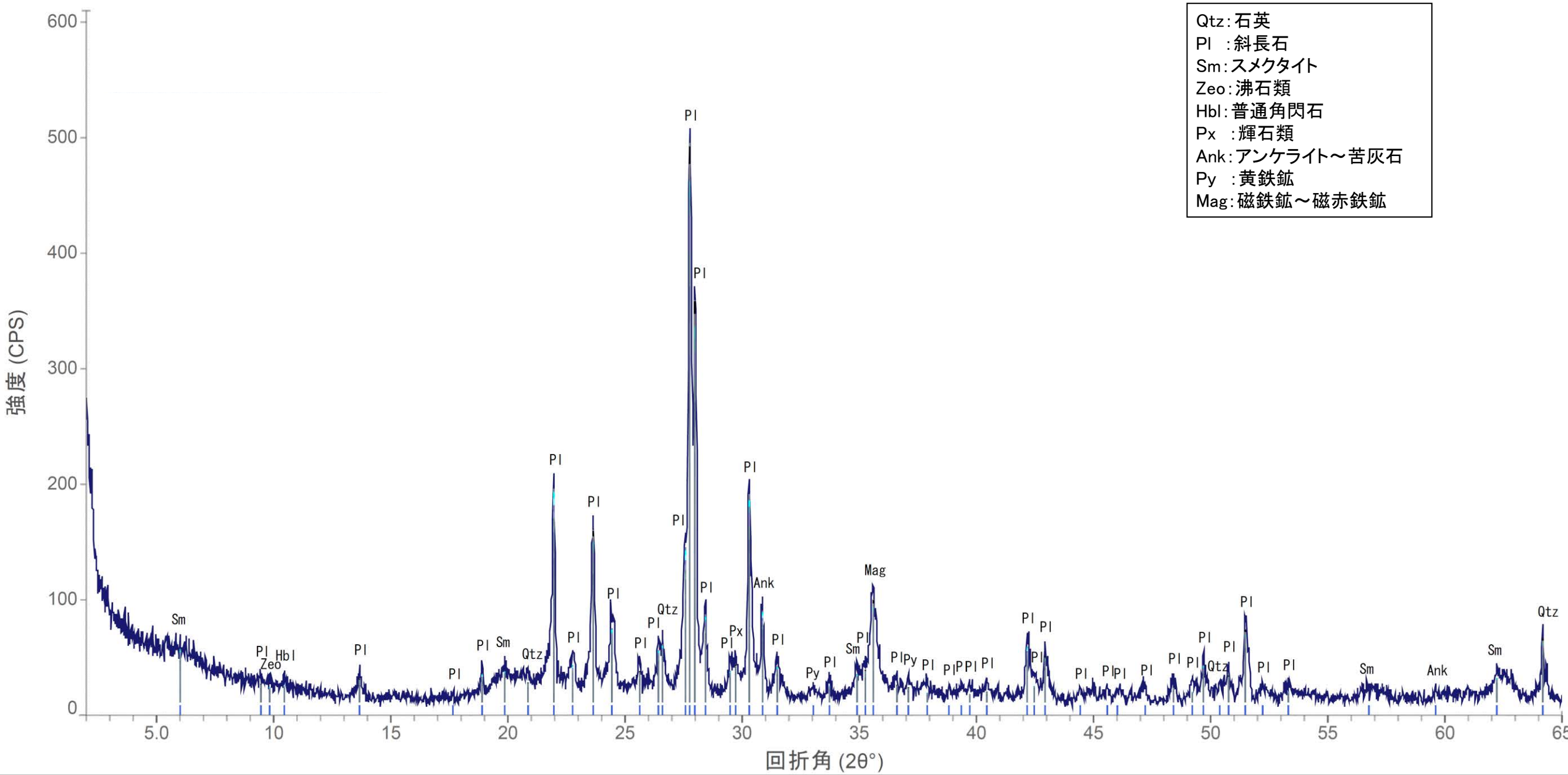


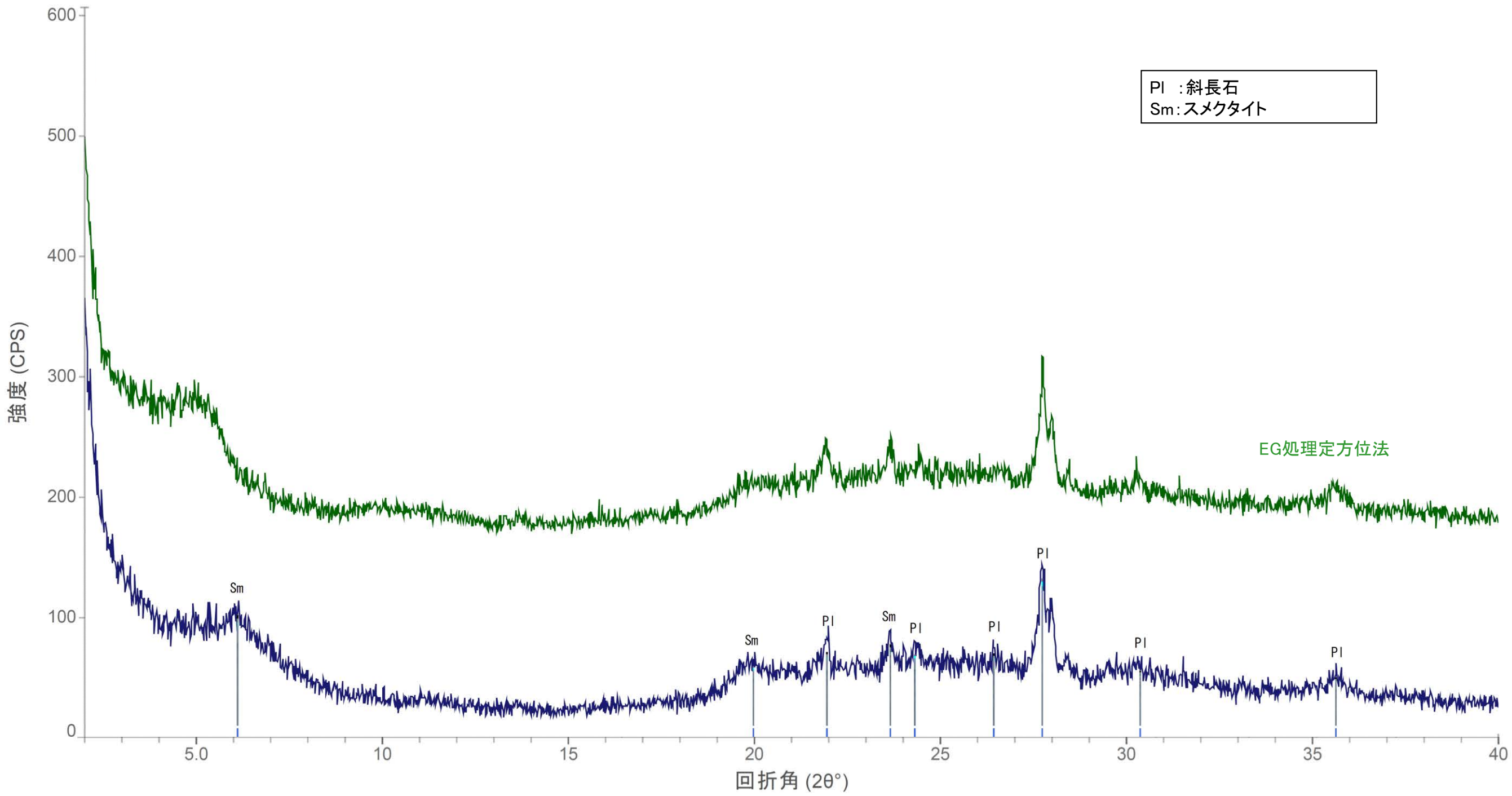
W→

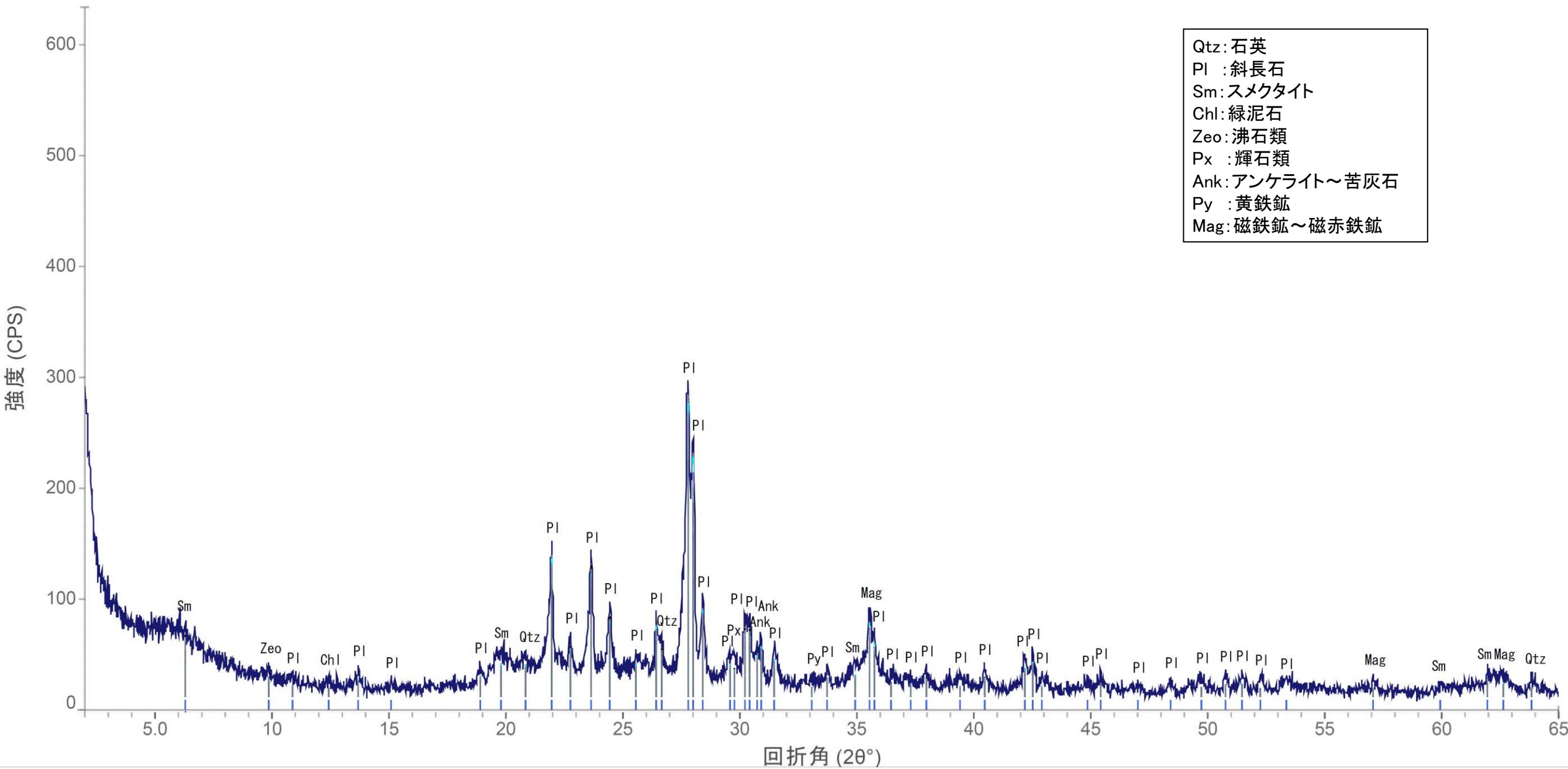
写真⑤

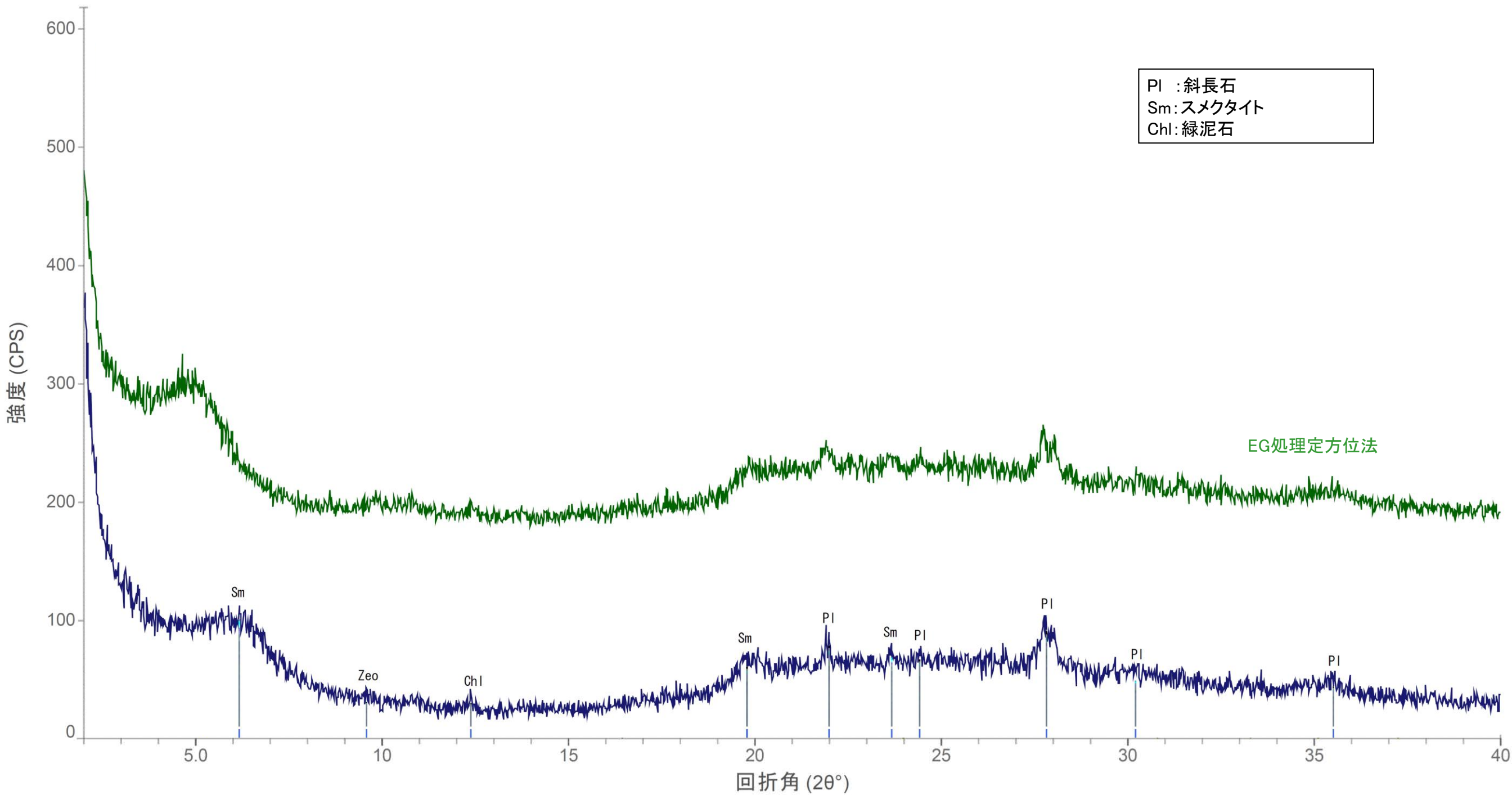
---

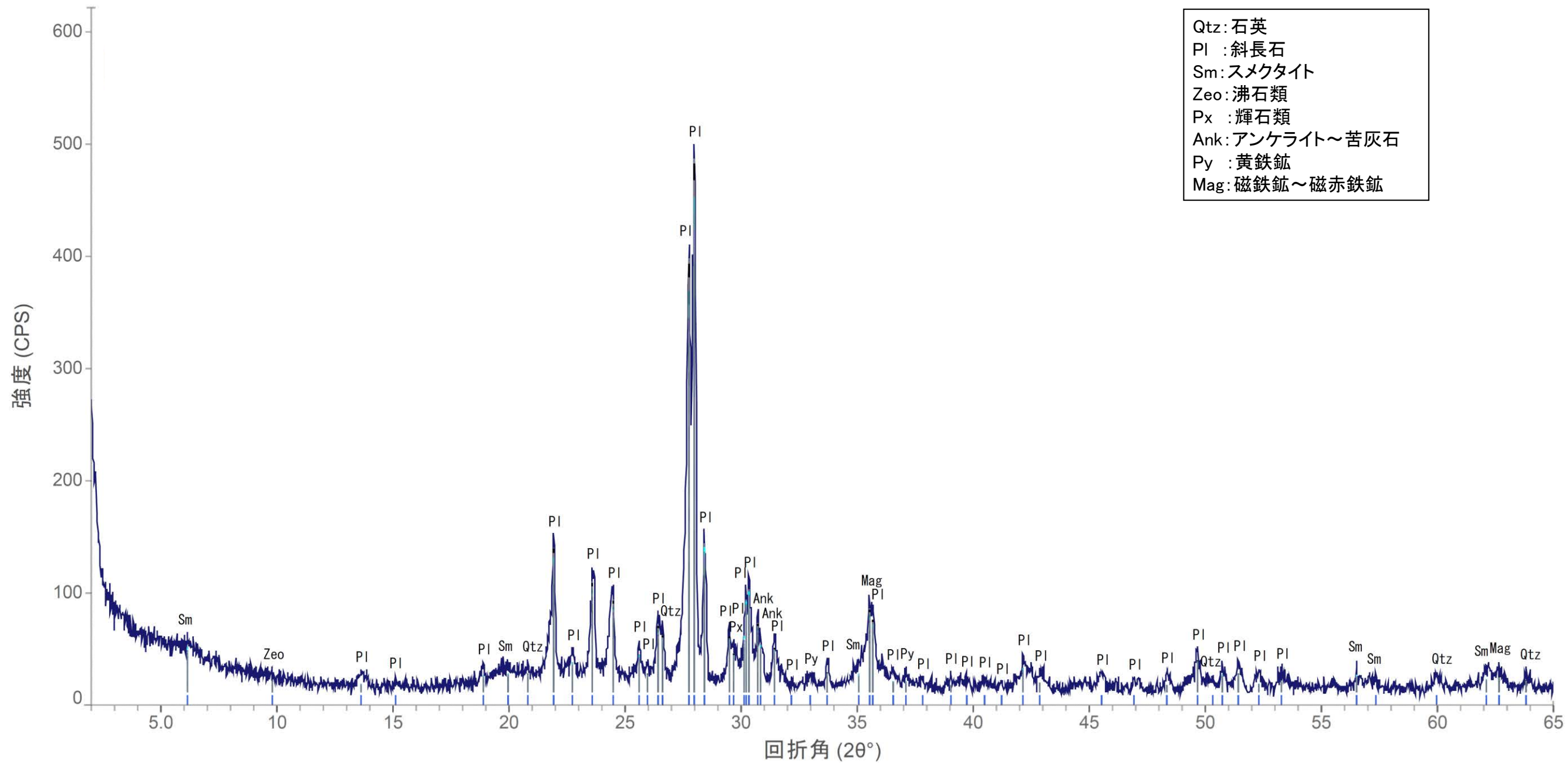
## (8) 福浦断層北端付近 XRD分析

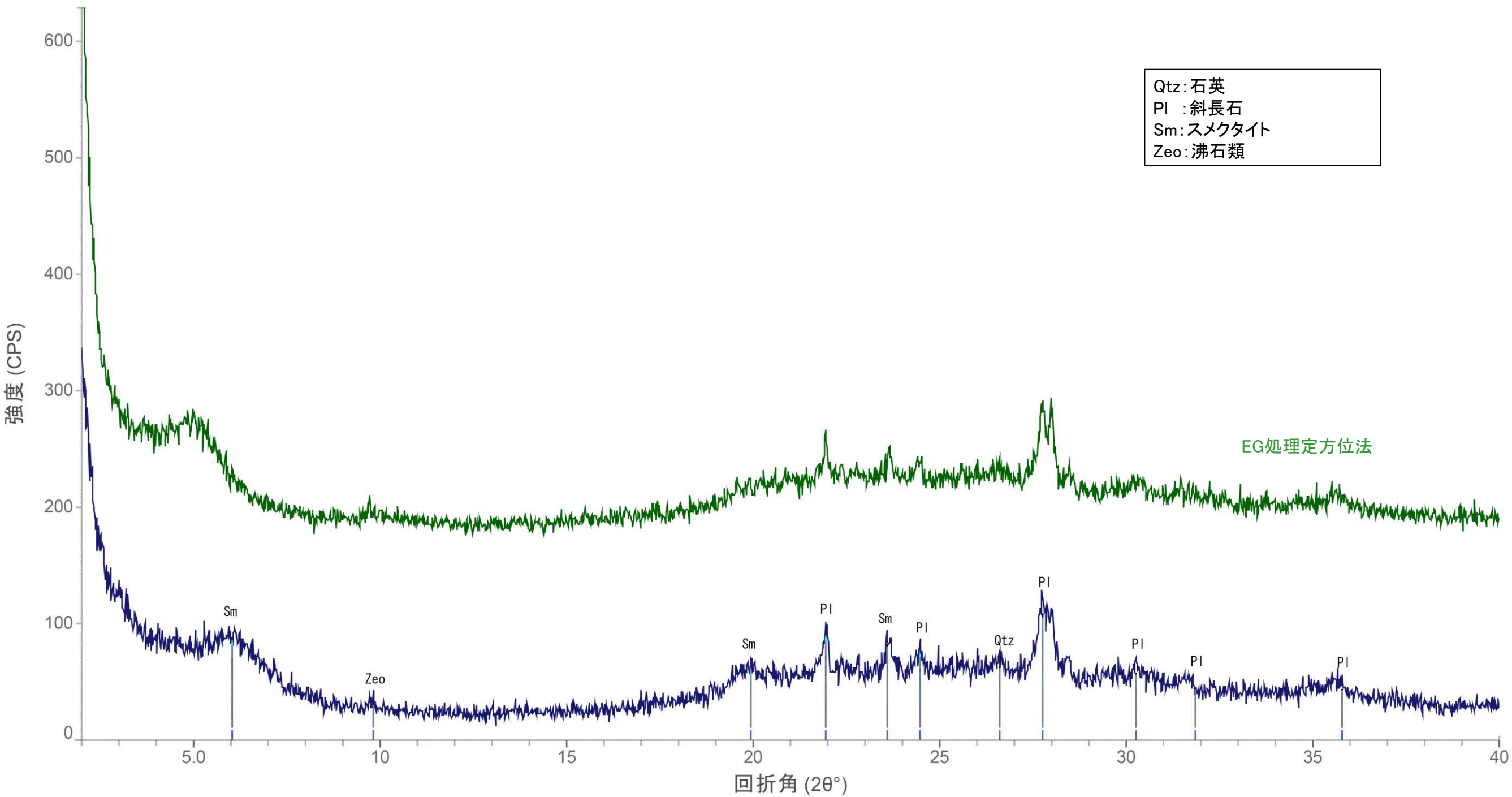








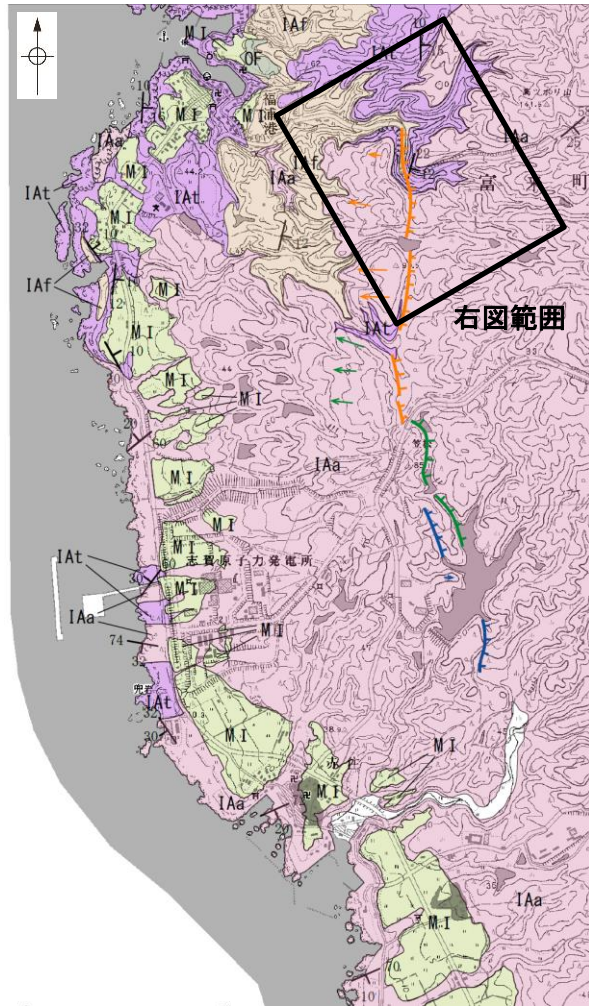






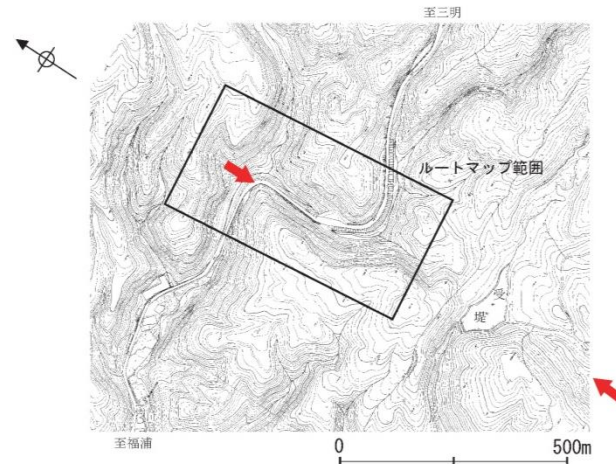
---

(9) 県道福浦一中島線沿い河床地表踏査(既往調査)



右図範囲

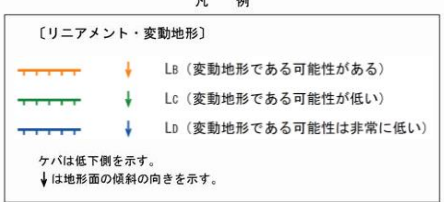
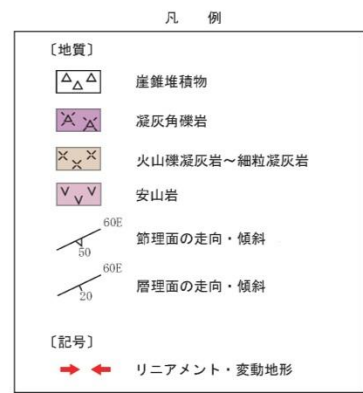
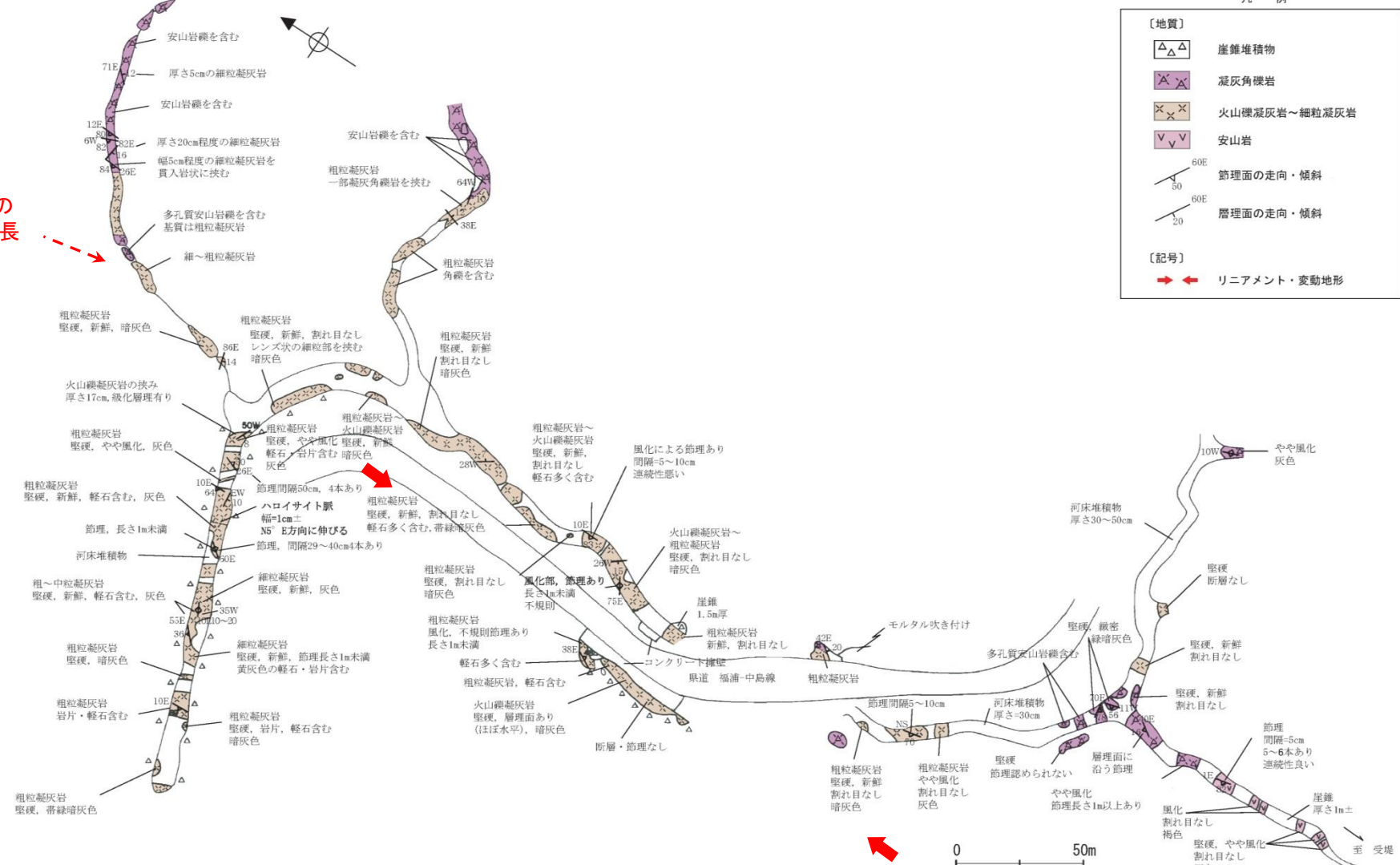
位置図



周辺地形図

・リニアメント・変動地形の北方延長に位置する県道福浦—中島線沿いの河床には、凝灰岩の露頭がほぼ連続して分布し、そこに断層は認められない。

断層aの  
南方延長



〔地質〕

地質時代	地層・岩石名
第四紀	AL 沖積層
	OF 古期扇状地堆積層
	MI 中段丘I面堆積層
新第三紀	IAa 別所岳安山岩類 安山岩
	IAt 別所岳安山岩類 安山岩質火砕岩(凝灰角礫岩)
	IAF 別所岳安山岩類 安山岩質～デイサイト質火砕岩(凝灰岩)

県道福浦—中島線沿い河床地表踏査結果 (ルートマップ)

---

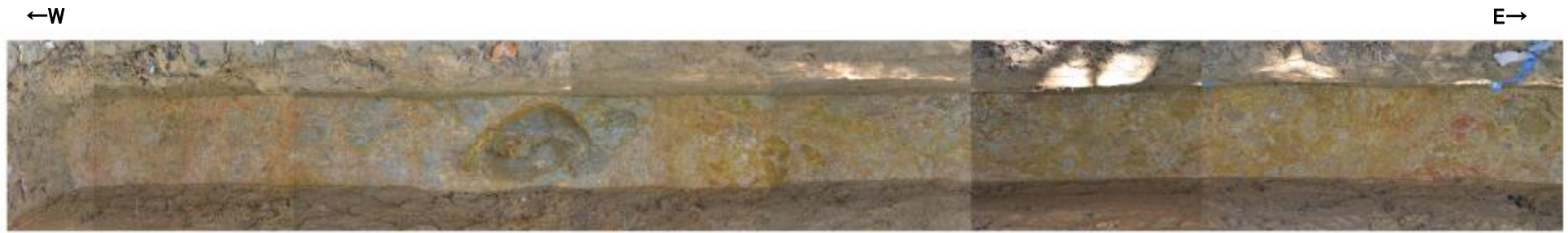
余白

---

## (10) 赤住東部 表土はぎ調査



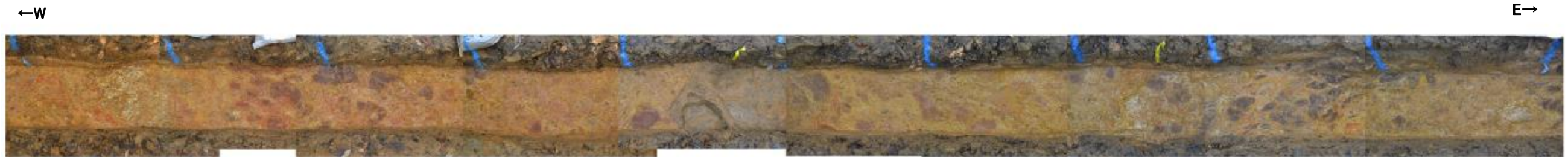
赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真①～④



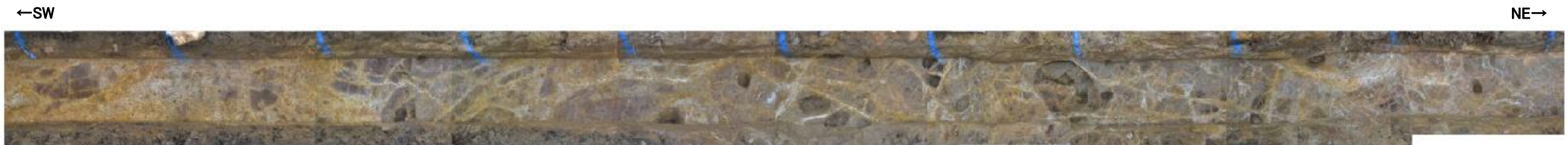
写真①



写真②



写真③



写真④

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真⑤～⑧

←W

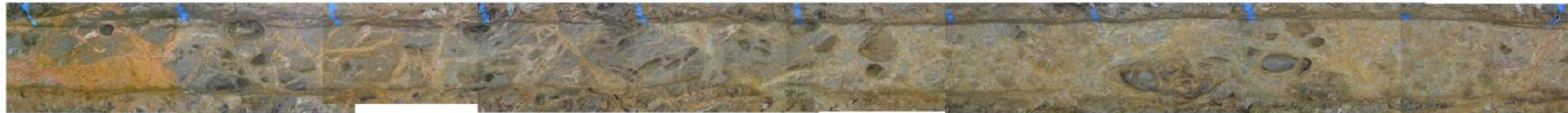
E→



写真⑤

←W

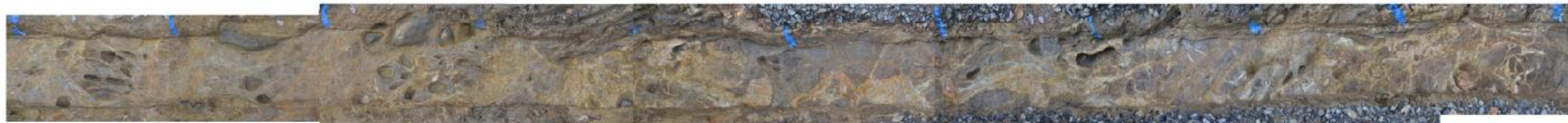
E→



写真⑥

←W

E→



写真⑦

←SW

NE→



写真⑧

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真⑨～⑫



写真⑨



写真⑩



写真⑪



写真⑫



←W

E→



写真⑬

←W

E→



写真⑭

←W

E→



写真⑮

←SW

NE→



写真⑯

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真⑰～⑳

←W

E→



写真⑰

←W

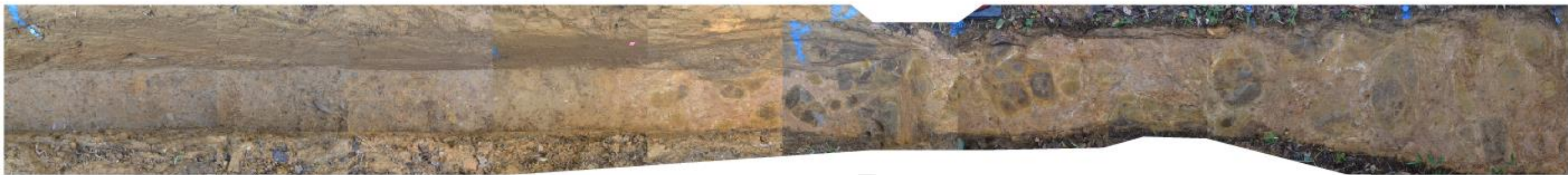
E→



写真⑱

←W

E→



写真⑲

←SW

NE→



写真⑳

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真⑳～㉔

←W

E→



写真㉑

←W

E→



写真㉒

←W

E→



写真㉓

←SW

NE→



写真㉔

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真⑳～㉔

←W

E→

写真㉔

←W

E→

写真㉕

←W

E→

写真㉖

←SW

NE→

写真㉗

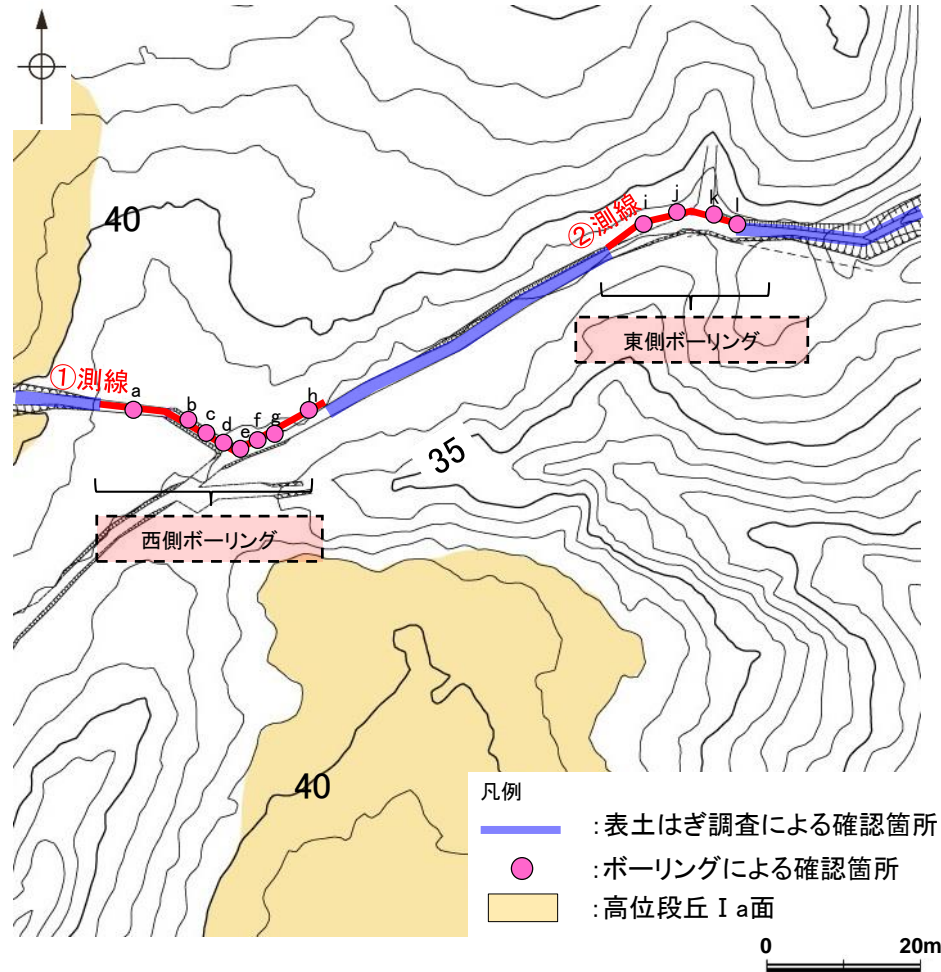
←W

E→

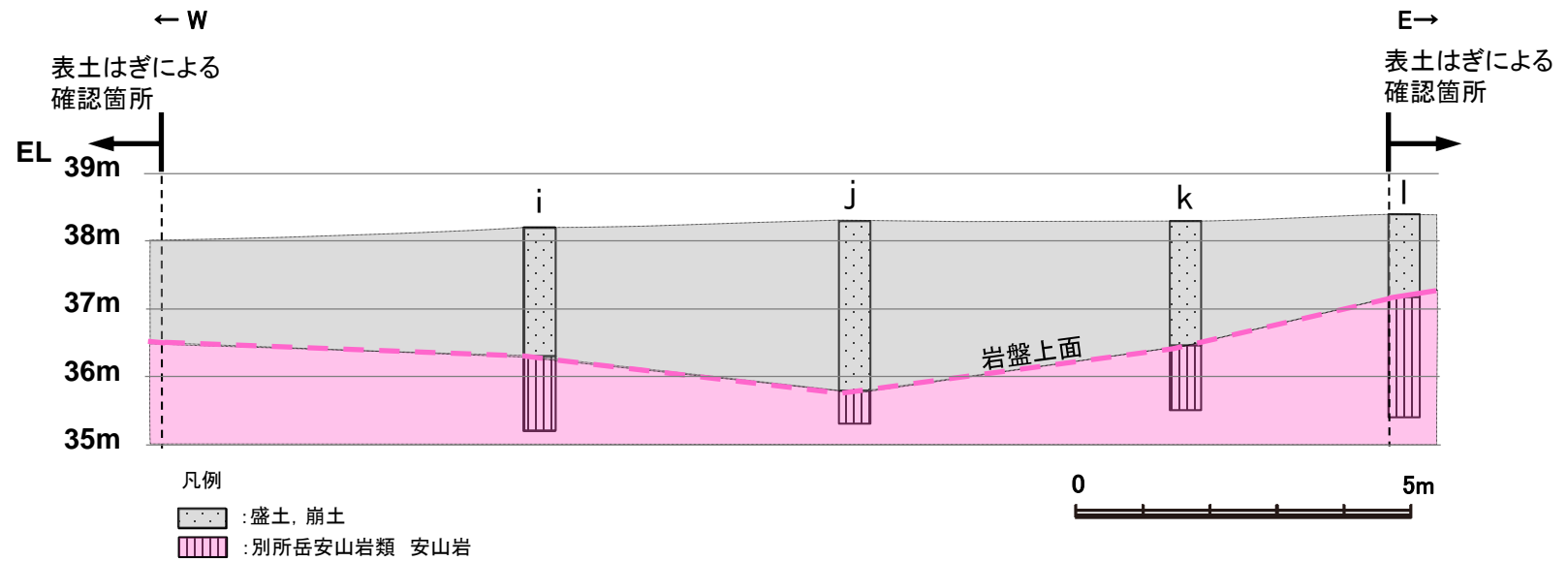


写真②9

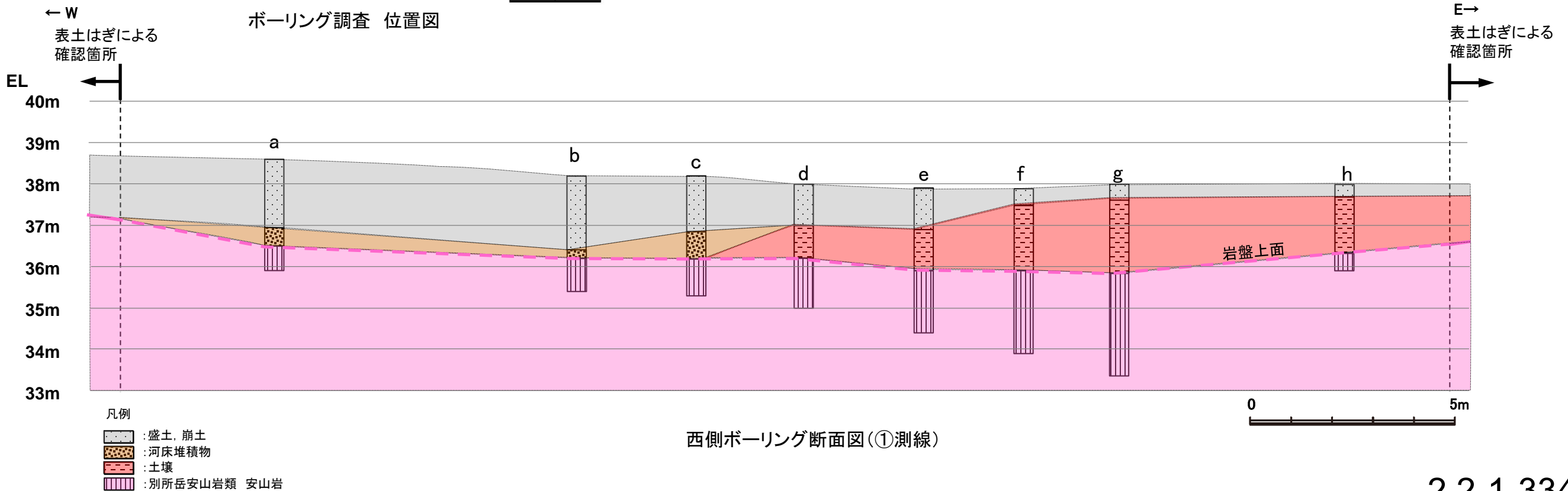
# 赤住東部 ボーリング調査 位置図, 断面図



○ボーリング調査(①測線・②測線)の結果, 岩盤上面はEL36~37m付近で, ほぼ水平である。  
○ボーリングコア写真及び柱状図(a~l)を次頁以降に示す。



東側ボーリング断面図(②測線)



西側ボーリング断面図(①測線)

柱状図a

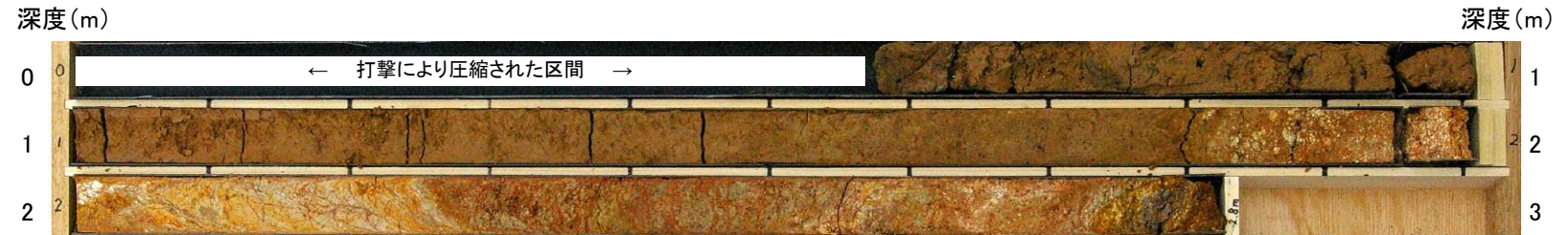
深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.0 - 1.8		埋土									
1.8 - 2.0		河床堆積物?	砂礫	赤褐 (5YR 4/8)							礫は、安山岩や凝灰岩の亜円～亜角礫 (径 0.5-3cm) からなり、基質はシルトである。
2.0 - 2.5		穴水層	安山岩	緑灰～暗緑灰 (10G 5/1-4/1)							全体的に強風化しており、ナイフで容易に削れるが、概ね原岩組織が確認できる。深度 2.3m 付近には、幅 1cm 程度のギブサイト脈が見られる。深度 2.0-2.4m には、まばらに赤褐色を呈す粘土が見られる。



コア写真a

柱状図b

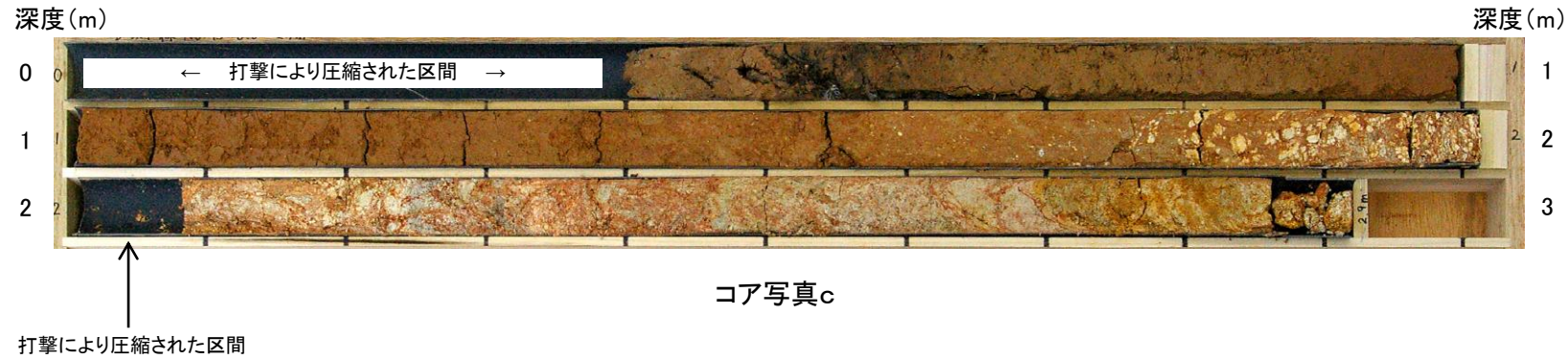
深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.0 - 1.8		埋土		灰黄褐 (10YR 4/2)							
1.8 - 2.0		河床堆積物?	砂礫	赤褐 (5YR 4/6)	なし						礫は、安山岩の亜角礫 (径 1cm 以下) からなり、基質はシルト質粘土である。
2.0 - 2.5		穴水層	安山岩	灰 (5Y 6/1) 暗緑灰～暗オリーブ灰 (7.5G1-5G1 4/1)							全体的に強風化しており、ナイフで容易に削れる。亀裂に沿って赤褐色を呈す粘土が見られる。



コア写真b

柱状図c

深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.0		埋土									
0.0		腐植質シルト		黒 (10YR 2/1)	なし	富	疎	半湿	不明	なし	指圧で指が入る程、非常に締りは悪い。
0.5		シルト		にぶい黄褐色 (10YR 5/4)	なし	含	疎	半湿	不明	なし	指圧で跡が残る程、締りの程度は悪い。希に、炭化物を含む。
1.0		砂混じりシルト		褐 (7.5YR 4/6)	不明	なし	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。希に、炭化物や径1mm以下の白色粒子を含む。
1.5		河床堆積物?	礫混じりシルト質粘土	赤褐~明赤褐 (5YR 4/6-5/6)	なし	なし	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。安山岩や凝灰岩の亜角~角礫 (径2cm以下) を含み、全体的にくさり礫化している。
2.0		砂礫	赤褐 (5YR 4/6)	なし							礫は、安山岩の亜角礫 (径2cm以下) からなり、全体的にくさり礫化している。基質はシルトである。
2.5		穴水層	安山岩	灰 (5Y 6/1)							全体的に強風化しており、ナイフで容易に削れる。深度2.0~2.15mは水分を多く含み非常に軟質化している。深度2.0~2.7mでは、亀裂に沿って赤褐色を呈す粘土が見られる。
				灰~灰オリーブ (5Y 5/1-6/2)							
				オリーブ灰 (10Y 4/2)							



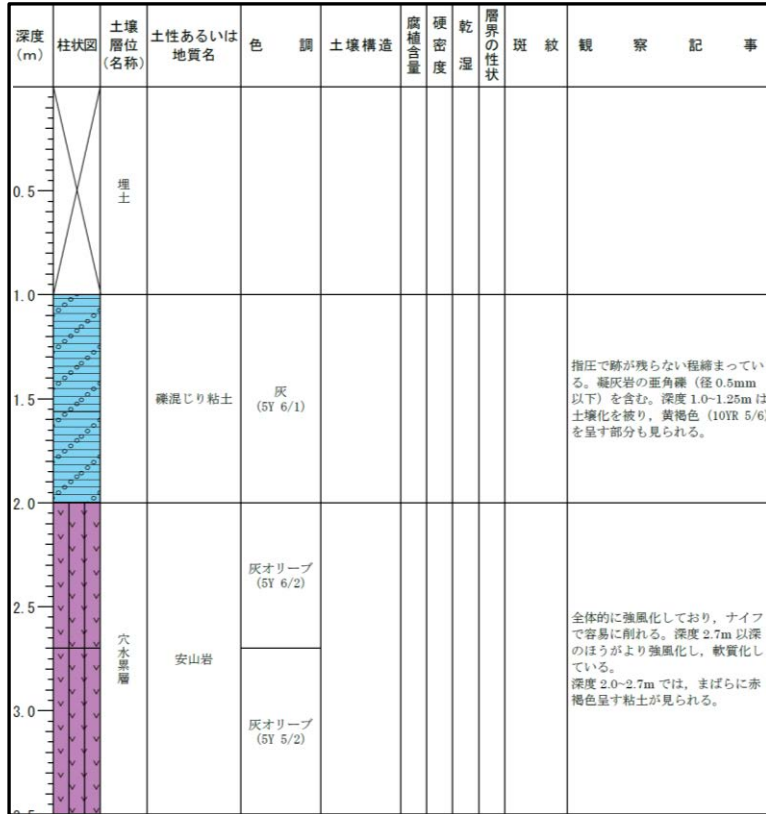
柱状図d

深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.0		埋土									
0.5		砂混じりシルト		褐 (7.5YR 4/6)	不明	なし	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。下部10cm程度は明褐色を呈す。
1.5		礫混じり粘土		灰 (5Y 6/1)							指圧で跡が残らない程締まっている。上部30cm程度は、土壌化を披り、にぶい黄褐色 (10YR 6/4) を呈す。凝灰岩のくさり礫 (径1cm以下) を含む。
2.0		穴水層	安山岩	橙 (5YR 7/6)							全体的に強風化しており、ナイフで容易に削れる。深度1.85~2.0mにかけて上位の灰色粘土の流入が見られる。深度2.85mおよび3.7m付近では粘土化し、にぶい橙色を呈す。深度2.7~2.9mでは、亀裂に沿って赤褐色を呈す粘土が見られる。深度2.6~3.6mでは、褐色部がまばらに見られる。
				灰白 (10YR 7/1)							
				にぶい黄褐色 (10YR 5/4)							
				灰オリーブ (5Y 6/1)							





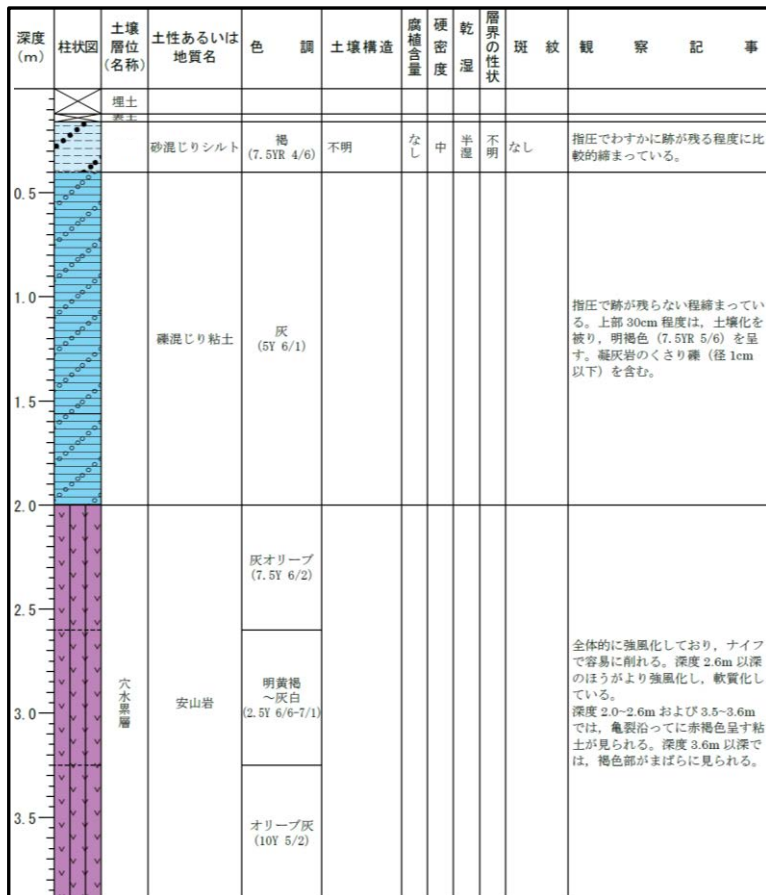
柱状図e



コア写真e

打撃により圧縮された区間

柱状図f



コア写真f

打撃により圧縮された区間

柱状図g

深度 (m)	柱状図	土層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土層構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.0		盛土									
0.0		表土									
0.0		崩積土	シルト質細粒砂	にぶい黄褐 (10YR 4/3)	なし	含	中	半 湿	不 明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。希に、凝灰岩の亜角礫を含む。
0.5											
0.5			シルト質粘土	明赤褐 (2.5YR 5/6) まばらに灰 (5Y 5/1)							指圧で跡が残らない程締まっている。希に、凝灰岩の亜角礫を含む。
1.0											
1.0				灰 (5Y 6/1)							
1.5											
1.5			安山岩	灰 (5Y 6/1)							
2.0											
2.0				灰 (5Y 6/1)							
2.5											
2.5			安山岩	灰オリーブ (7.5Y 5/2)							全体的に強風化しており、ナイフで容易に削れるが、深度4.1m以下は比較的新鮮で原岩組織が確認できる。 深度2.15~3.0mでは、亀裂部に赤褐色呈す粘土が見られる。 深度3.2~3.25mではギブサイト脈が見られる。 深度3.5~3.95mは水分を多く含み非常に軟質化している。
3.0											
3.0			穴水患層	橙 (5YR 6/6)							
3.5											
3.5				灰オリーブ (5Y 5/3)							
4.0											
4.0				緑灰 (7.5GY 6/1)							
4.5											



コア写真g

打撃により圧縮された区間

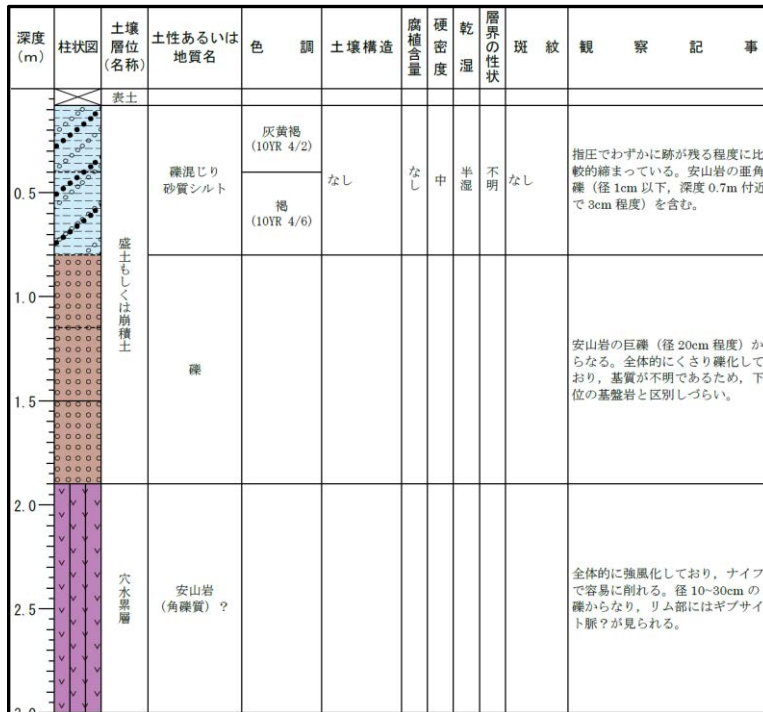
柱状図h

深度 (m)	柱状図	土層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土層構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.0		表土	腐植混じり砂質シルト	暗褐 (10YR 3/4)	なし	含	中	半 湿	不 明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。
0.0		崩積土	礫混じりシルト質細粒砂	にぶい黄褐 (10YR 4/3)	なし	含	中	半 湿	不 明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。凝灰岩の亜角礫 (径0.5cm以下) を含む。
0.5			シルト質粘土	褐 (10YR 4/4)		なし		半 湿	不 明	なし	指圧で跡が残らない程締まっている。希に、凝灰岩の亜角礫を含む。下部10cm程、灰黄褐色を呈す。
1.0				明赤褐 (2.5YR 5/6) まばらに灰白 (10YR 7/1)							指圧で跡が残らない程締まっている。深度0.6~1.0mは、明赤褐色を呈し、赤味が強い部分は赤色を呈す。深度1.0~1.65mは、主に灰色で、深度1.0~1.2mでは橙褐色を呈す部分も見られる。
1.5				灰 (5Y 6/1)							
2.0			穴水患層	安山岩	にぶい黄~オリーブ黄 (2.5-5Y 6/3)						全体的に強風化しており、ナイフで容易に削れる。深度1.7~1.9mにかけて上位層の灰色粘土の流入が見られる。
2.0				灰 (7.5Y 6/1)							

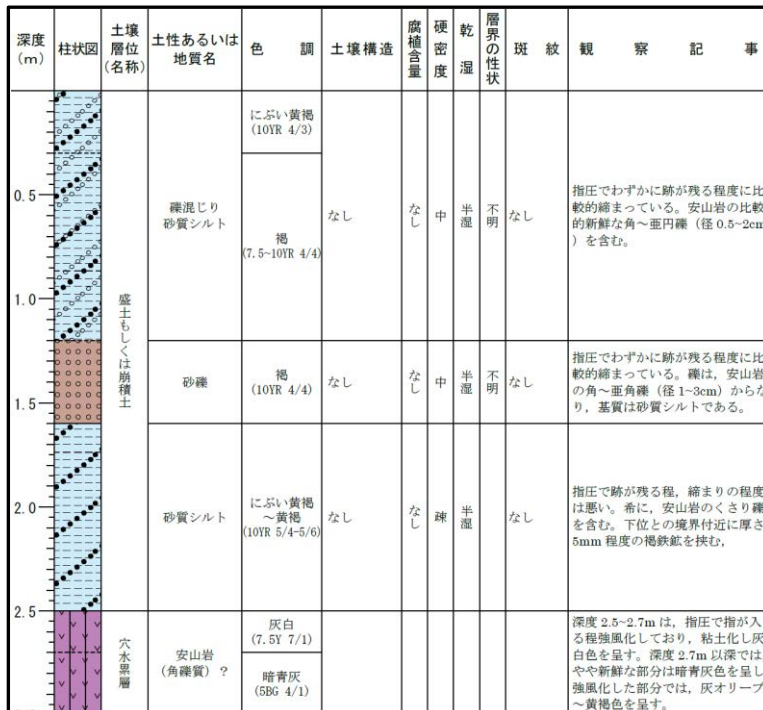


コア写真h

柱状図i



柱状図j



# 赤住東部 ボーリング調査 コア写真及び柱状図k~l

柱状図k

深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.5	盛土もしくは崩積土	砂質シルト	なし	黒褐 (2.5Y 3/2)	なし	なし	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。
暗褐〜褐 (10Y 3/4-4/4)											
1.0		礫混じり砂質シルト	暗灰褐 (2.5Y 4/2)	なし	なし	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。安山岩の亜角礫 (径 0.5-3cm) を含み、下部ほど礫径は大きくなる。	
1.5		砂礫	黒褐 (2.5Y 3/2)	なし	なし	密	半湿	不明	なし	指圧で跡が残らない程、締まっている。礫は、安山岩の角〜亜角礫 (径 3cm 以下) からなり、基質は砂質シルトである。	
2.0	穴水層	安山岩 (角礫質) ?	なし	褐 (10YR 4/6)	なし	なし	密	半湿	不明	なし	指圧で跡が残らない程、締まっている。希に、安山岩のくさり礫 (径 1cm 以下) を含む。厚さ 6mm 程度の薄鉄鉱を 2 枚挟む。
2.5				オリーブ灰 (10Y 5/2-4/2)							

深度 (m)



コア写真k

柱状図l

深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.5	盛土もしくは崩積土	礫混じり砂質シルト	なし	灰黄褐 (10Y 4/2)	なし	なし	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。安山岩のくさり礫 (径 1-3cm) を含む。深度 0.6-1.1m は、安山岩の巨礫である。
1.0				礫							
1.5		礫混じり粘土	にぶい褐 (7.5YR 5/3)	なし	なし	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。凝灰岩?のくさり礫を含む。	
2.0	穴水層	安山岩 (角礫質) ?	なし	にぶい褐 (7.5YR 5/3)	なし	なし	密	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。安山岩のくさり礫 (径 4cm 以上) からなり、基質は土壌化し、粘土化している。
2.5				にぶい橙 (7.5YR 6/4)							

深度 (m)



コア写真l



# 赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップG 写真①～⑤

←SW

NE→



写真①

←SW

NE→



写真②

←SW

NE→



写真③

←SW

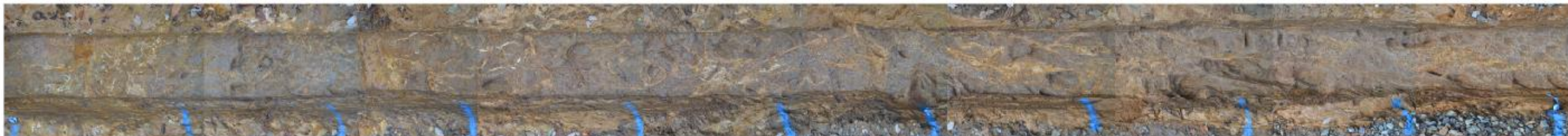
NE→



写真④

←SW

NE→



写真⑤

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップG 写真⑥～⑩

←SW

NE→



写真⑥

←SW

NE→



写真⑦

←SW

NE→



写真⑧

←SW

NE→



写真⑨

←SW

NE→



写真⑩

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップG 写真⑪～⑮

←SW

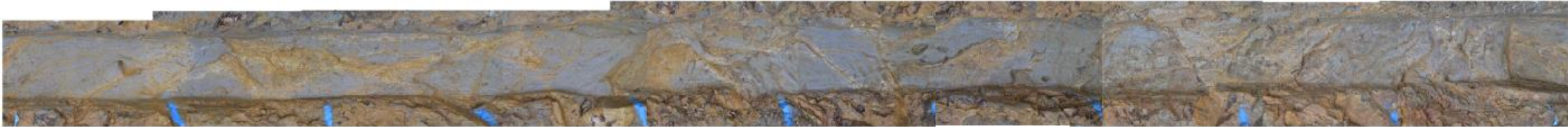
NE→



写真⑪

←SW

NE→



写真⑫

←SW

NE→



写真⑬

←SW

NE→



写真⑭

←SW

NE→



写真⑮



赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップG 写真①⑥～②①

←SW

NE→



写真①⑥

←SW

NE→



写真①⑦

←SW

NE→



写真①⑧

←SW

NE→



写真①⑨

←SW

NE→

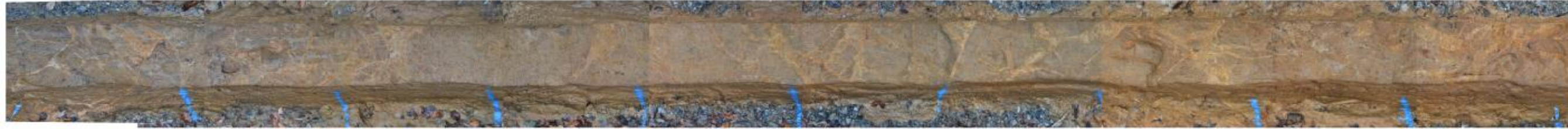


写真②①

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップG 写真⑳～㉕

←SW

NE→



写真㉑

←SW

NE→



写真㉒

←SW

NE→



写真㉓

←SW

NE→



写真㉔

←SW

NE→



写真㉕

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップG 写真②⑥～②⑦

←SW

NE→



写真②⑥

←SW

NE→



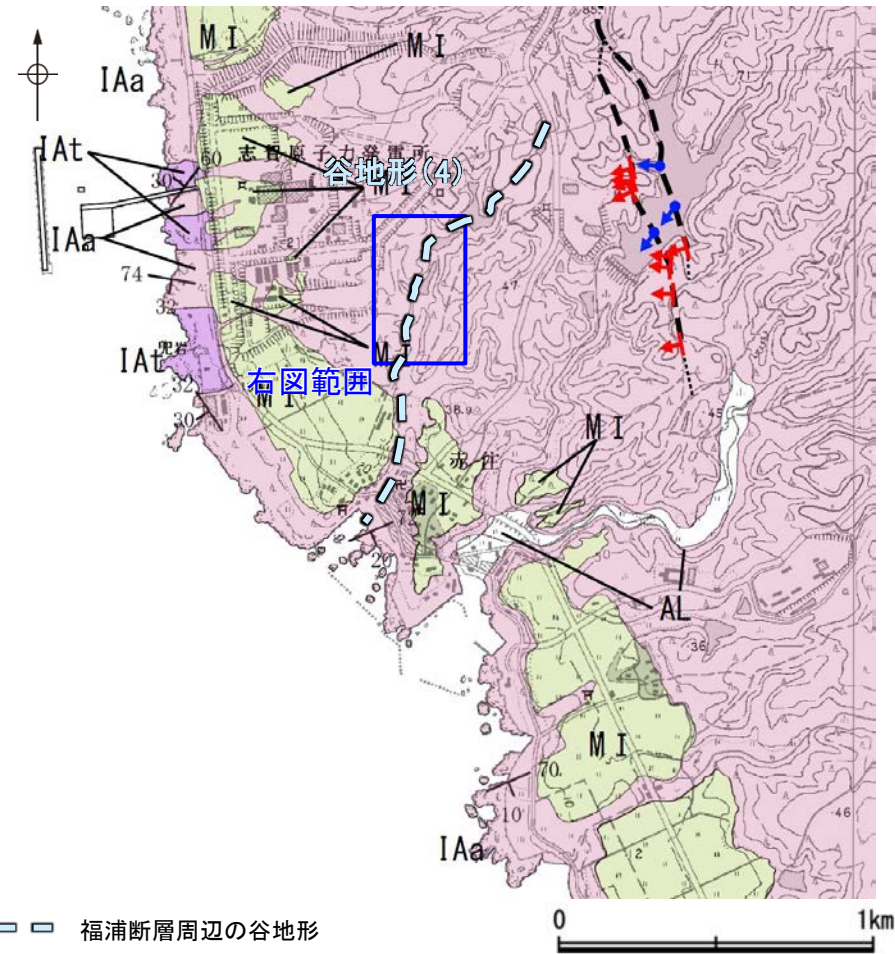
写真②⑦

---

## (11) 福浦断層周辺に認められる谷地形 表土はぎ調査

# 福浦断層周辺に認められる谷地形 表土はぎ調査 写真位置図

○谷の延長位置を横断して表土はぎ調査を実施した結果、別所岳安山岩類の安山岩及び凝灰角礫岩が連続して分布し、それらは非破碎であり、断層は認められない。  
○全線の写真を次頁以降に示す。



位置図

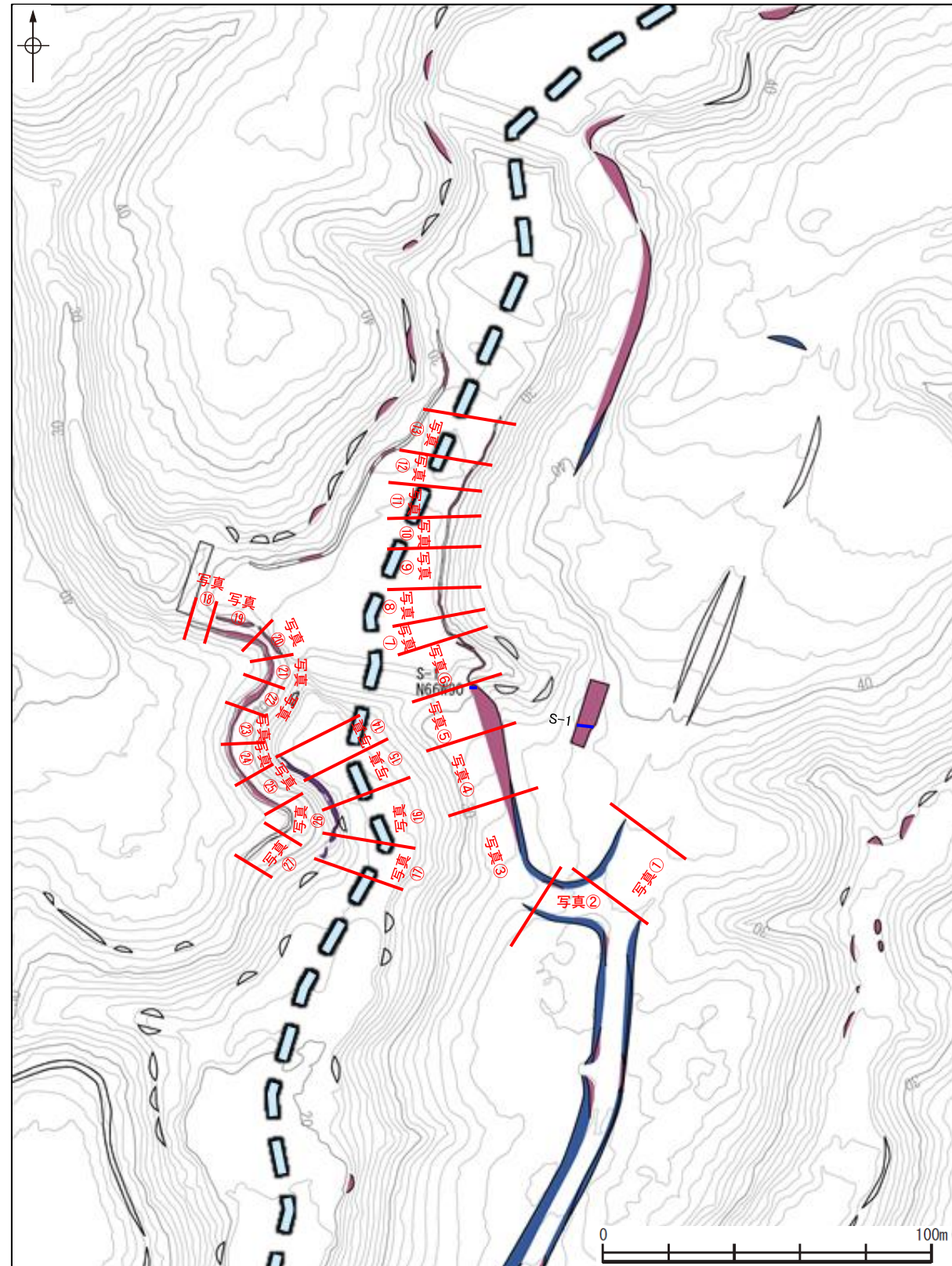
福浦断層周辺の谷地形

断層確認位置

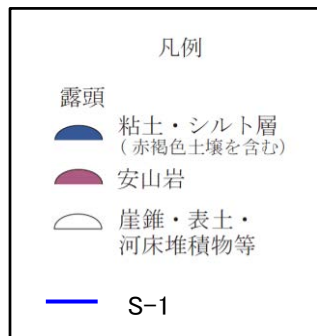
断層位置  
推定区間

【地質】

地質時代	地層・岩石名
第四紀 更新世	AL 沖積層
第四紀 更新世	OF 古期扇状地堆積層
	MI 中位段丘 I 面堆積層
第三紀 中新世	IAa 別所岳安山岩類 安山岩
	IAAt 別所岳安山岩類 安山岩質火砕岩 (凝灰角礫岩)
	IAf 別所岳安山岩類 安山岩質火砕岩 (凝灰岩)



地表踏査結果(ルートマップ)



←SW

NE→



写真①

←W

E→



写真②

←NW

SE→



写真③

←NW

SE→



写真④

←NW

SE→



S-1

写真⑤



写真⑥



←N

S→



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩

←N

S→



写真⑪



写真⑫



写真⑬

←SE

NW→



写真⑭



写真⑮

1m

←SW

NE→



写真⑩



写真⑰

1m

←SE

NW→



写真⑱



写真⑲



写真⑳

←SW

NE→



写真㉑



写真㉒



写真㉓

←SE

NW→



写真②④



写真②⑤

←SW

NE→



写真②⑥

←SE

NW→



写真②⑦



---

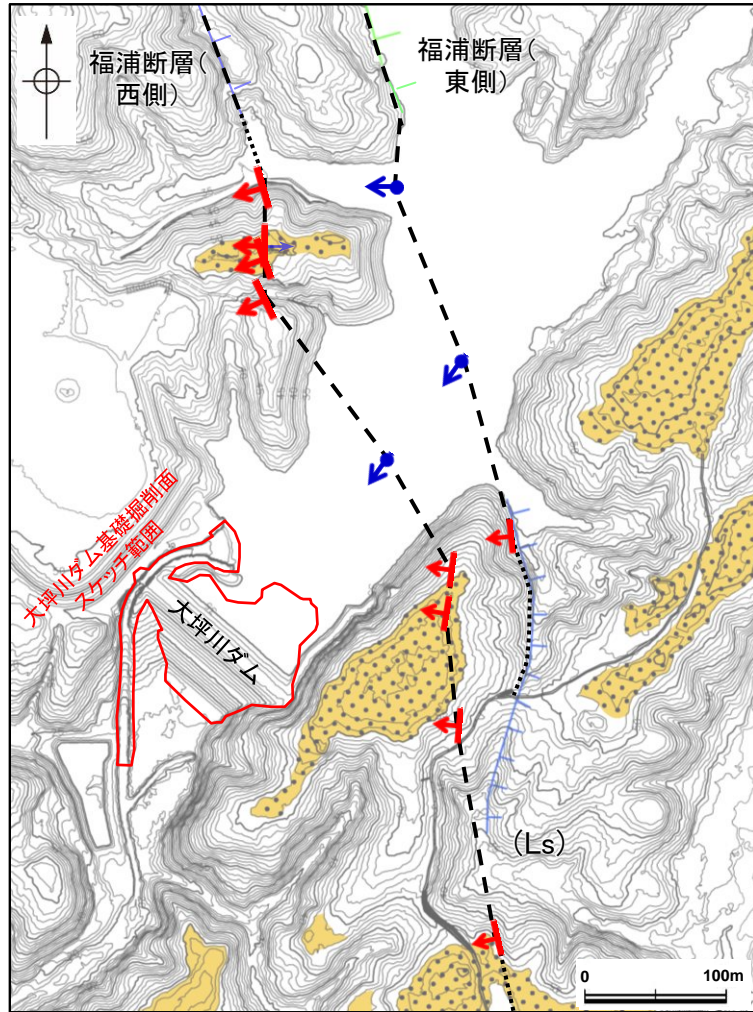
## 補足資料2. 2-2

### 断層oの地質調査データ

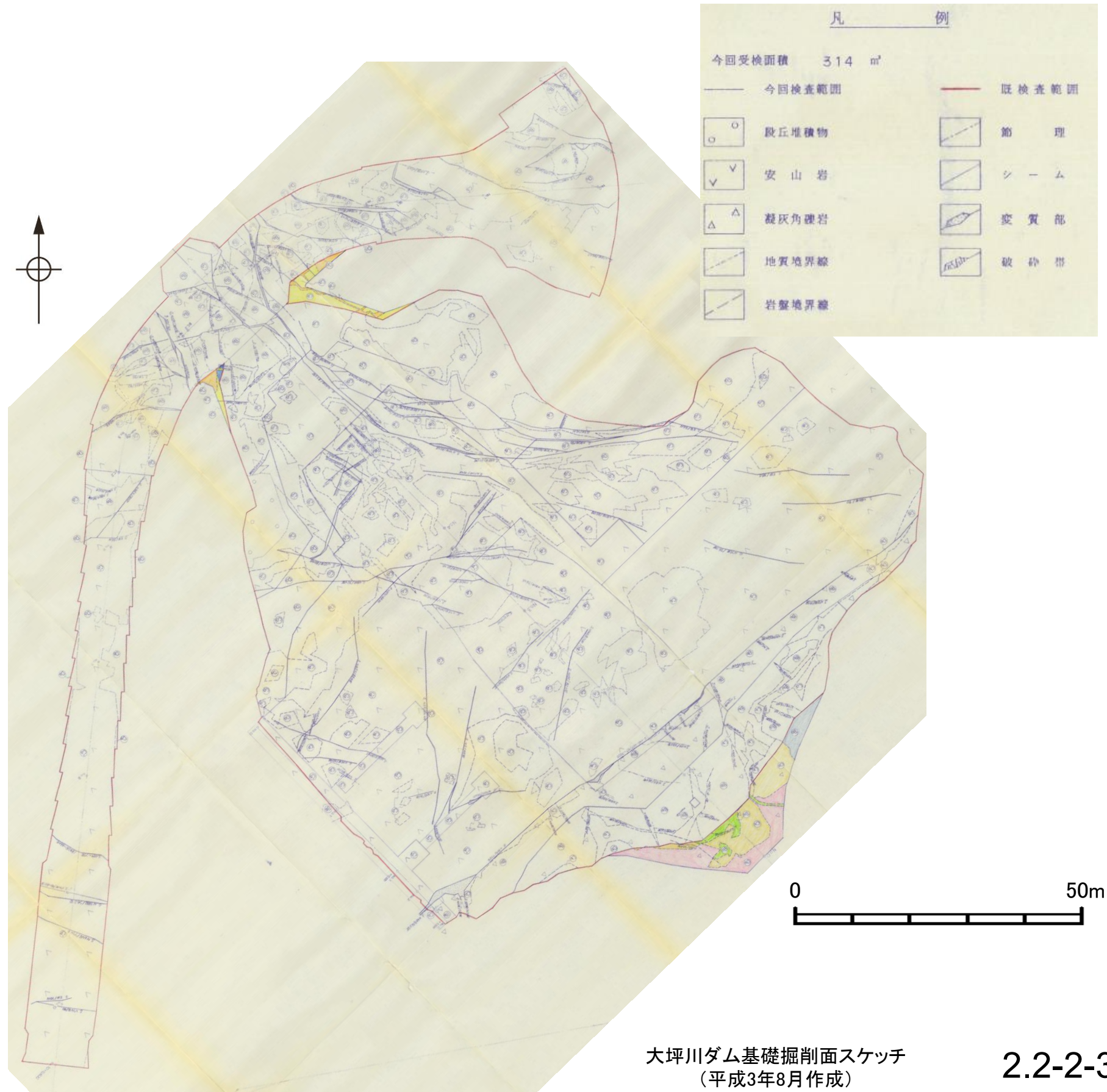
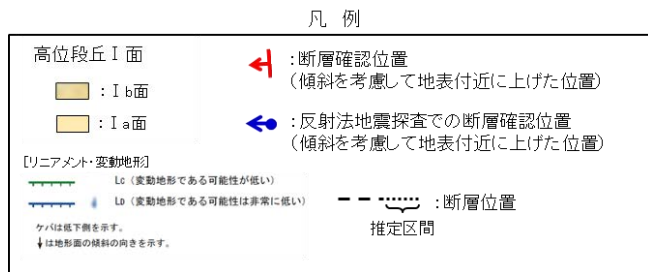
---

## (1) 大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

# 大坪川ダム基礎掘削面 地質観察結果(原図)

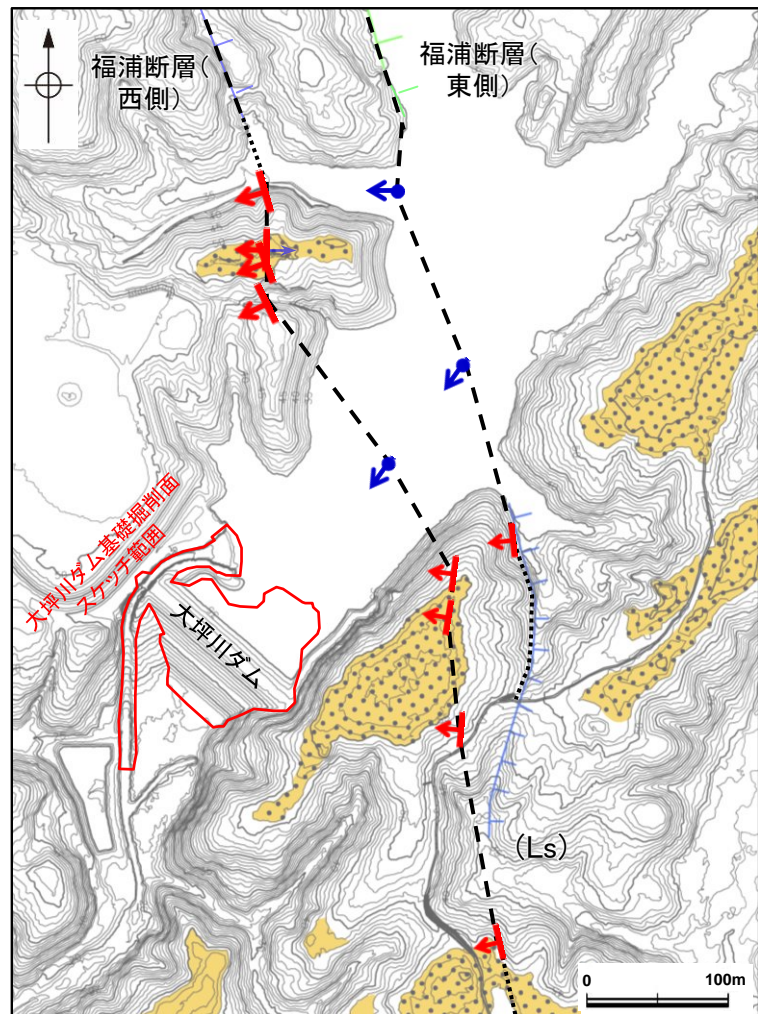


大坪川ダム基礎掘削面 位置図

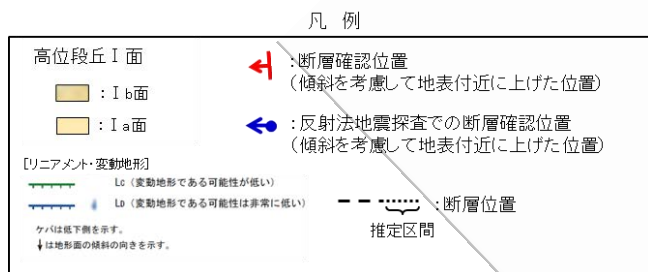


大坪川ダム基礎掘削面スケッチ  
(平成3年8月作成)

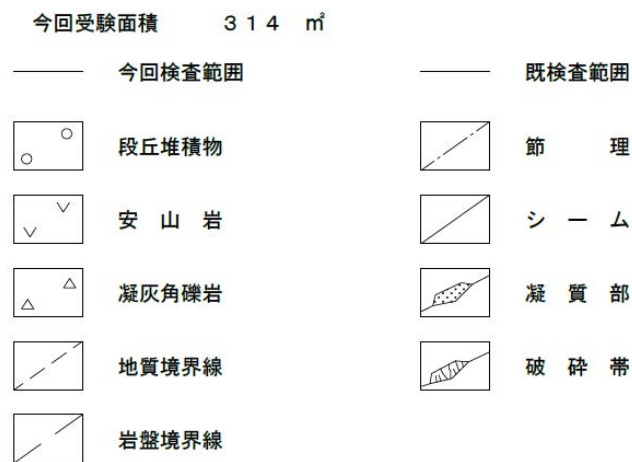
# 大坪川ダム基礎掘削面 地質観察結果(トレース図)



大坪川ダム基礎掘削面 位置図



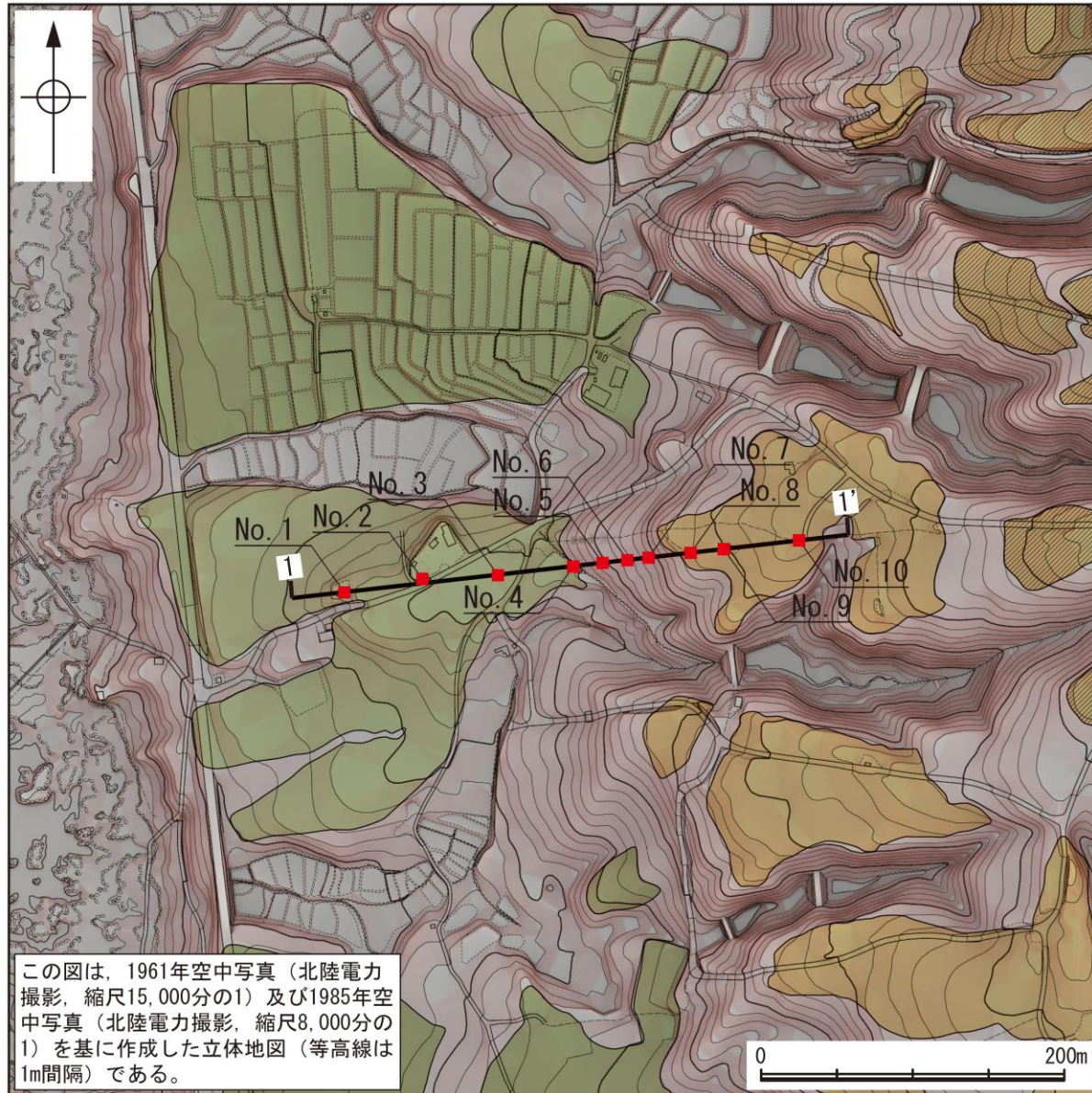
凡 例



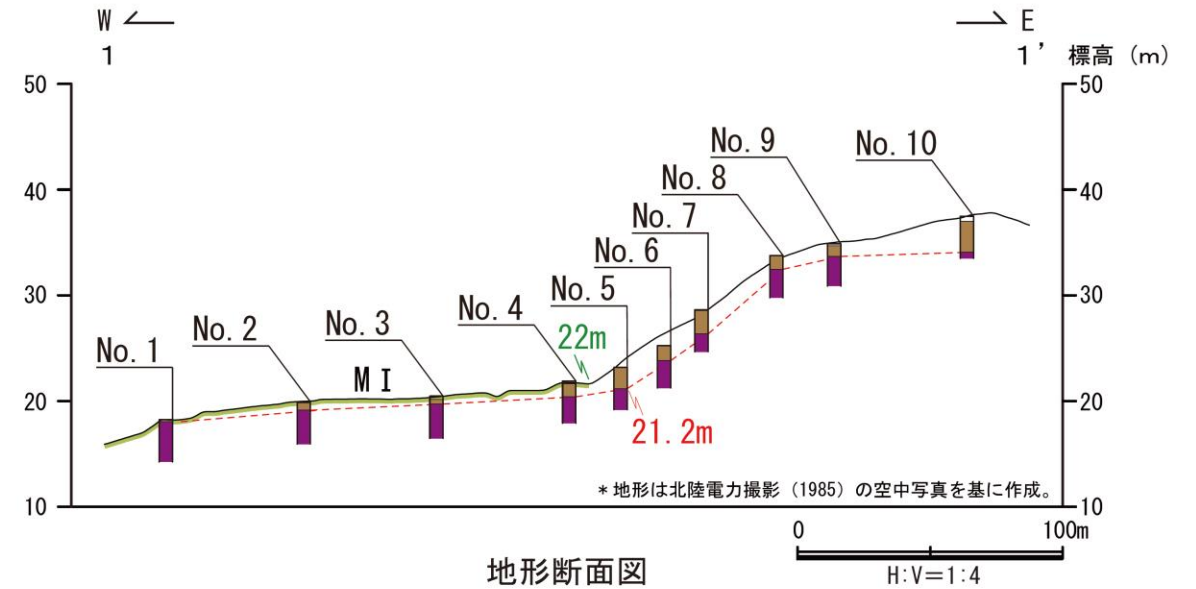
---

## (2) 断層○周辺 旧汀線高度調査

# 中位段丘 I 面 1-1' 断面①



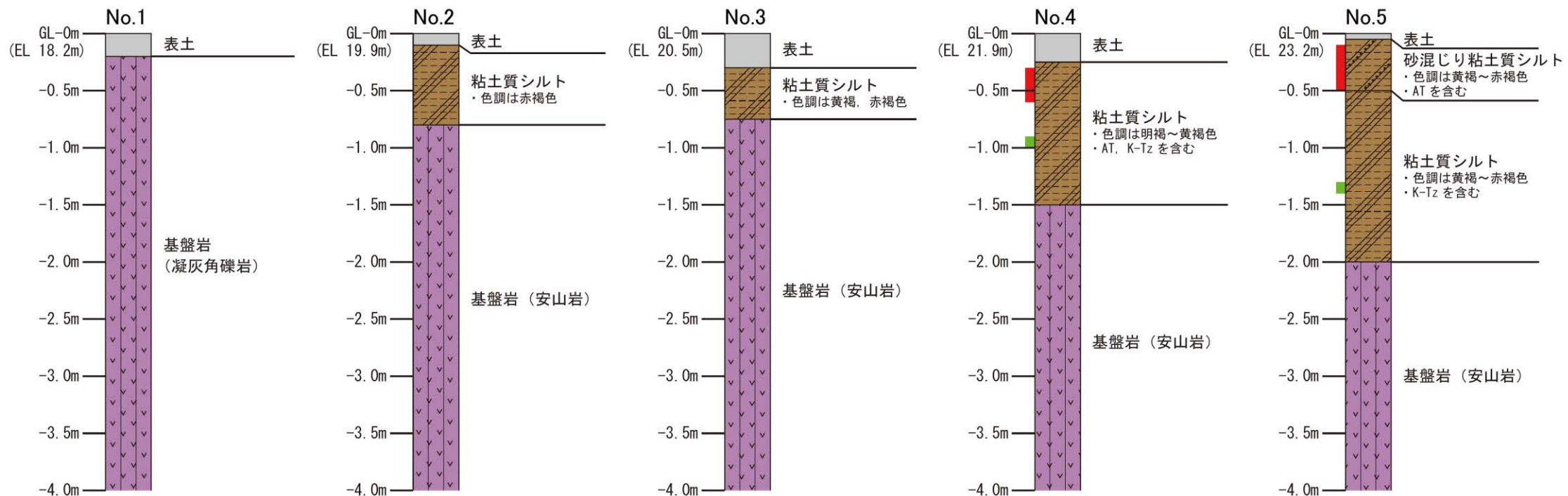
調査位置図



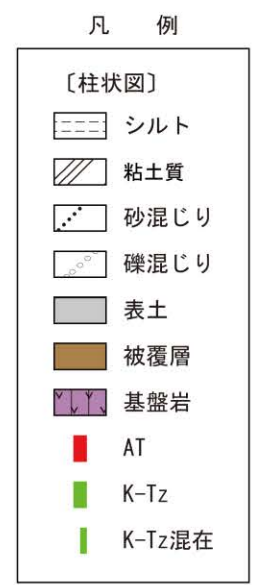
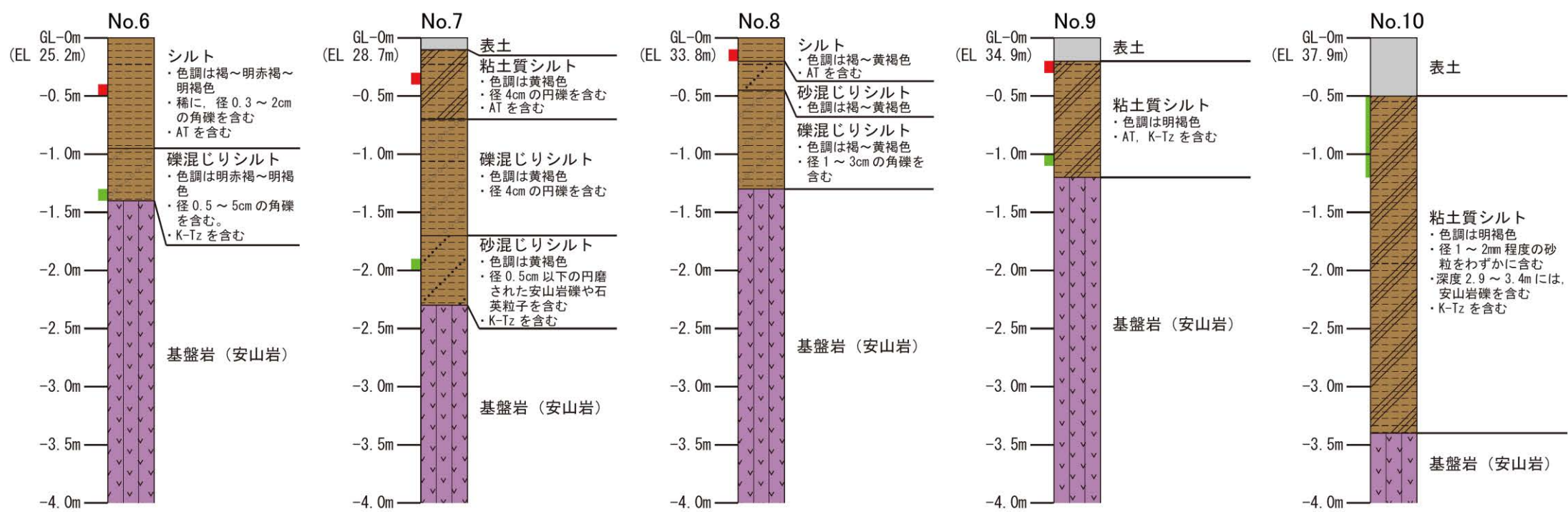
本測線の地質データは、1号機建設前(S60, 61年)にボーリング調査によって取得されており、コアの状況が悪く、海成堆積物の識別が困難である。

凡 例	
[調査位置図]	[地形断面図]
高位段丘 I b 面	表土
高位段丘 I a 面	被覆層
中位段丘 I 面	基盤岩
No. 1 調査位置	23m 段丘面内縁標高
1-1' 断面線	20.0m 旧汀線高度

# 中位段丘 I 面 1-1' 断面②



テフラの年代  
(町田・新井, 2011)  
AT: 2.8万~3万年前  
K-Tz: 9.5万年前



柱状図

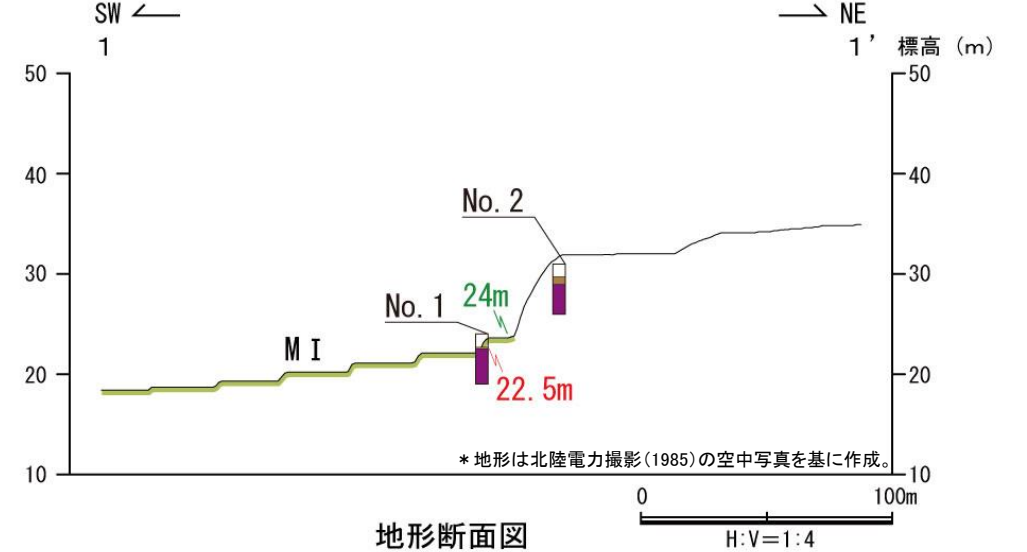
# 中位段丘 I 面 2-2' 断面



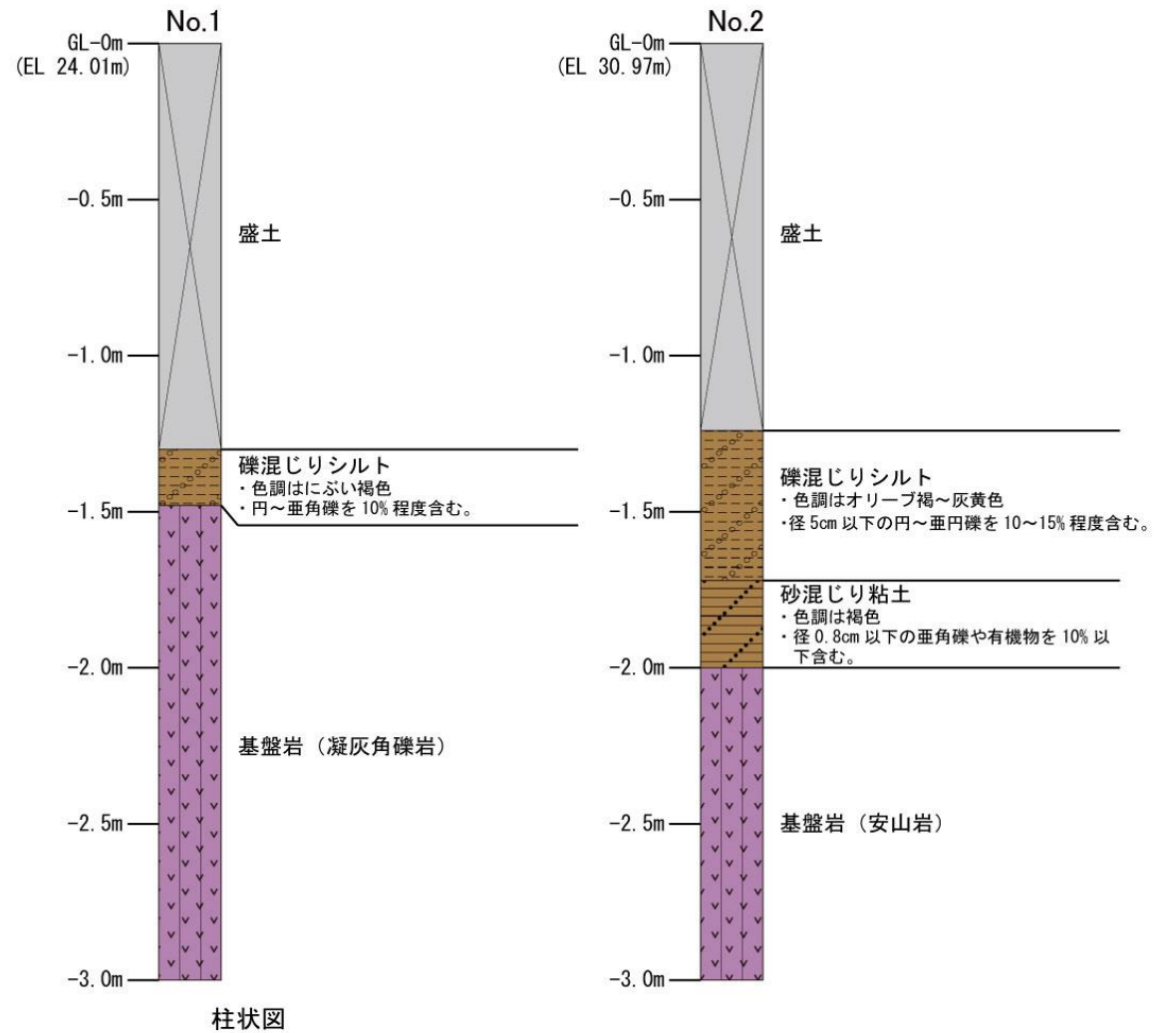
調査位置図

凡 例

〔調査位置図〕	〔柱状図〕
高位段丘 I b 面	人工改変土
高位段丘 I a 面	粘土
中位段丘 I 面	シルト
No. 1 調査位置	砂混じり
1' 断面線	礫混じり
23m 段丘面内縁標高	陸成堆積物
	基盤岩



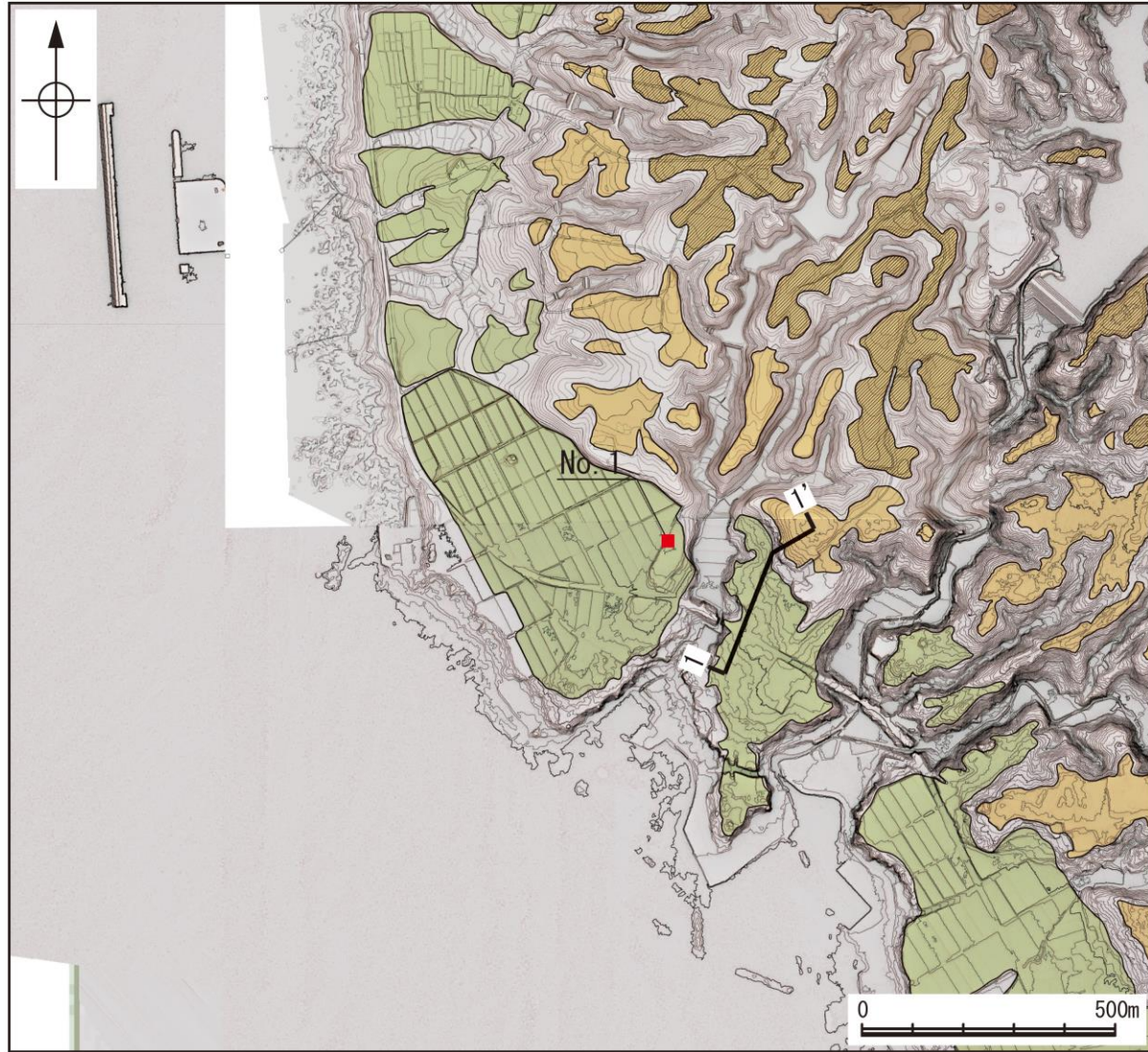
地形断面図



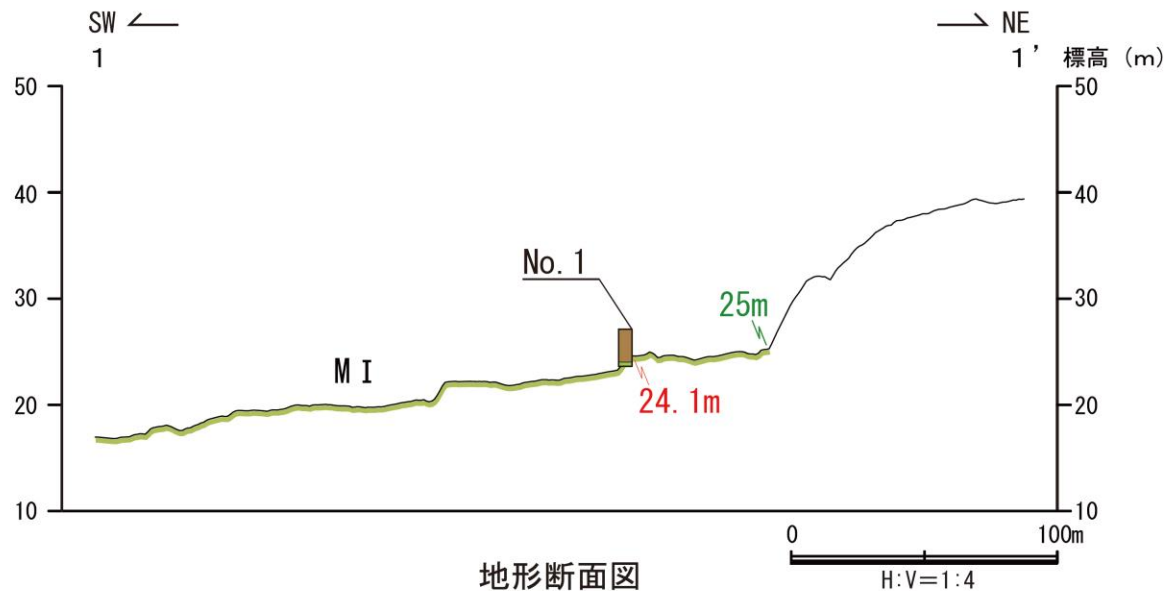
柱状図



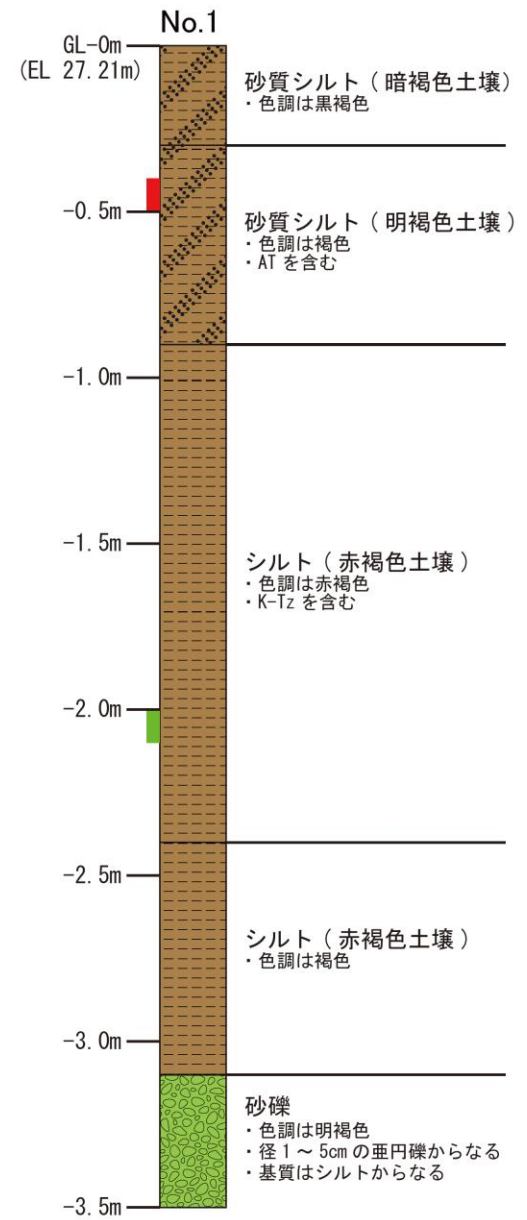
# 中位段丘 I 面 3-3' 断面



調査位置図



地形断面図



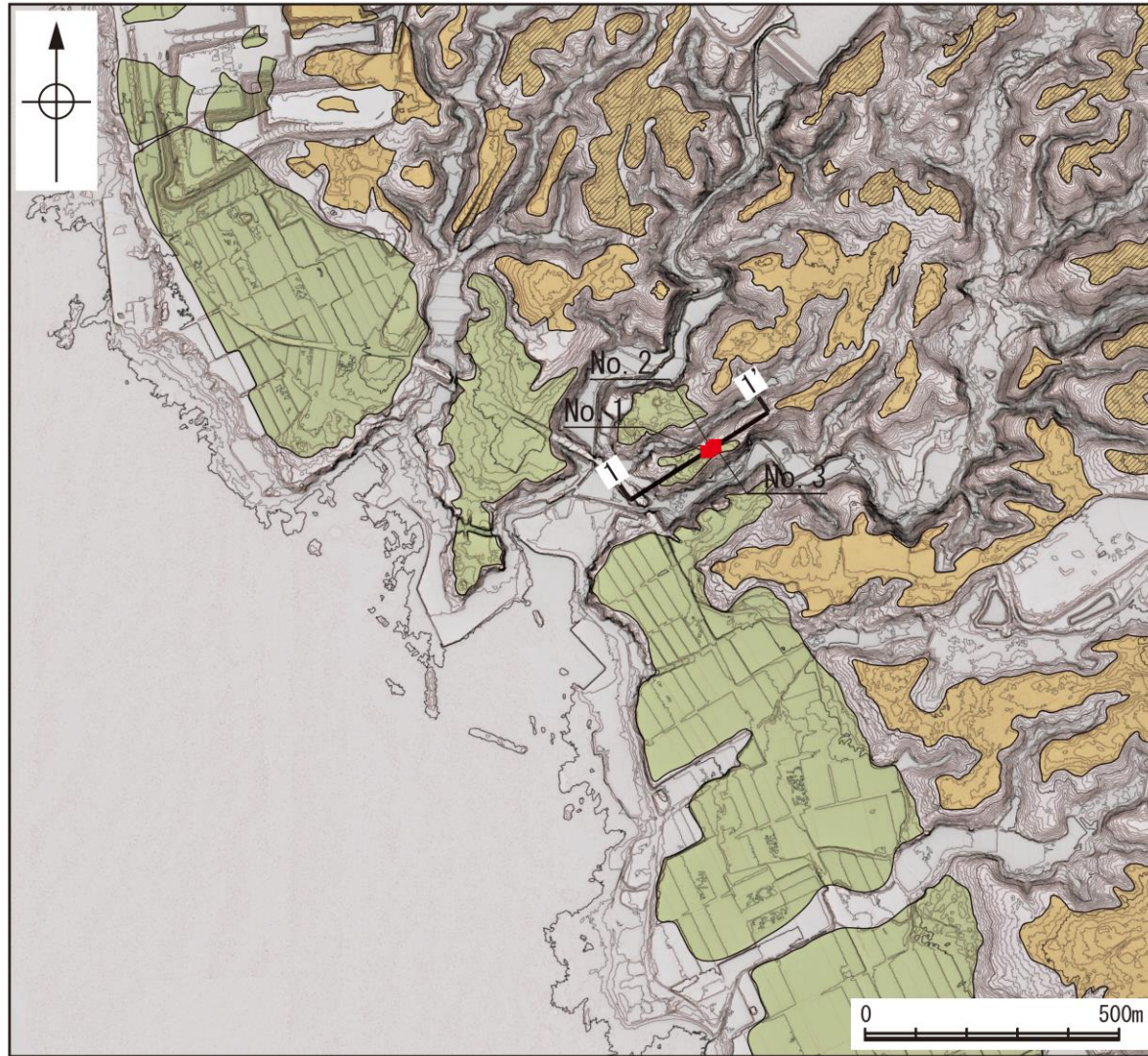
柱状図

テフラの年代  
(町田・新井, 2011)

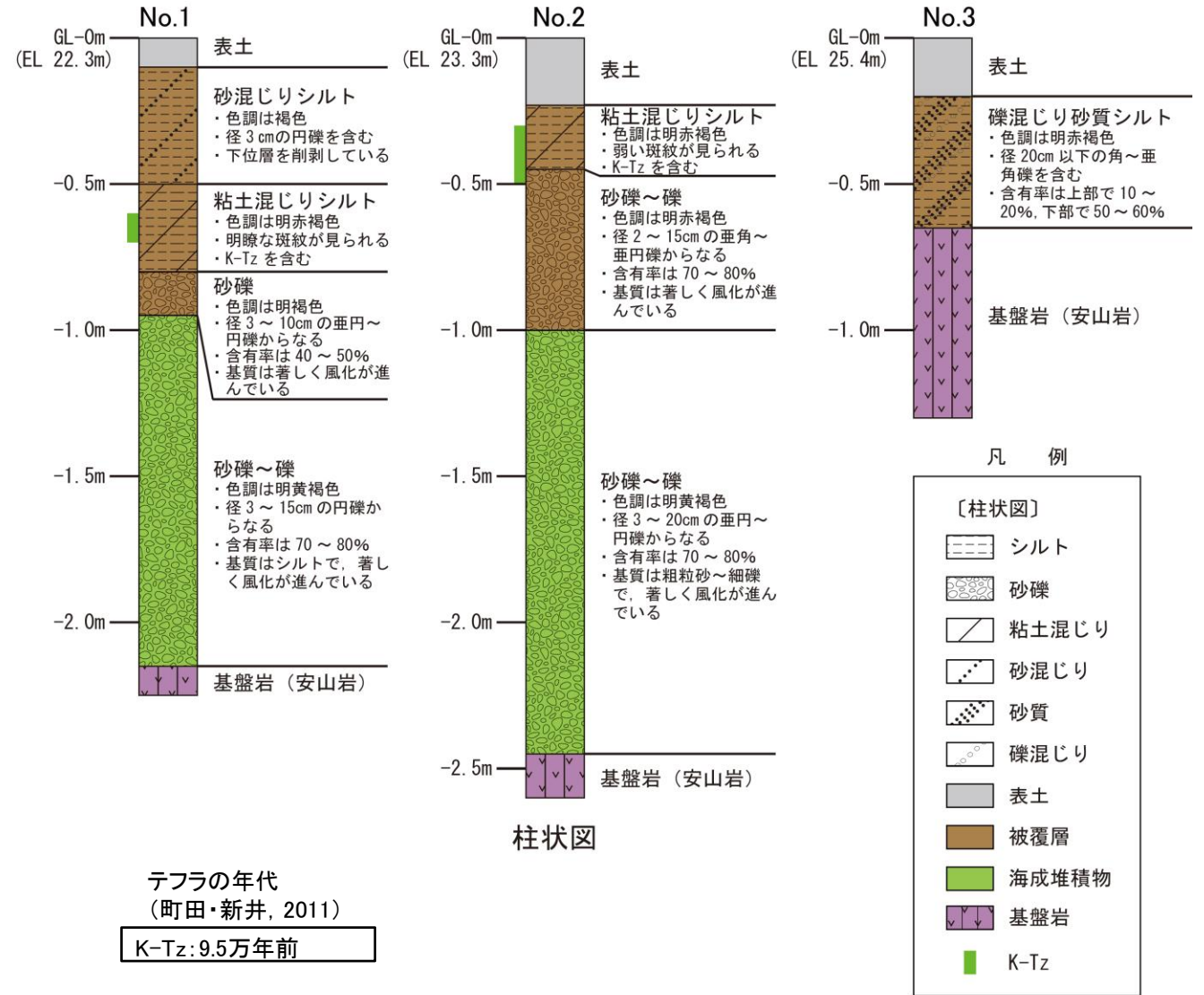
AT: 2.8万~3万年前  
K-Tz: 9.5万年前

凡 例

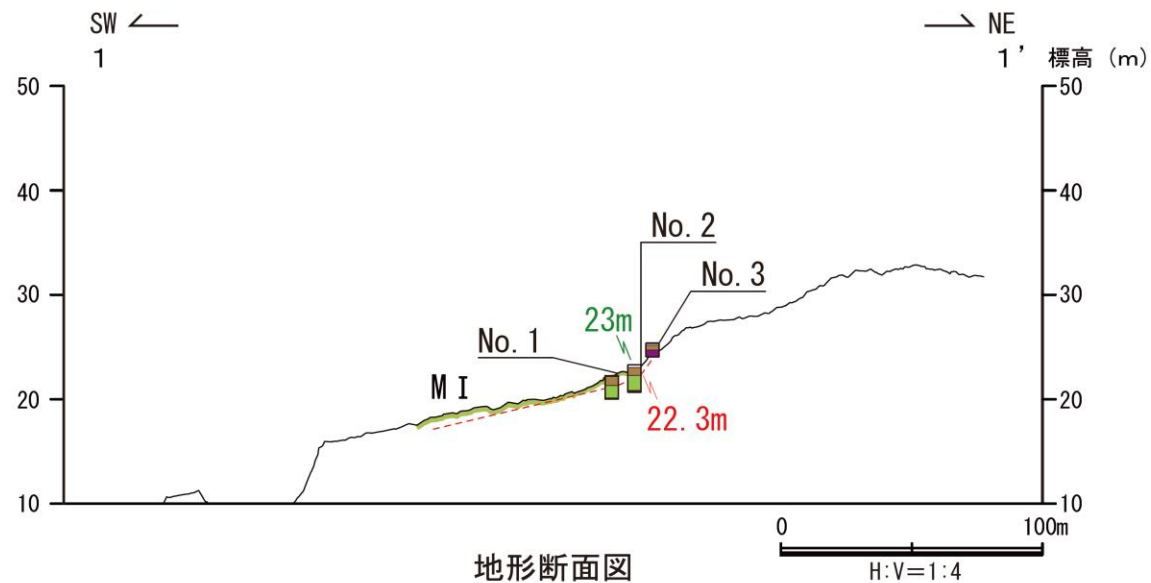
〔調査位置図〕	〔地形断面図〕	〔柱状図〕	
高位段丘 I b 面	陸成堆積物	シルト	陸成堆積物
高位段丘 I a 面	海成堆積物	砂礫	海成堆積物
中位段丘 I 面	基盤岩	砂質	基盤岩
No. 1 調査位置	23m 段丘面内縁標高	AT	K-Tz
1 1' 断面線	20.0m 旧汀線高度		



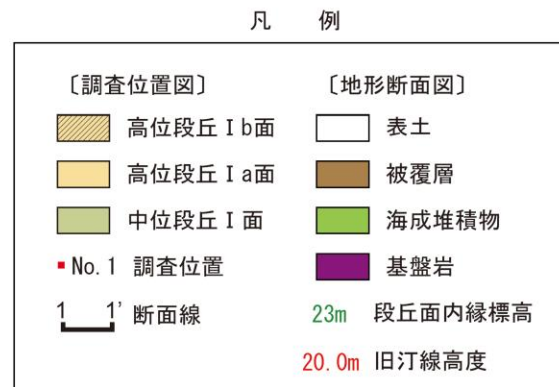
調査位置図



柱状図

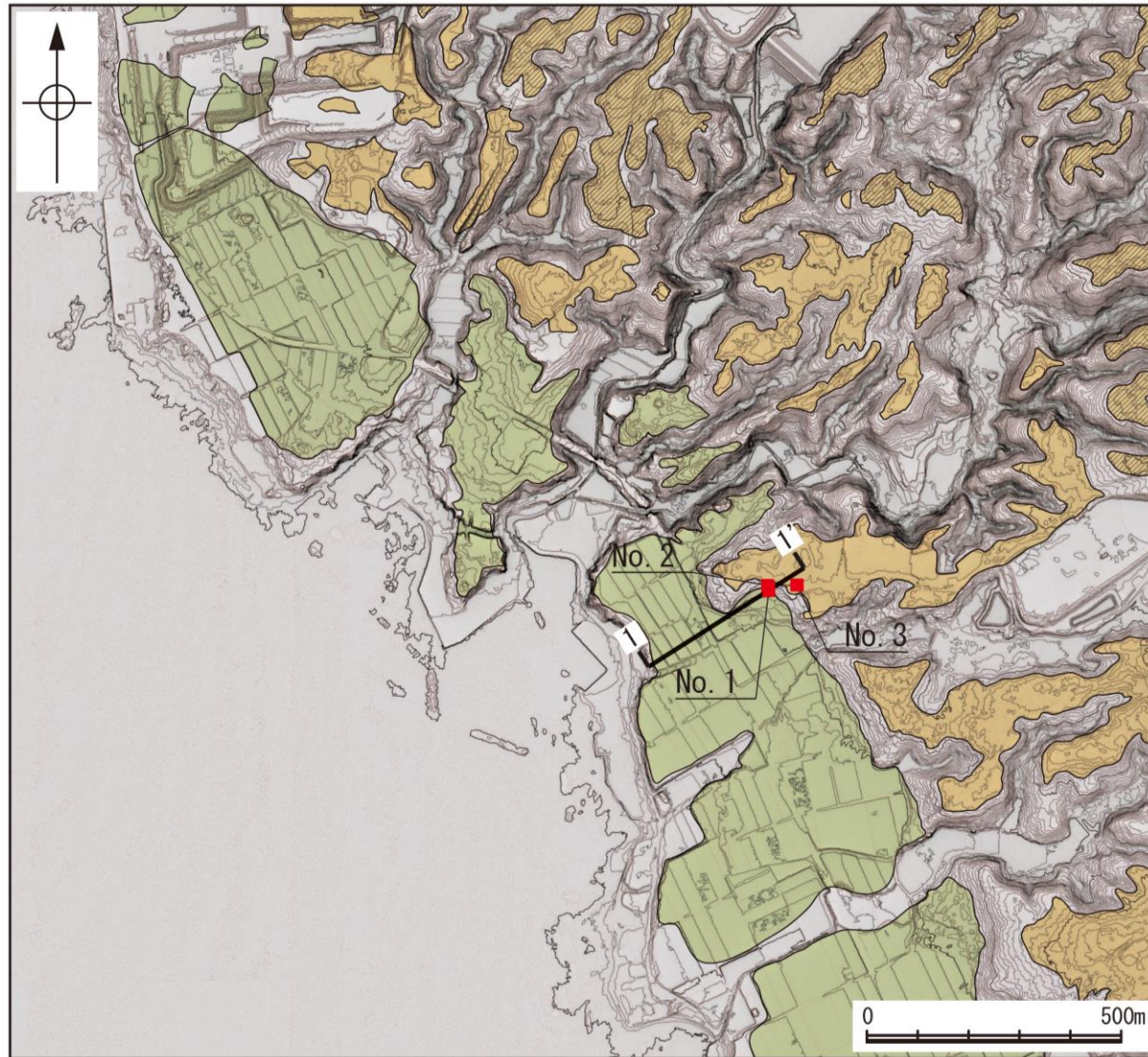


地形断面図

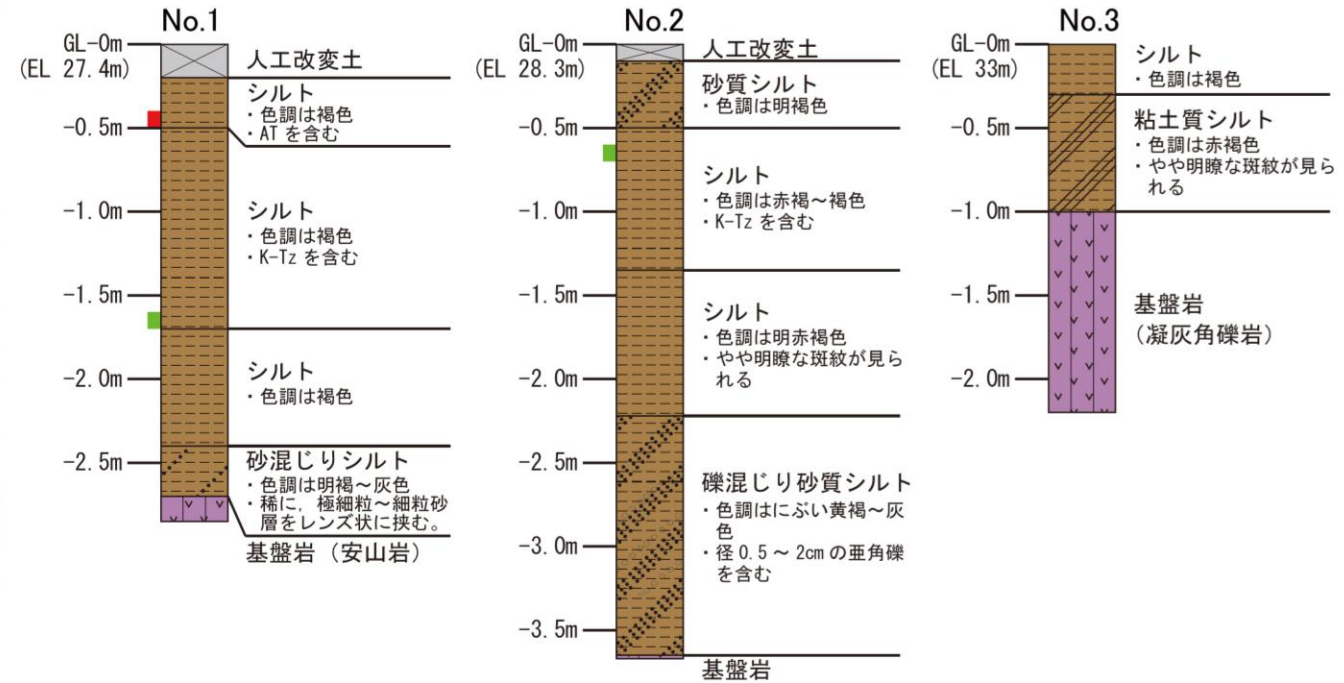


ピット写真 (No. 2)

# 中位段丘 I 面 5-5' 断面



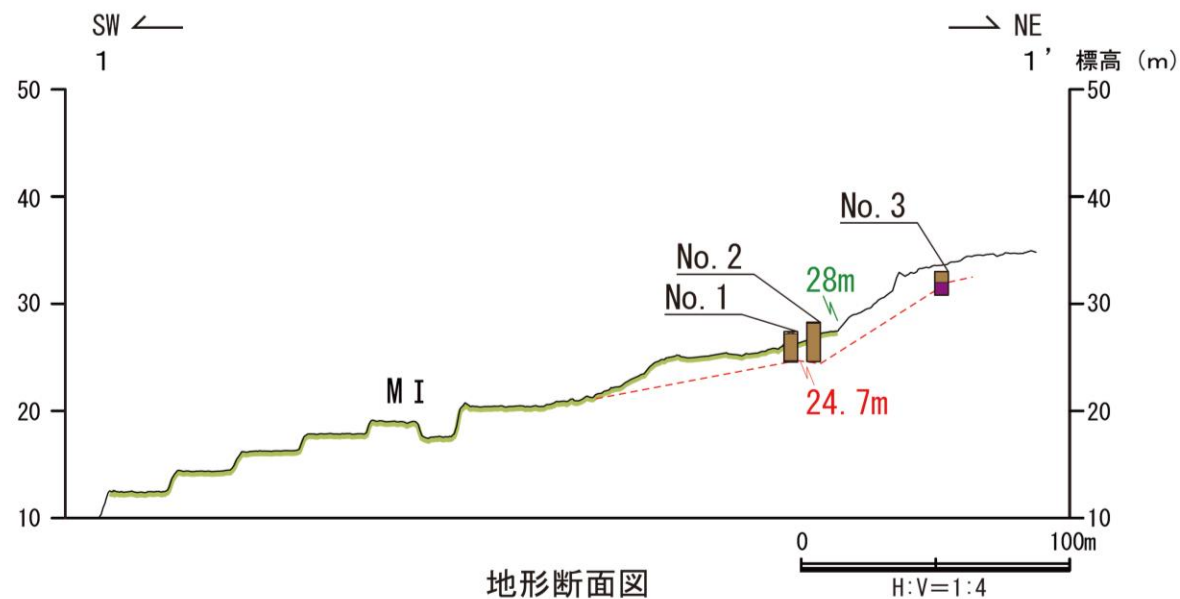
調査位置図



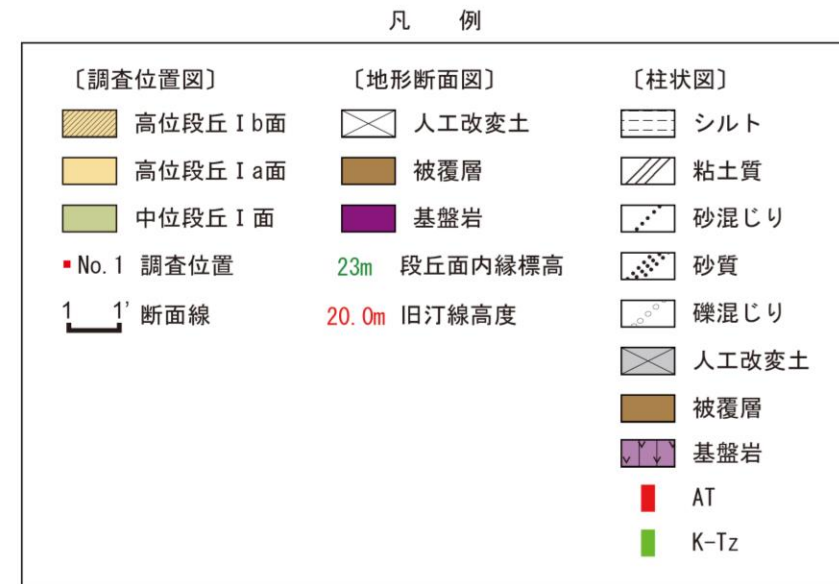
柱状図

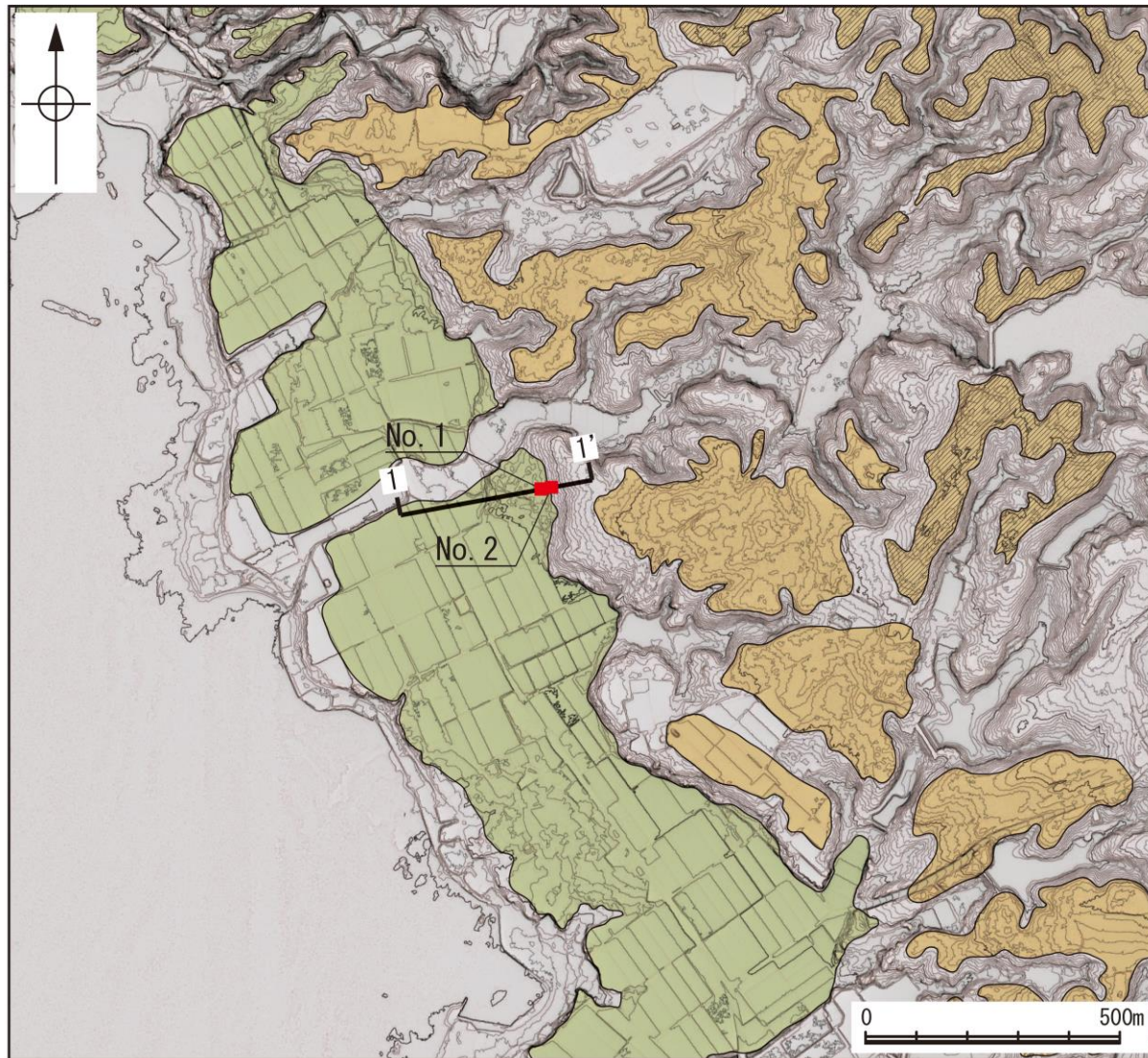
テフラの年代  
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万~3万年前  
K-Tz: 9.5万年前

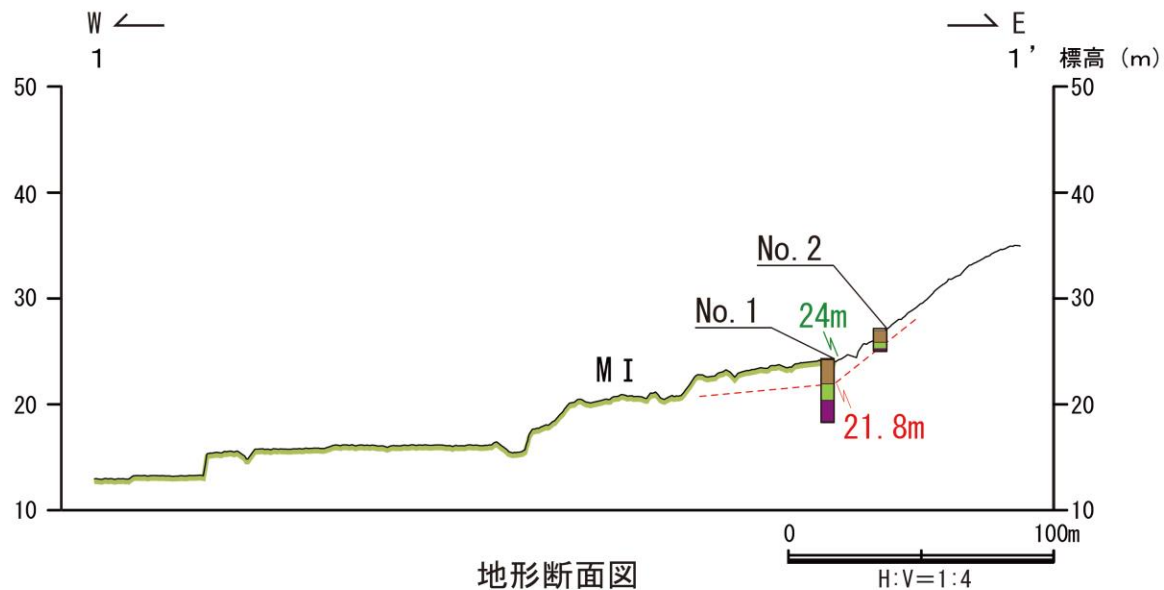


地形断面図

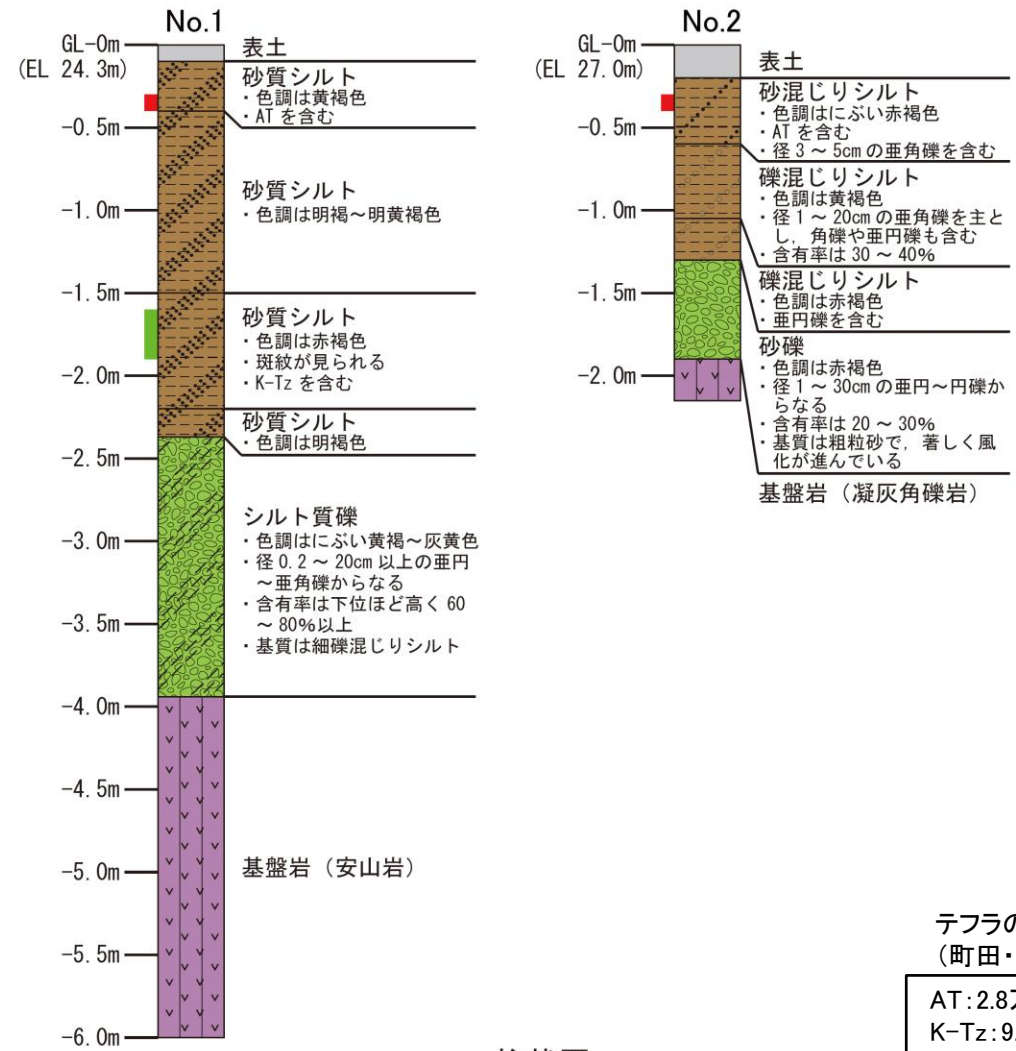




調査位置図



地形断面図

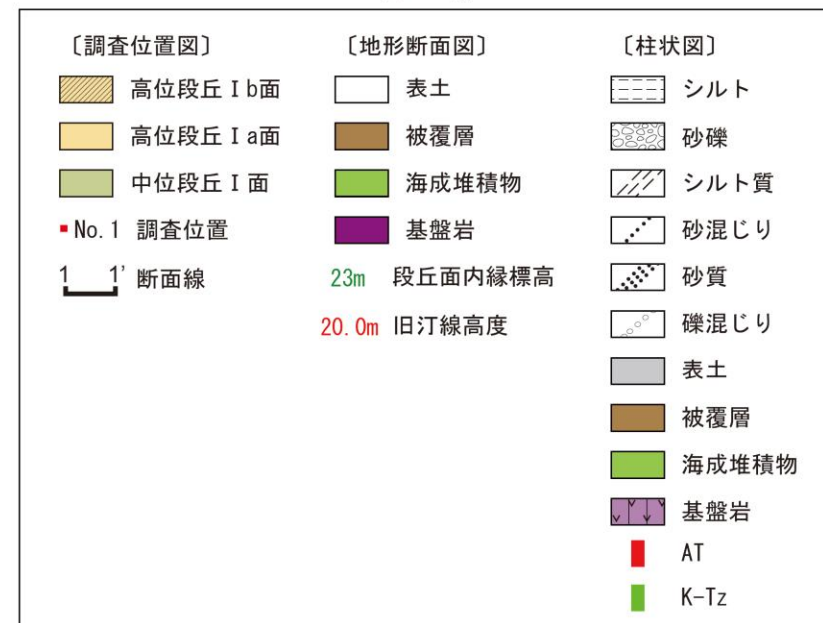


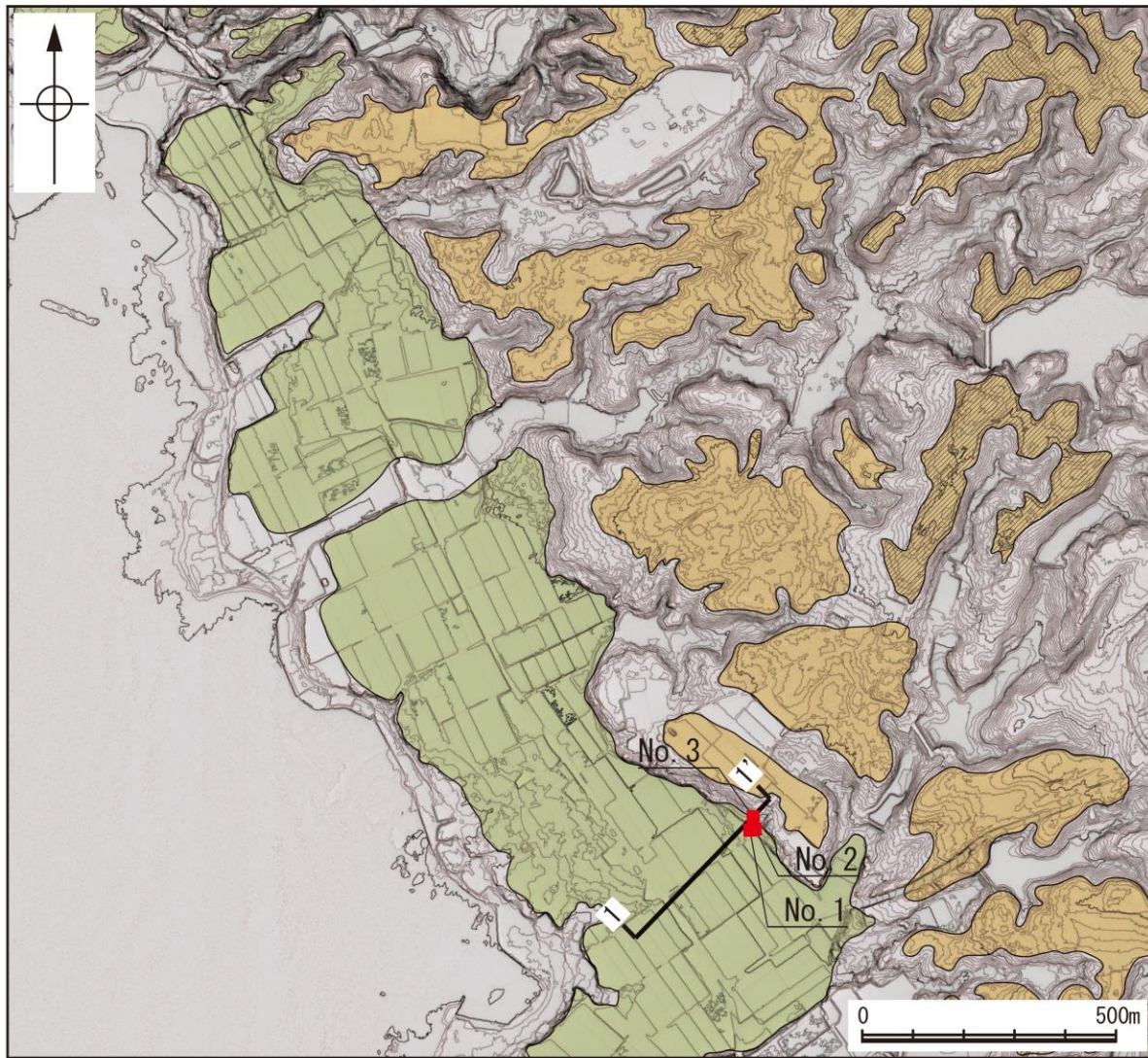
柱状図

凡例

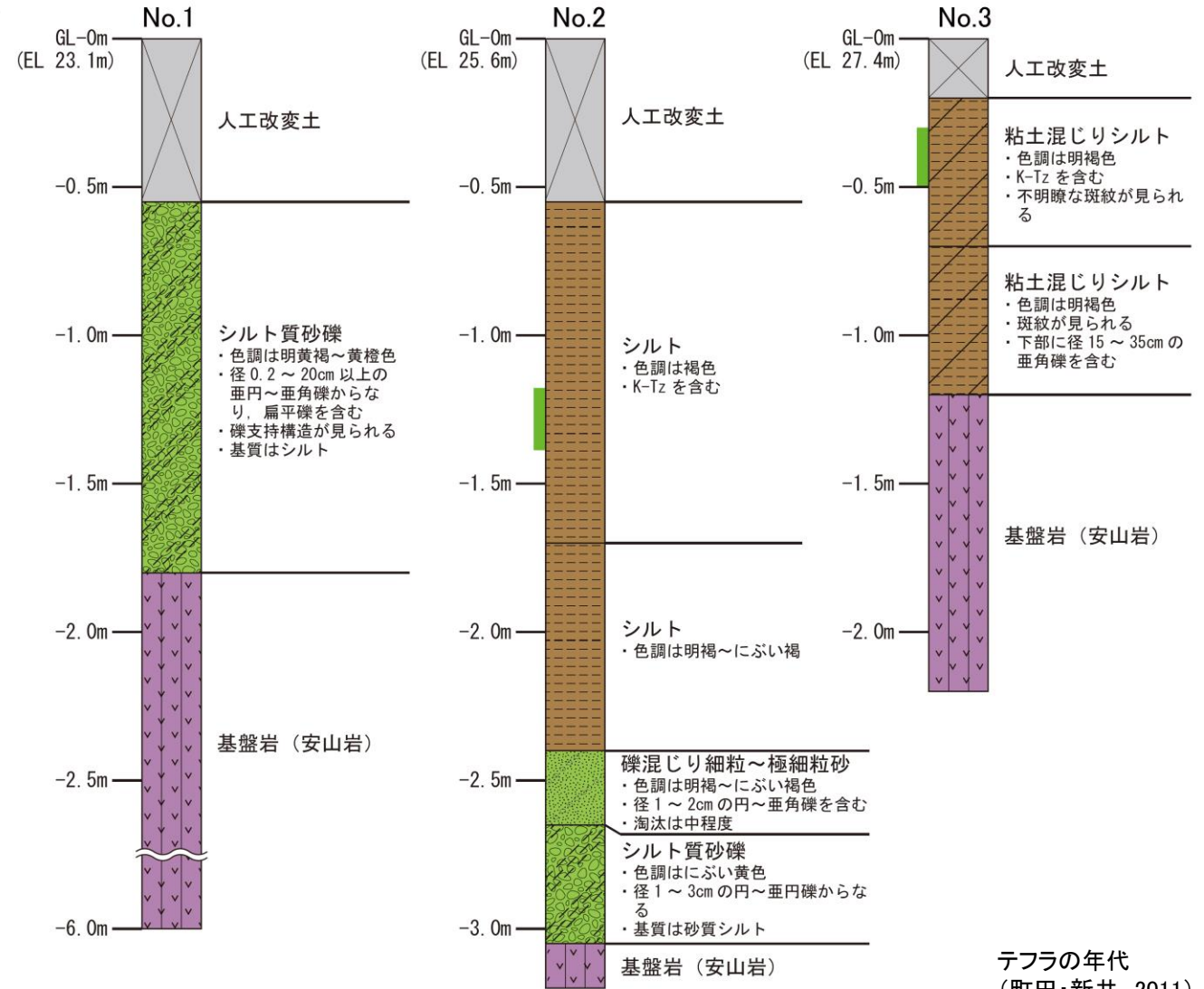
テフラの年代  
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万～3万年前  
K-Tz: 9.5万年前





調査位置図

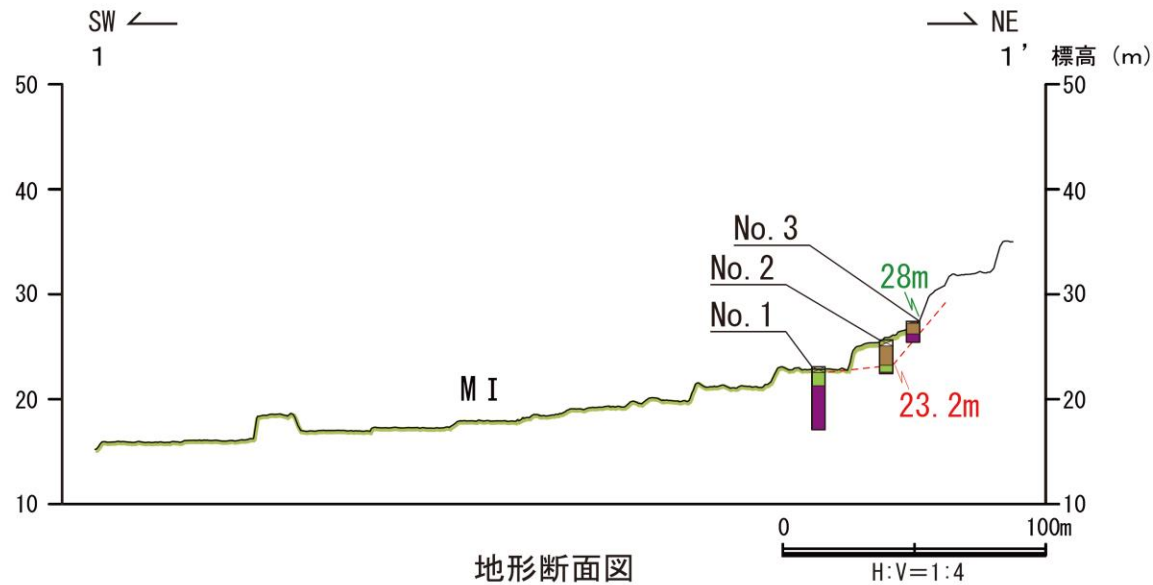


柱状図

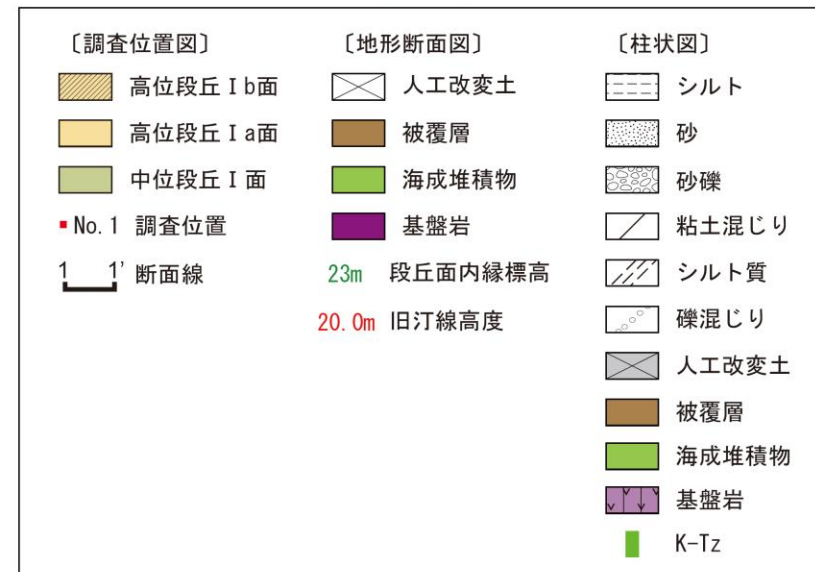
凡例

テフラの年代  
(町田・新井, 2011)

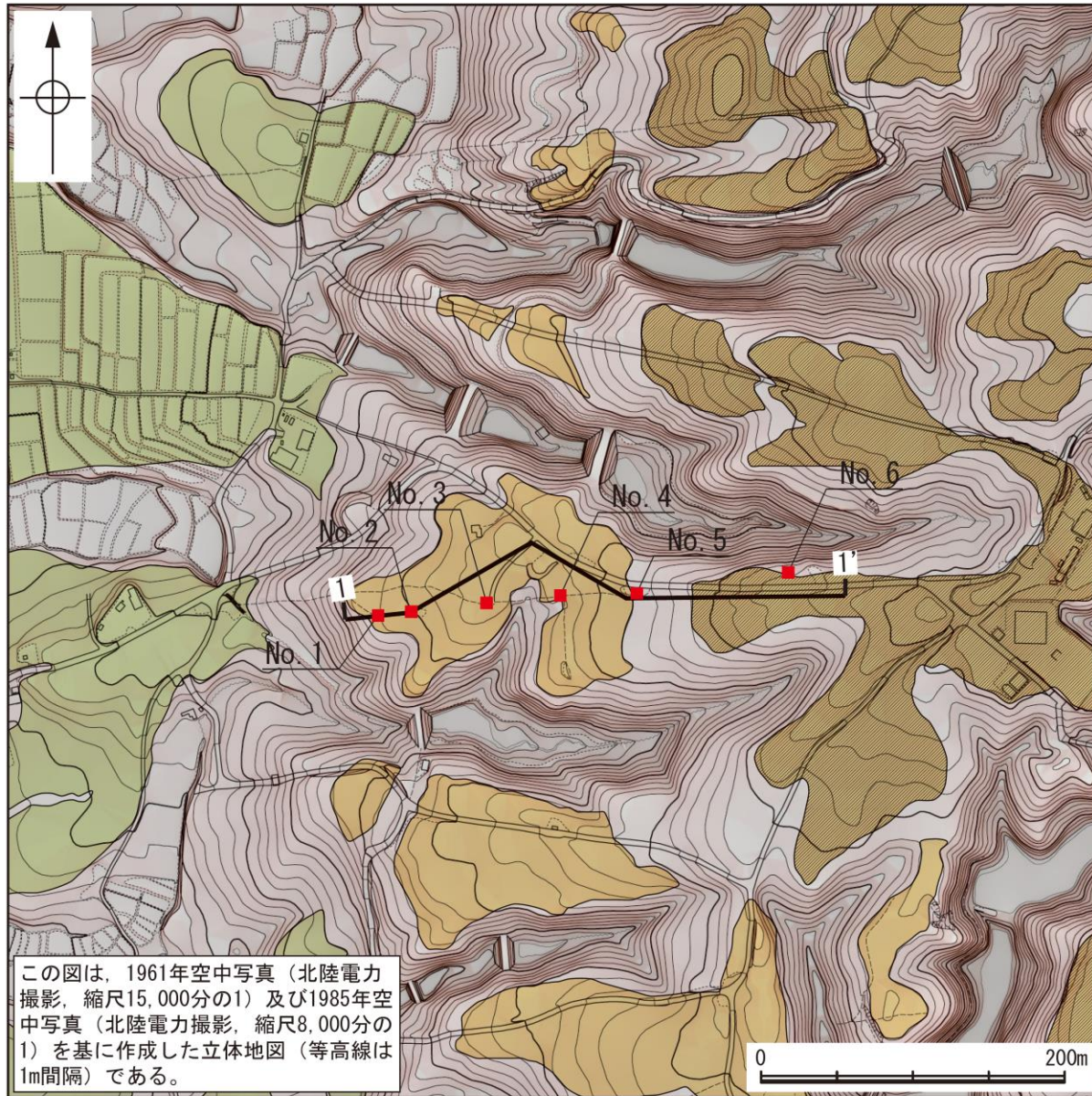
K-Tz: 9.5万年前



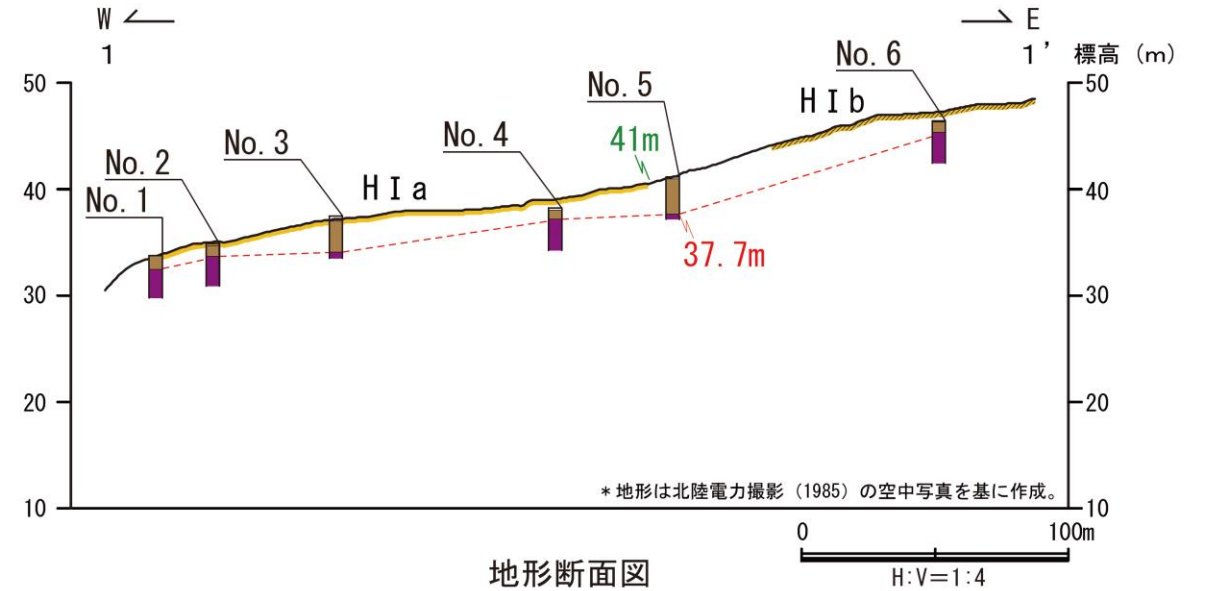
地形断面図



# 高位段丘 I a面 1-1' 断面①



調査位置図

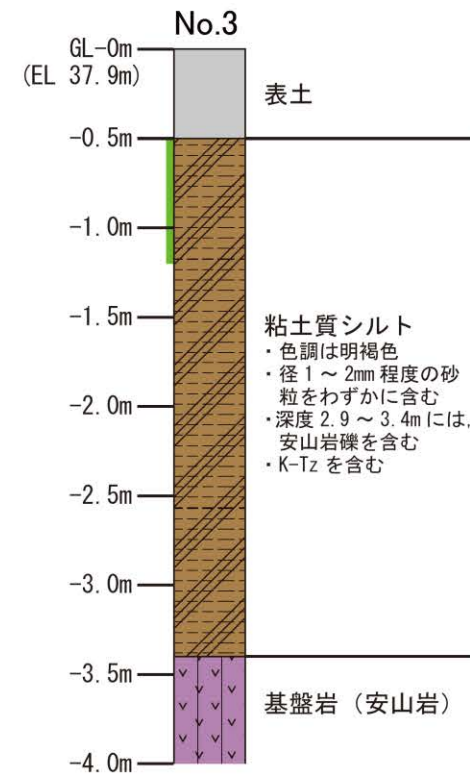
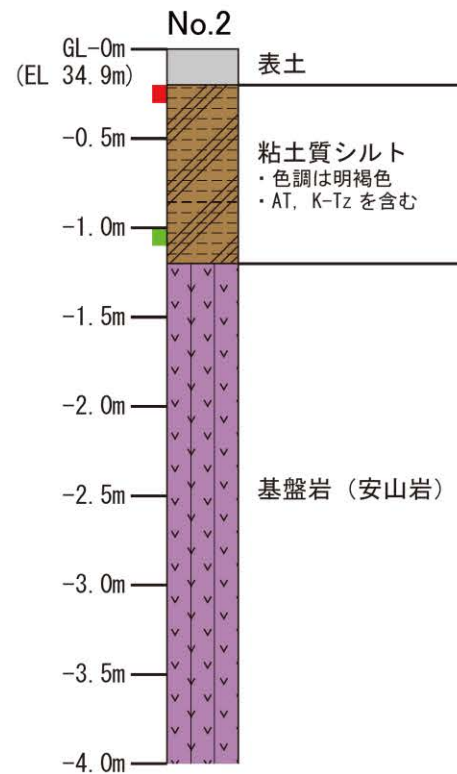
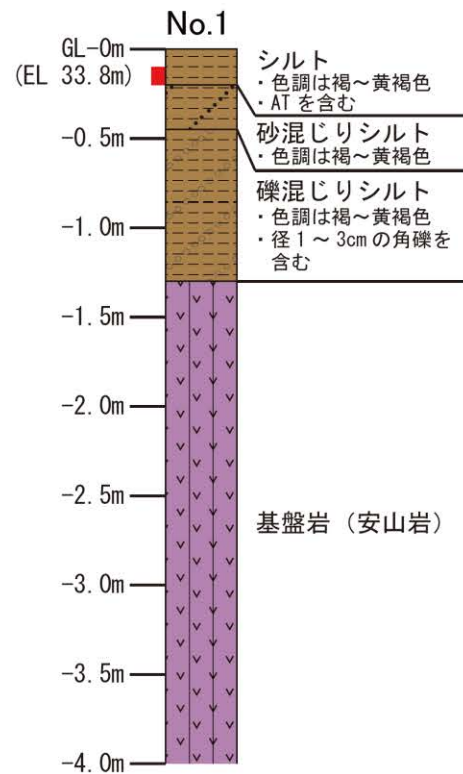


本測線の地質データは、1号機建設前(S60, 61年)にボーリング調査によって取得されており、コアの状況が悪く、海成堆積物の識別が困難である。

凡 例

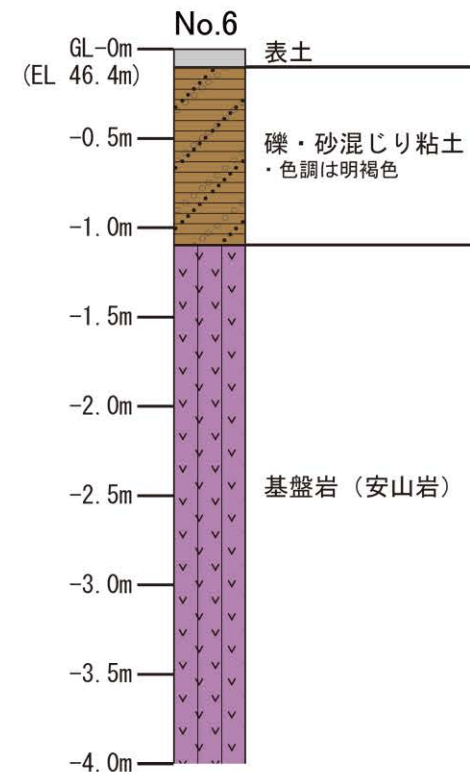
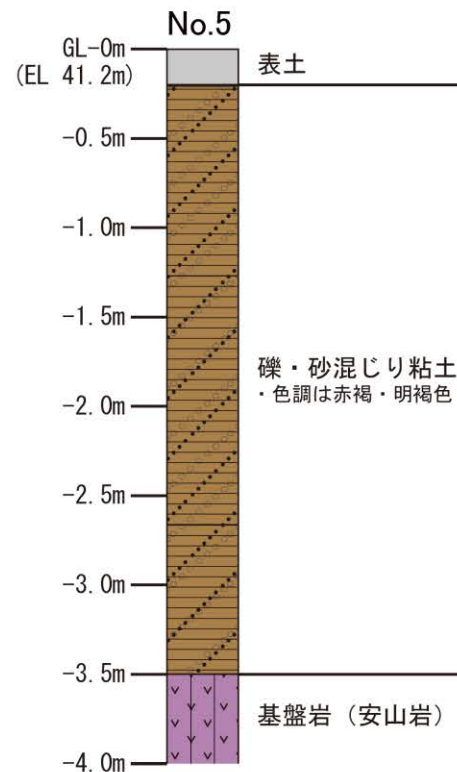
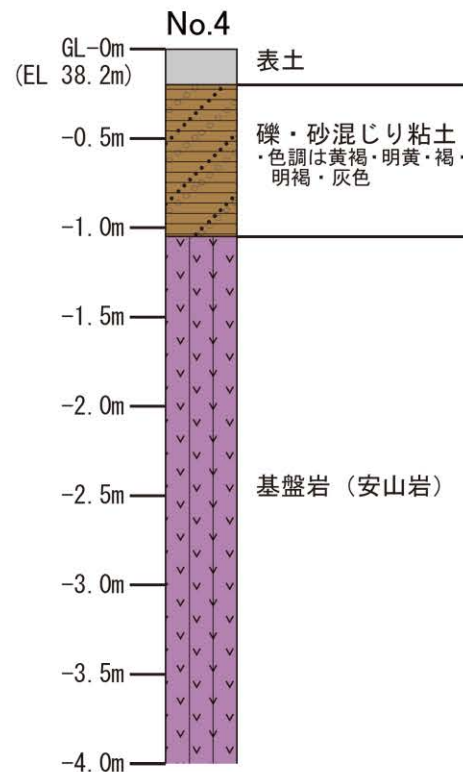
〔調査位置図〕	〔地形断面図〕
高位段丘 I b面	表土
高位段丘 I a面	陸成堆積物
中位段丘 I 面	基盤岩
No. 1 調査位置	23m 段丘面内縁標高
1-1' 断面線	20.0m 旧汀線高度

# 高位段丘 I a面 1-1' 断面②

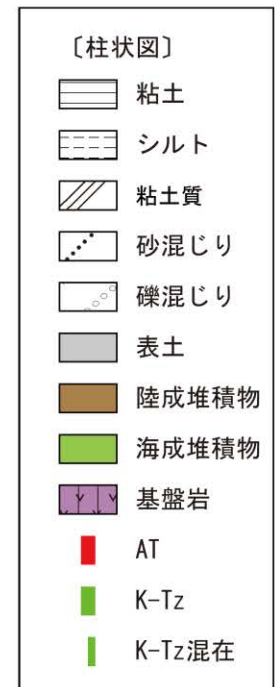


テフラの年代  
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万～3万年前  
K-Tz: 9.5万年前

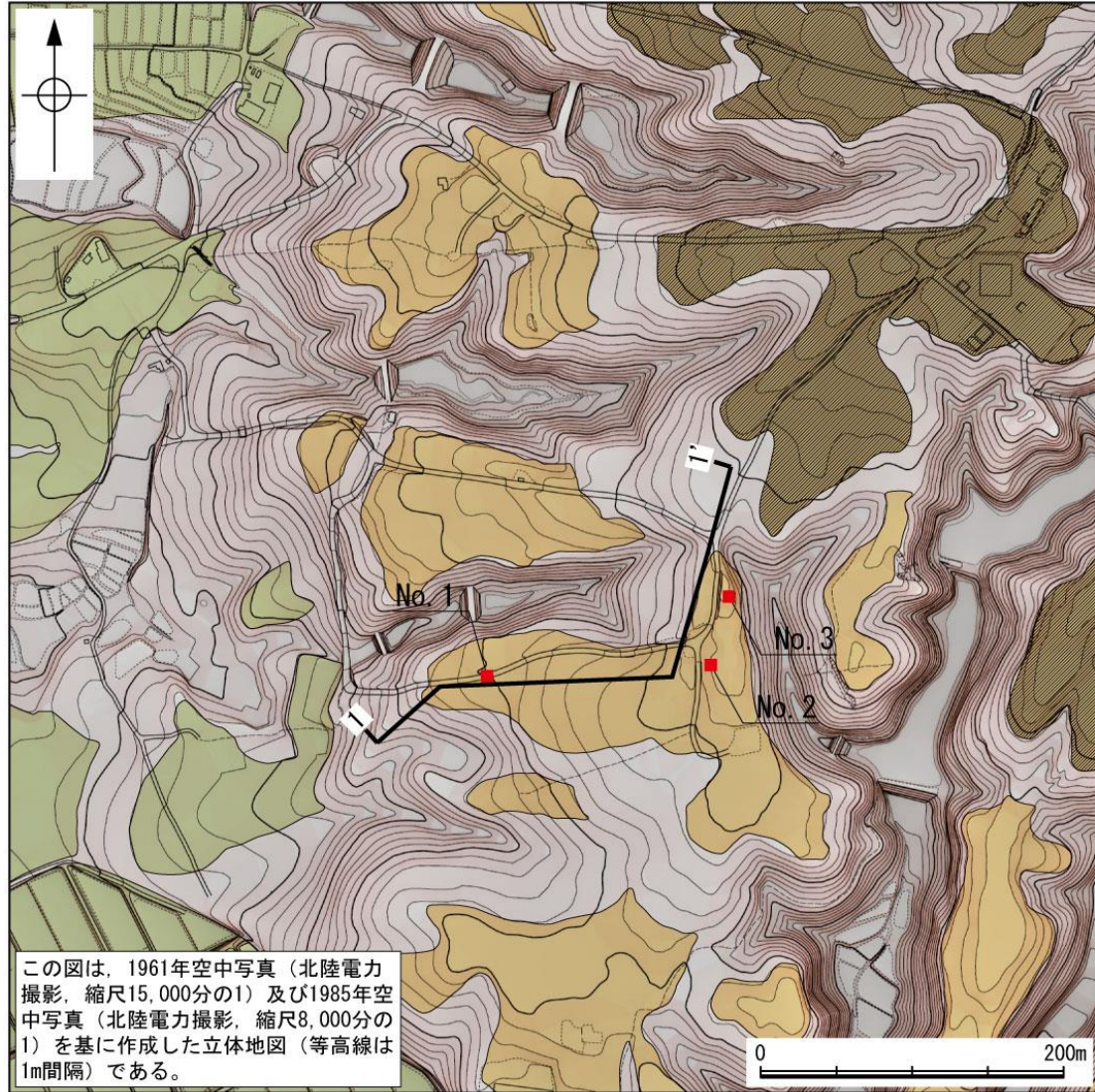


## 凡 例

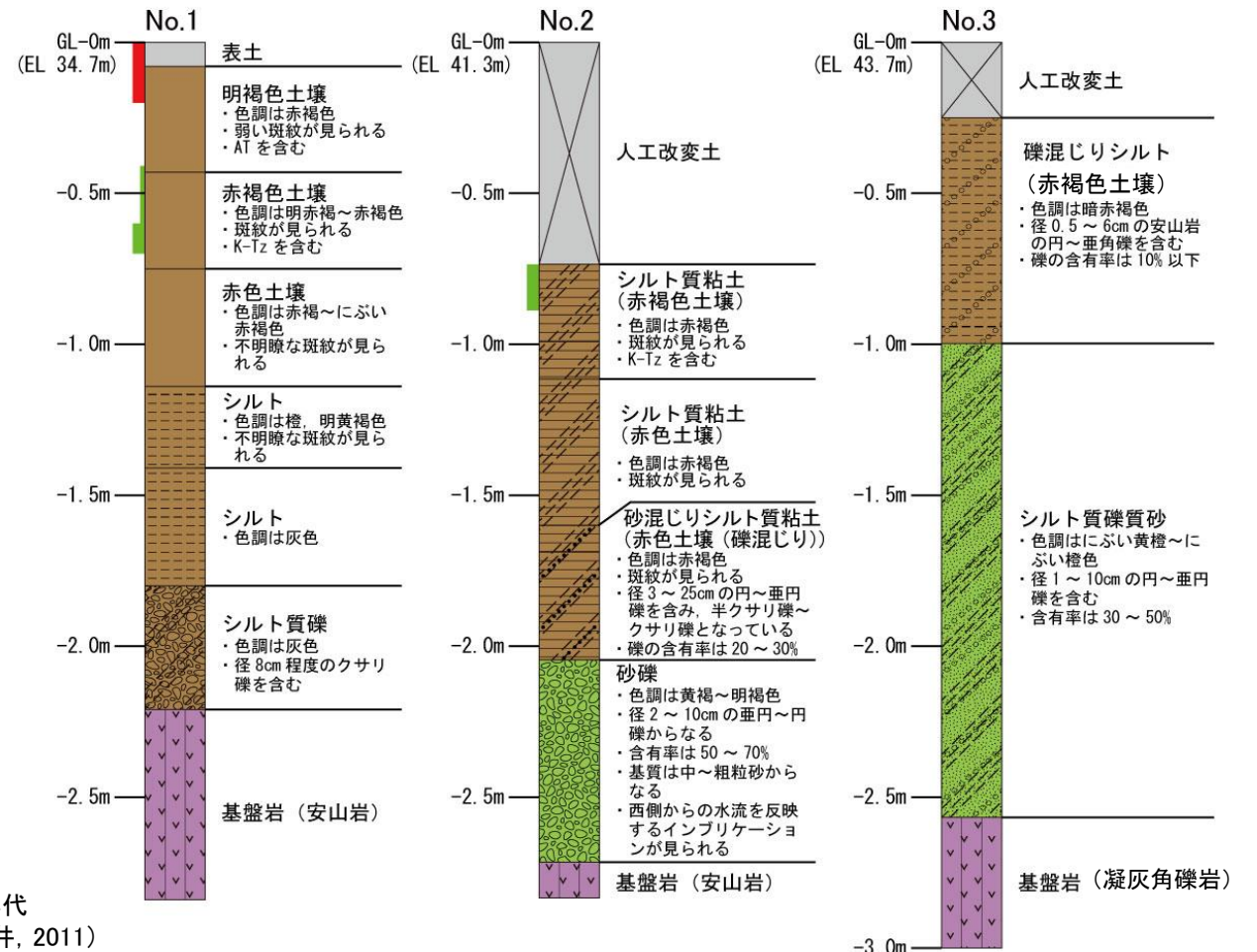
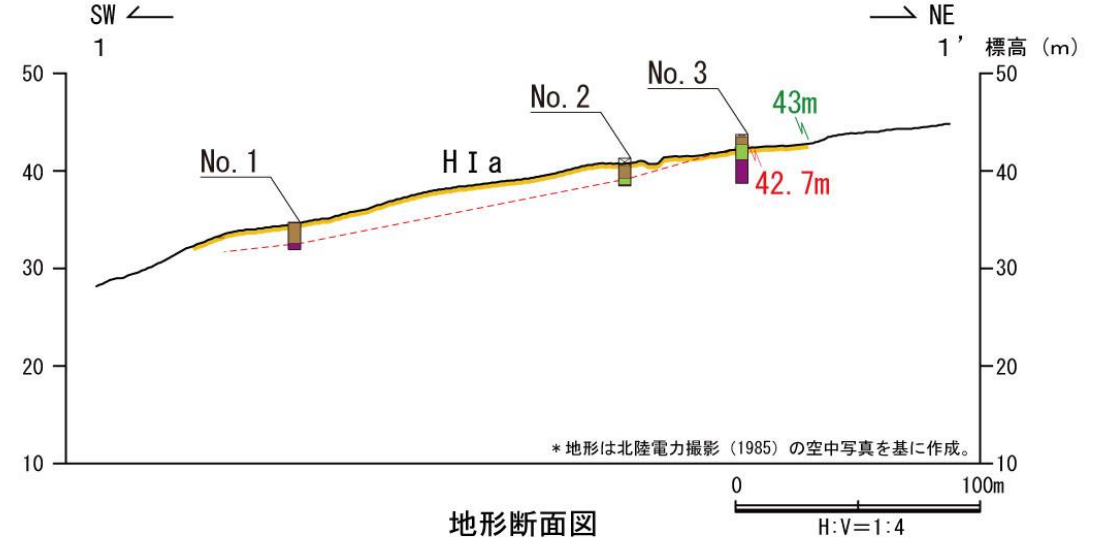


柱状図

# 高位段丘 I a面 2-2' 断面



調査位置図

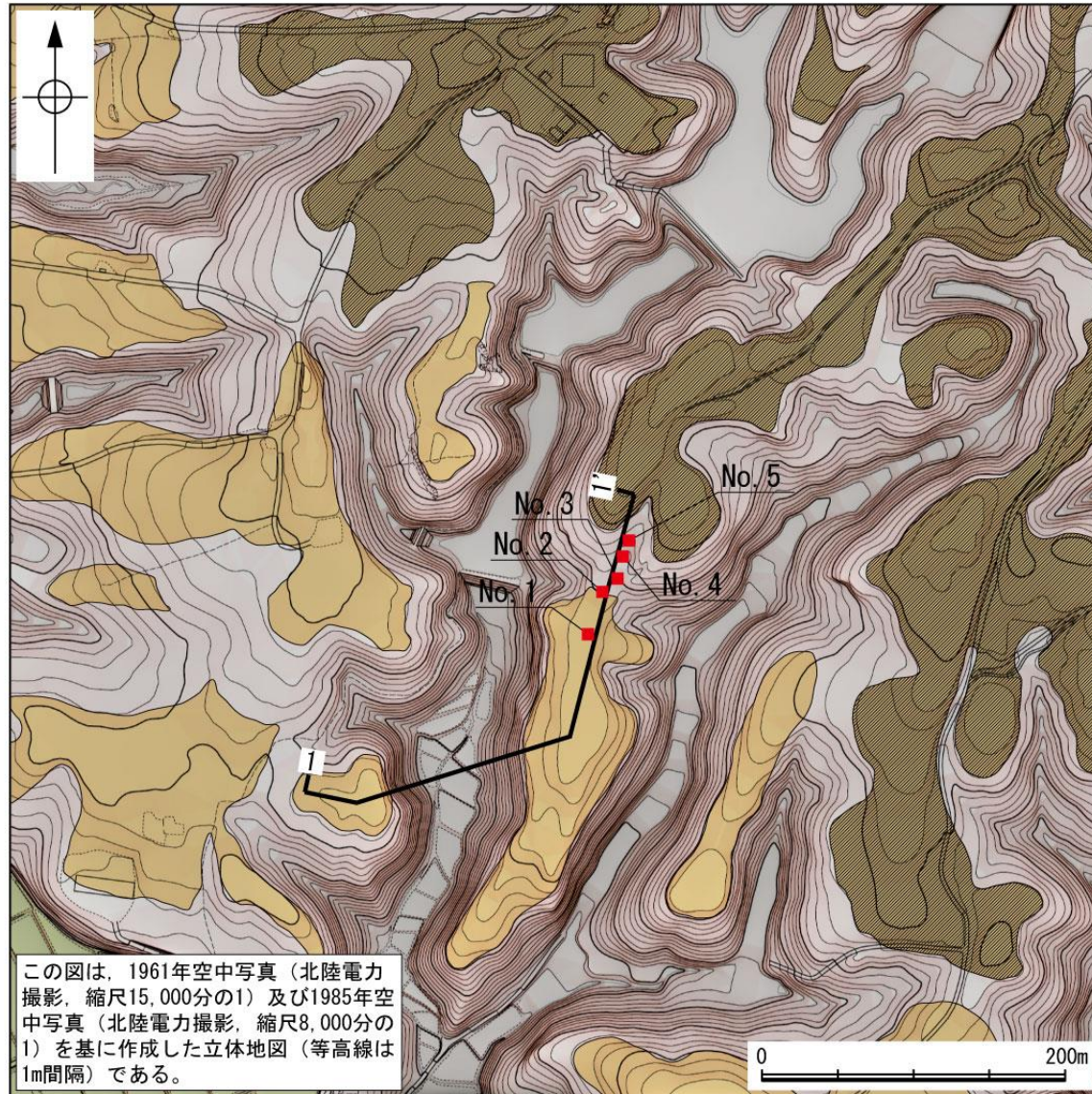


テフラの年代  
(町田・新井, 2011)

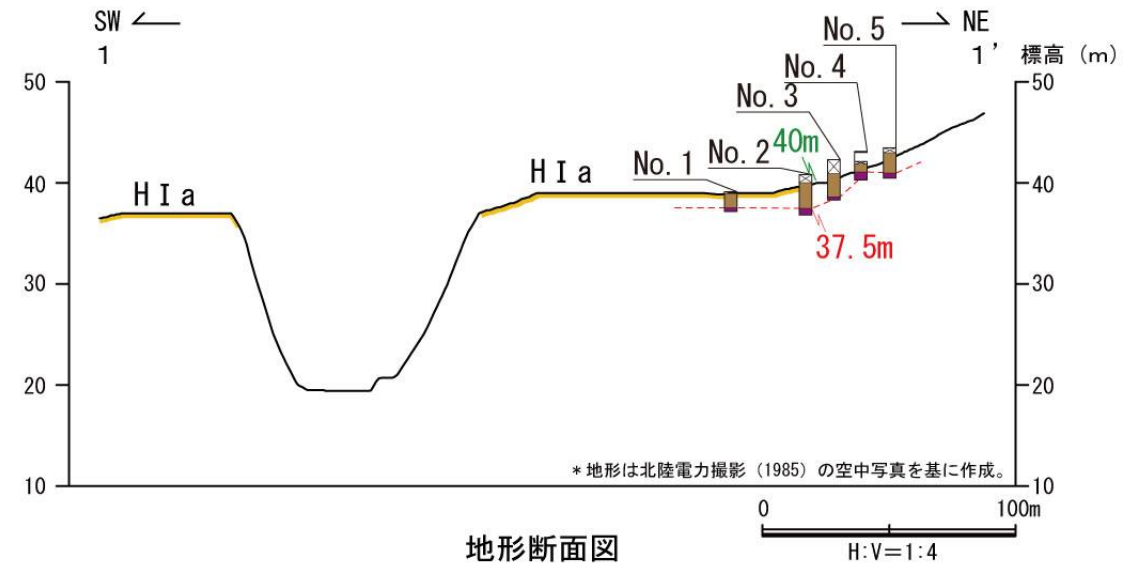
AT: 2.8万～3万年前  
K-Tz: 9.5万年前

凡例	
〔調査位置図〕	〔柱状図〕
高位段丘 I b面	粘土
高位段丘 I a面	シルト
中段段丘 I 面	砂
1 1' 断面線	礫
〔地形断面図〕	シルト質
23m 段丘面内縁標高	砂混じり
20.0m 旧汀線高度	礫混じり
	人工改変土
	表土
	陸成堆積物
	海成堆積物
	基盤岩
	AT
	K-Tz
	K-Tz混在





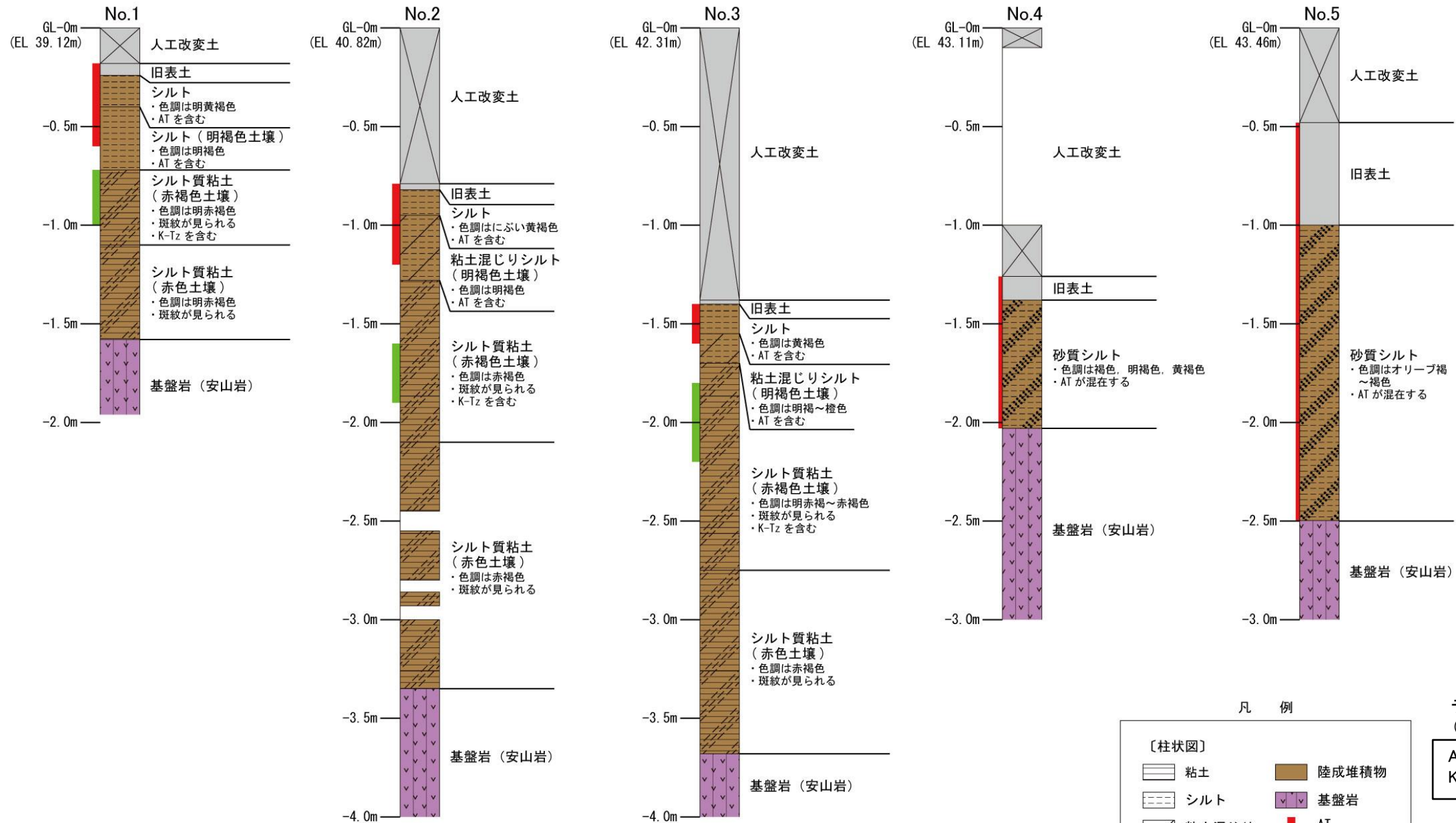
調査位置図



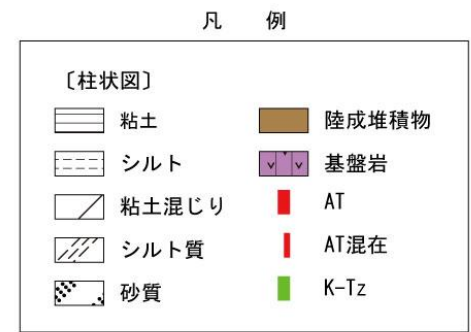
凡 例

〔調査位置図〕	〔地形断面図〕
高位段丘 I b面	陸成堆積物
高位段丘 I a面	基盤岩
中位段丘 I 面	23m 段丘面内縁標高
No. 1 調査位置	20.0m 旧汀線高度
1-1' 断面線	

# 高位段丘 I a面 3-3' 断面②

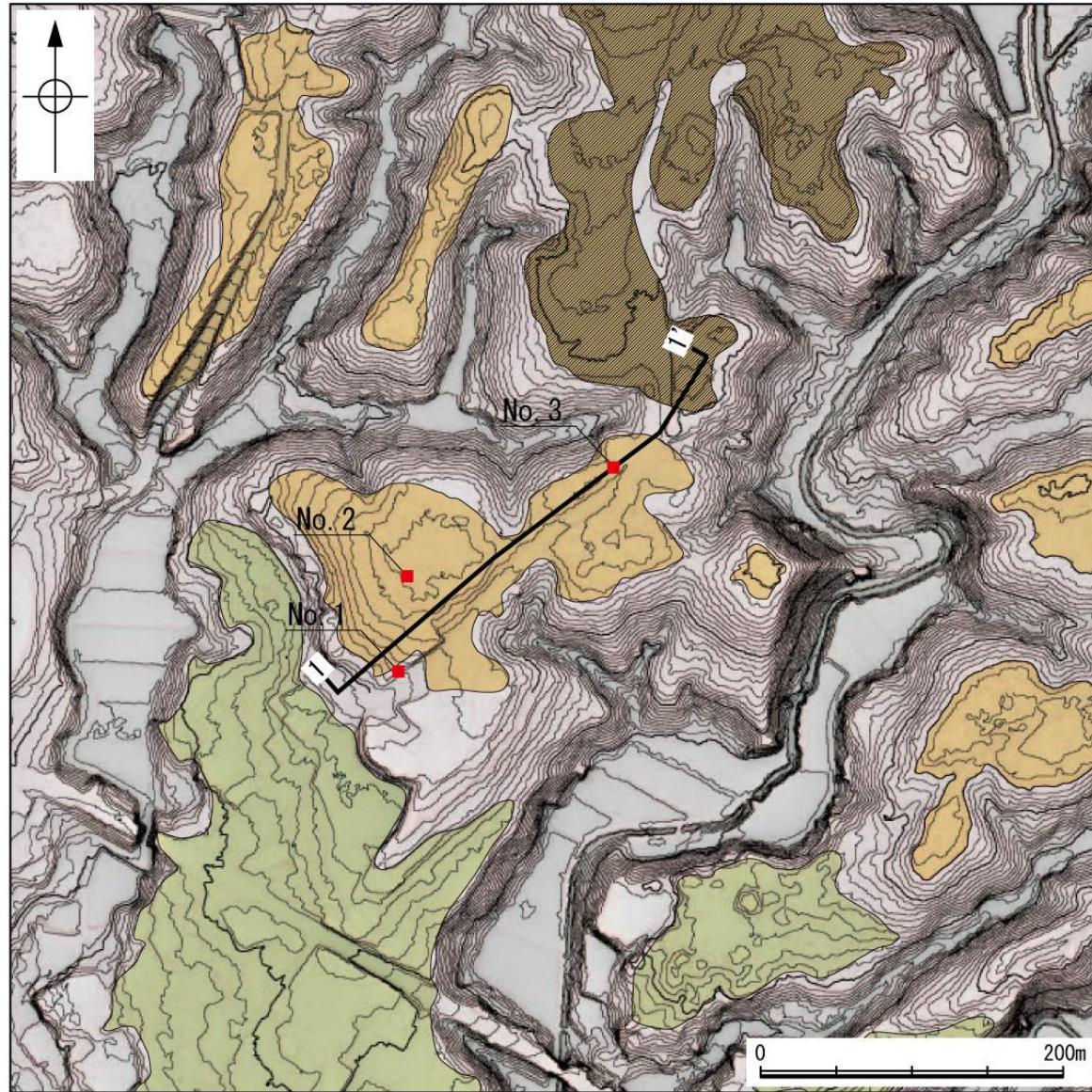


柱状図



テフラの年代  
(町田・新井, 2011)  
AT: 2.8万~3万年前  
K-Tz: 9.5万年前

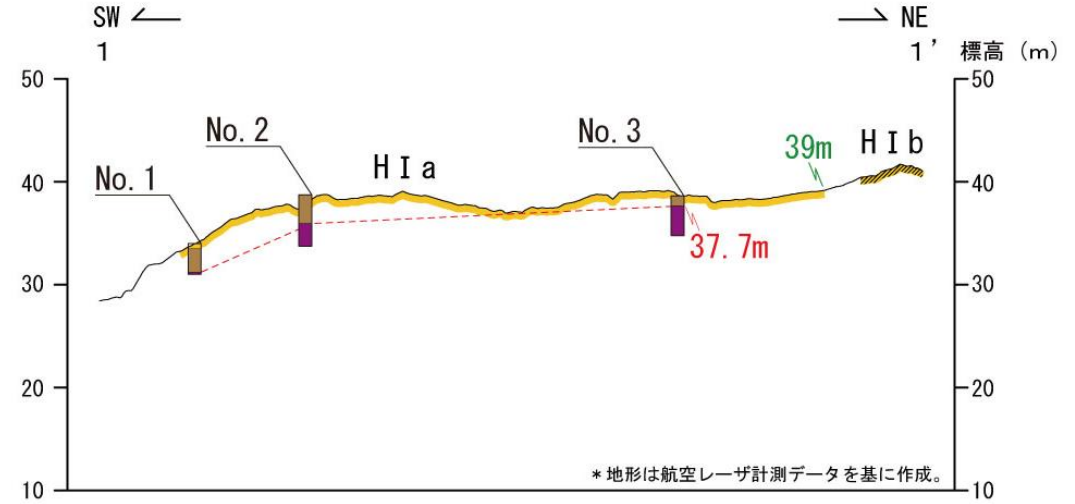
# 高位段丘 I a面 4-4' 断面



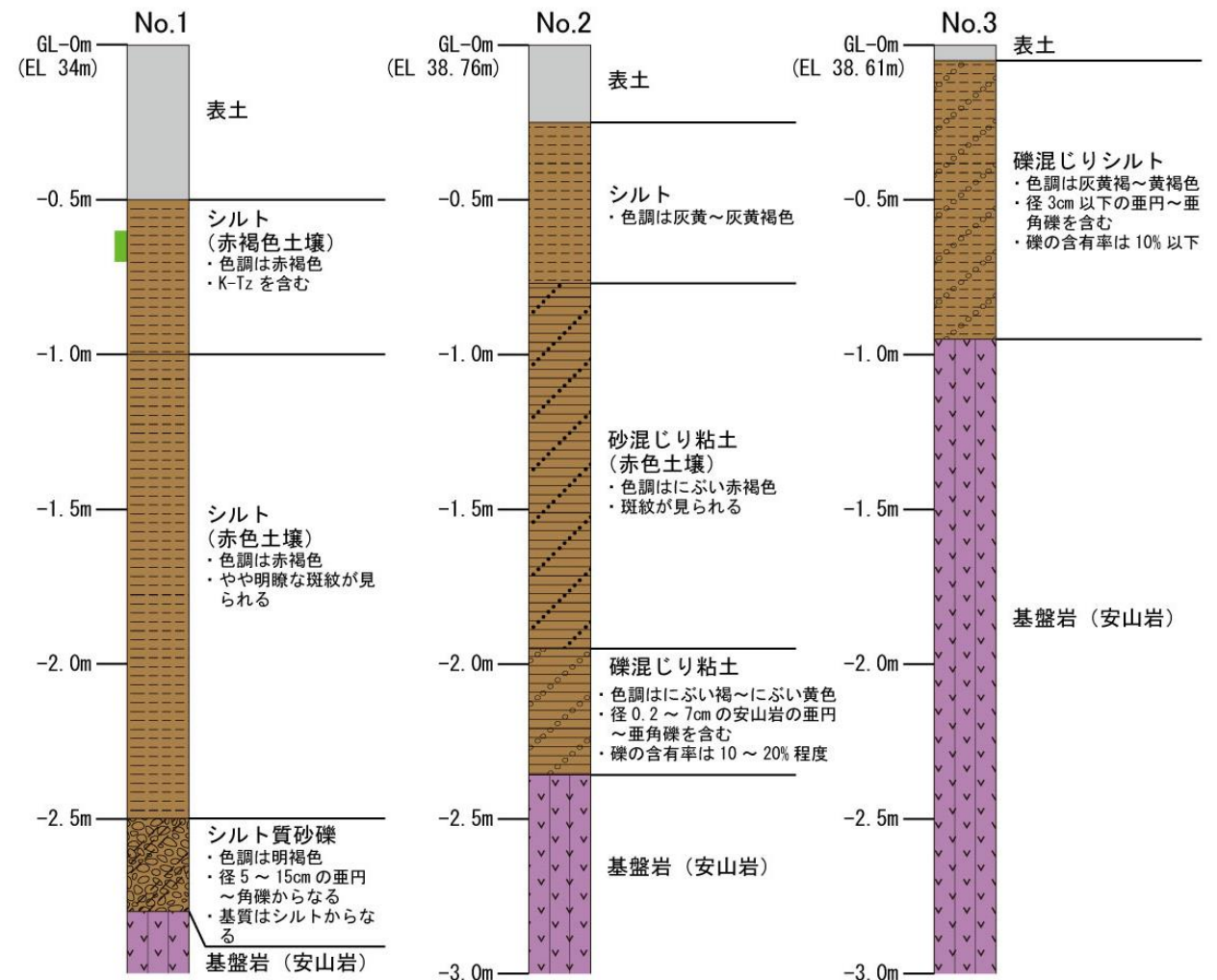
調査位置図

凡 例

〔調査位置図〕	〔地形断面図〕	〔柱状図〕
高位段丘 I b面	陸成堆積物	シルト
高位段丘 I a面	基盤岩	粘土
中位段丘 I 面	23m 段丘面内縁標高	砂礫
No. 1 調査位置	20.0m 旧江線高度	シルト質
1' 断面線		砂混じり
		礫混じり
		陸成堆積物
		基盤岩
		K-Tz



地形断面図

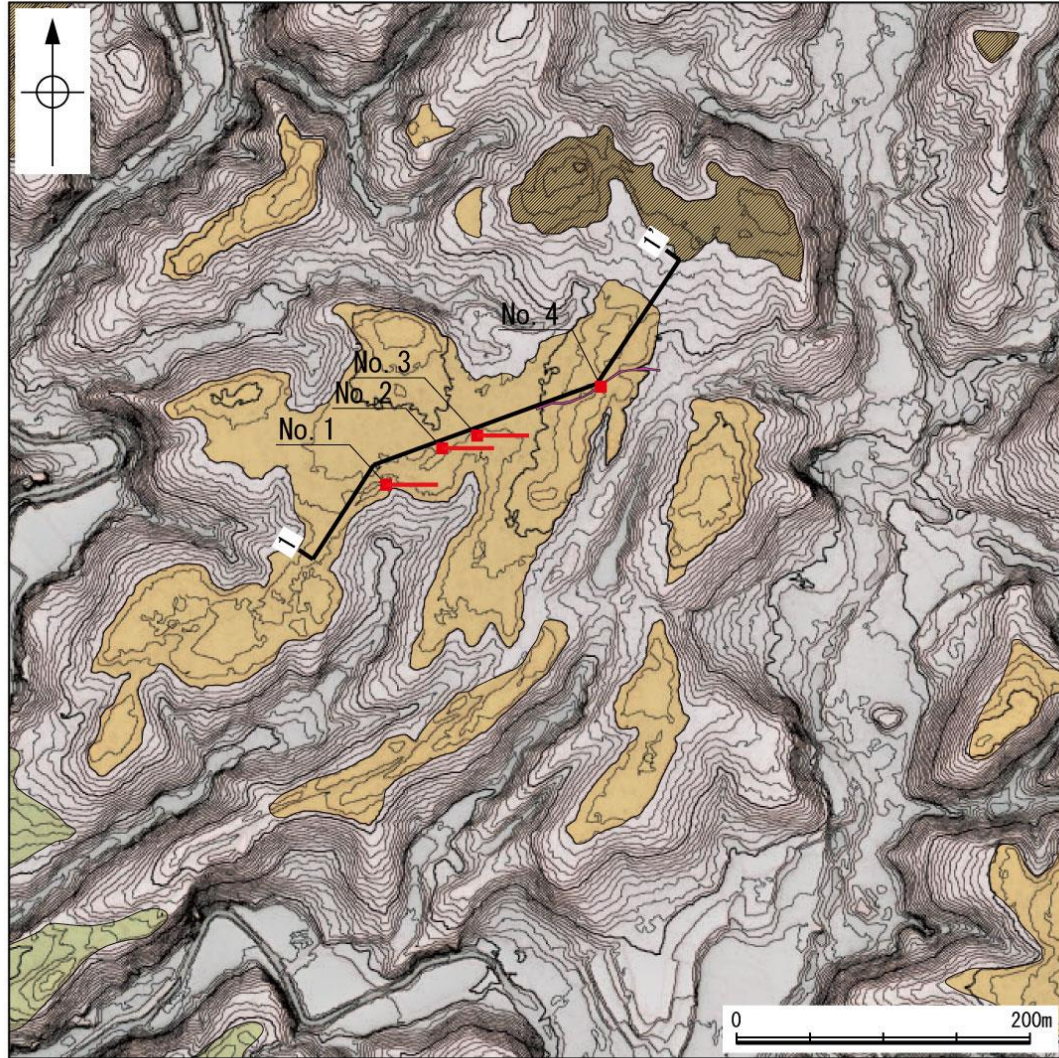


柱状図

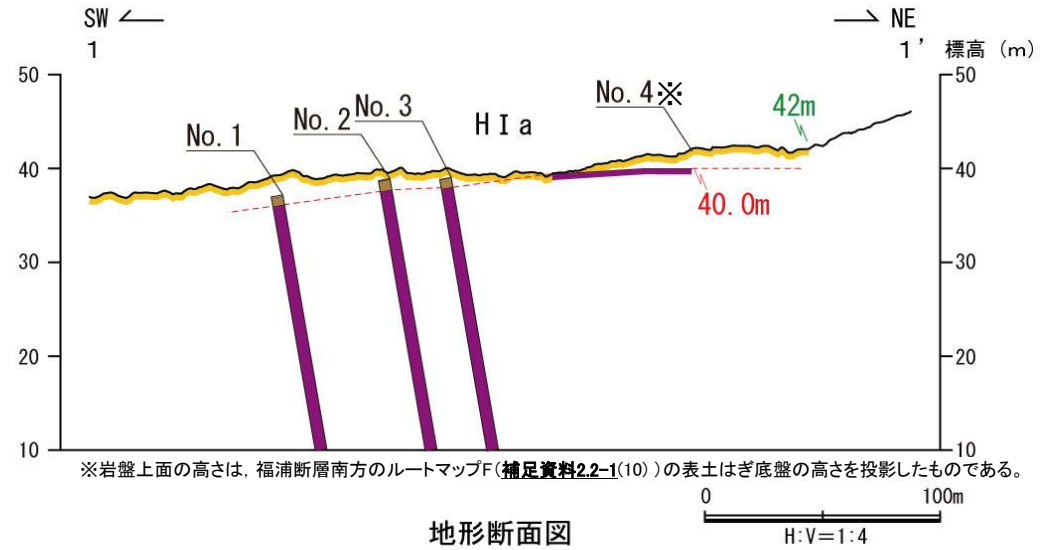
テフラの年代  
(町田・新井, 2011)

K-Tz: 9.5万年前

# 高位段丘 I a面 5-5' 断面



調査位置図

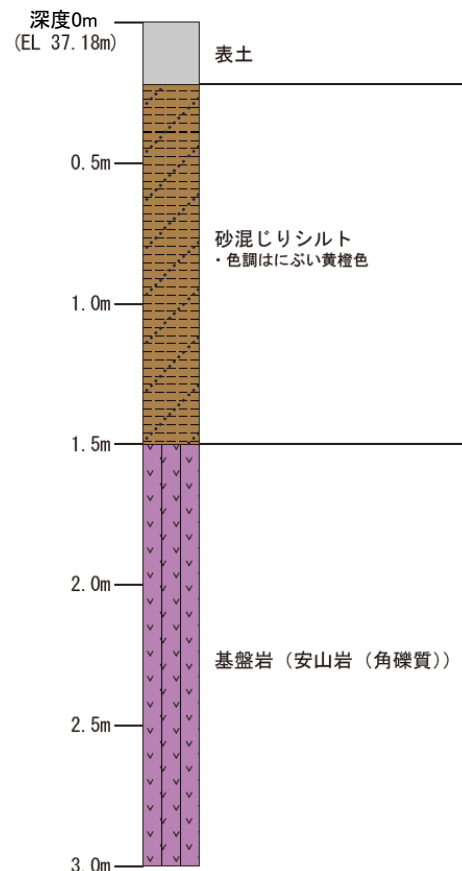


地形断面図

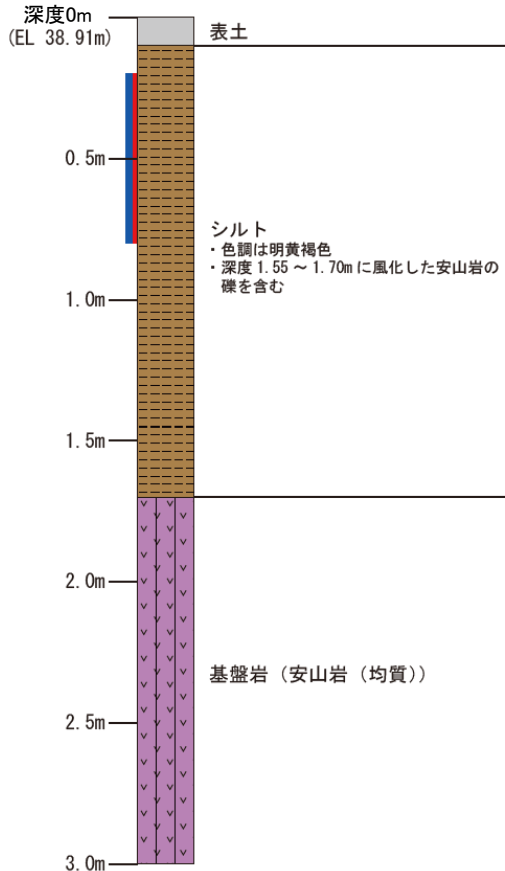
テフラの年代  
(町田・新井, 2011)

K-Ah: 7.3千年前  
AT: 2.8万~3万年前

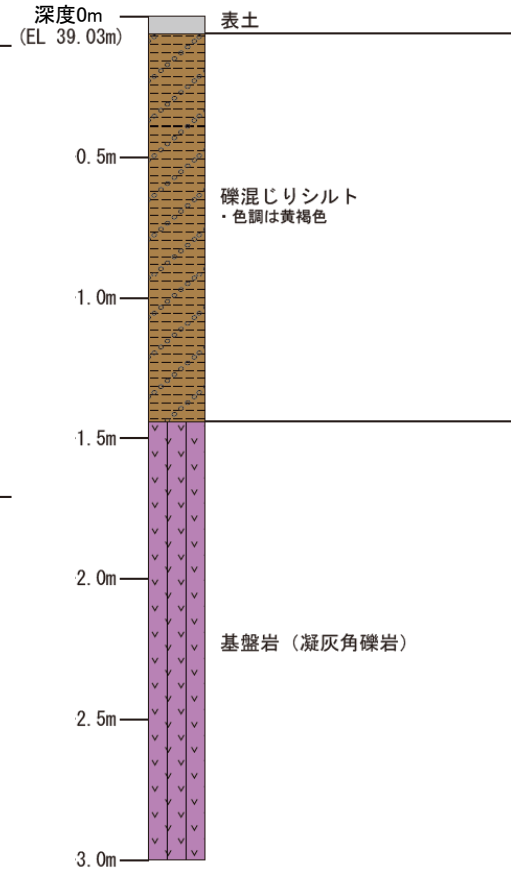
No.1 (FD-5孔)



No.2 (FD-4孔)



No.3 (FD-7孔)



凡例

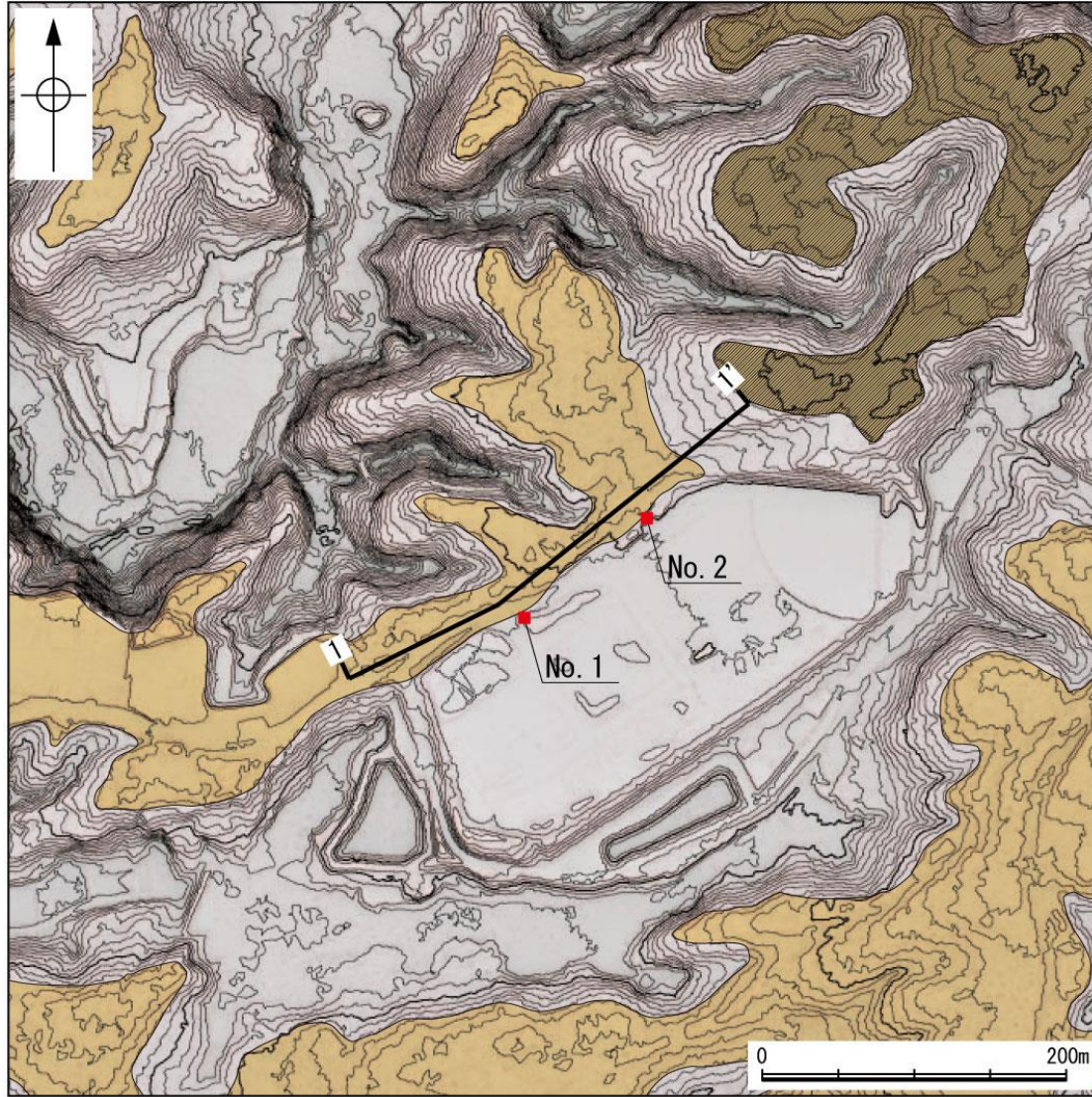
〔調査位置図〕	〔地形断面図〕
高位段丘 I b面	陸成堆積物
高位段丘 I a面	基盤岩
中位段丘 I 面	23m 段丘面内縁標高
No. 1 調査位置	20.0m 旧汀線高度
1' 断面線	

凡例

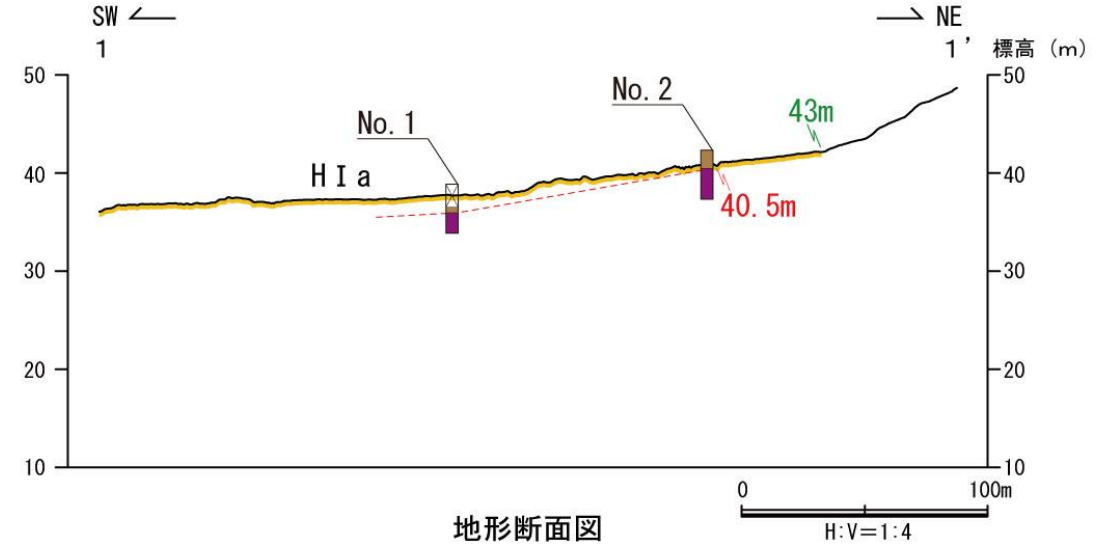
腐植混じり	粘土
腐植質	シルト
粘土混じり	砂
粘土質	砂礫
シルト混じり	基盤岩
シルト質	人工改変土
砂混じり	表土
砂質	被覆層
礫混じり	海成堆積物
	AT+K-Ah混在

・FD-4孔, 5孔, 7孔の掘進傾斜は45°

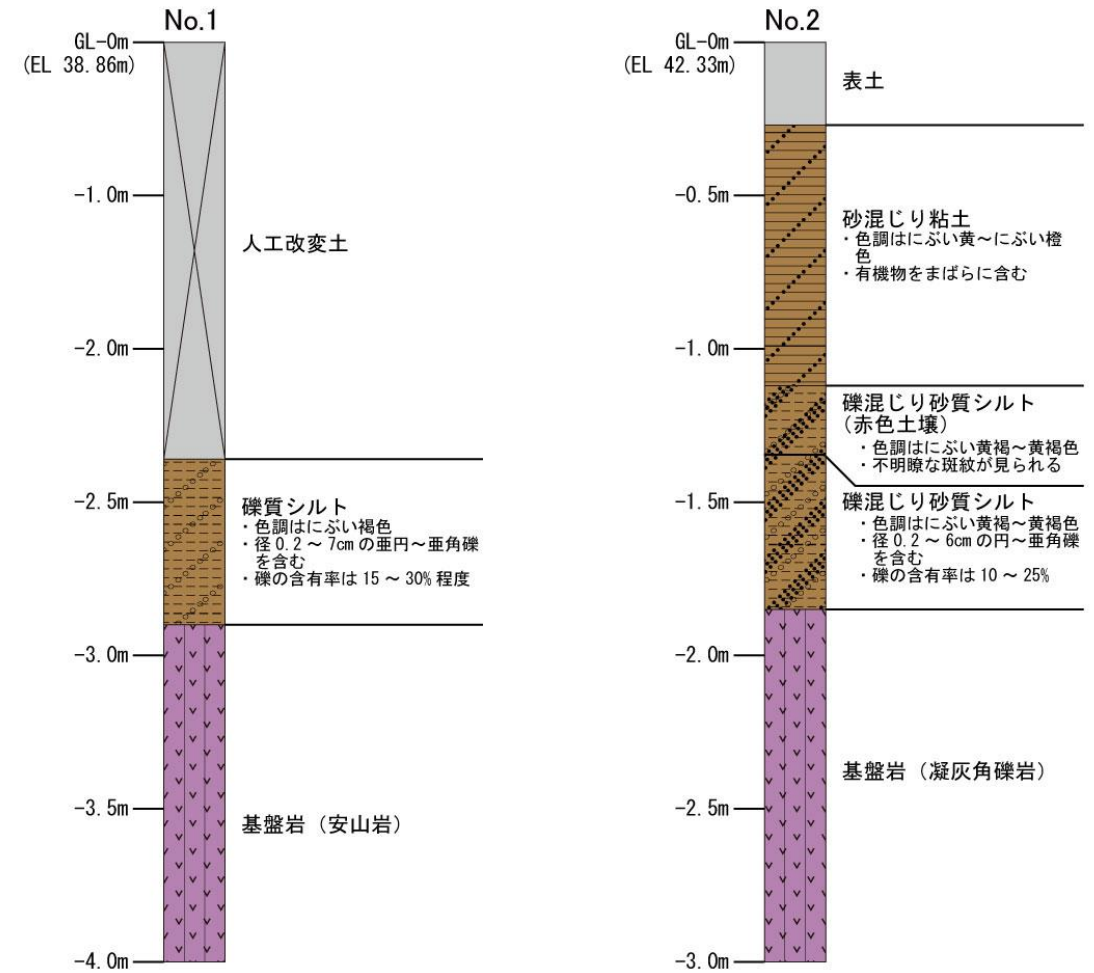
# 高位段丘 I a面 6-6' 断面



調査位置図



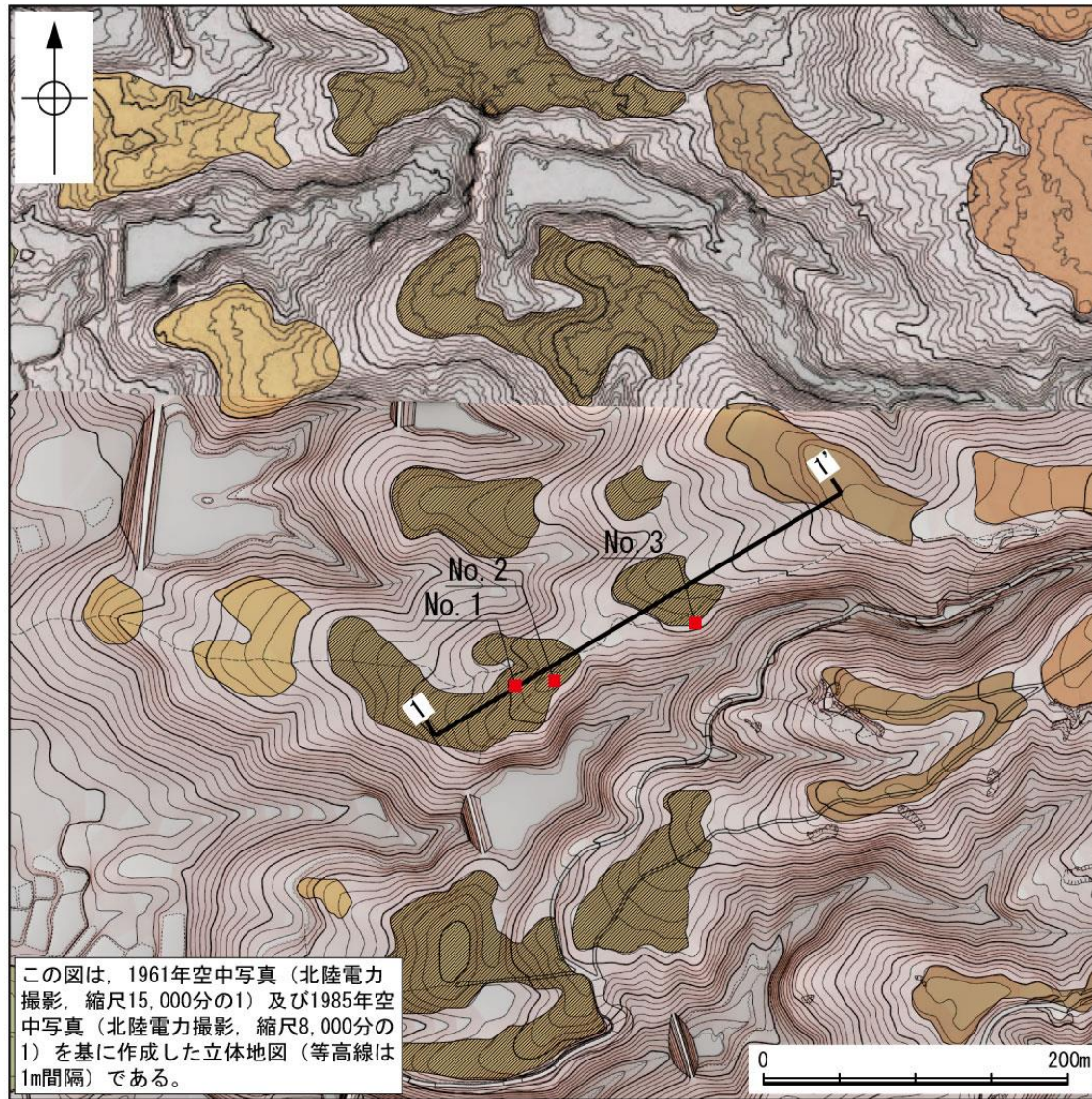
地形断面図



凡 例

〔調査位置図〕		〔柱状図〕	
	高位段丘 I b面		粘土
	高位段丘 I a面		シルト
	1-1 断面線		砂
	23m 段丘面内縁標高		礫
	20.0m 旧汀線高度		砂混じり
			砂質
			礫混じり
			人工改変土
			表土
			陸成堆積物
			海成堆積物
			基盤岩
			AT
			K-Tz

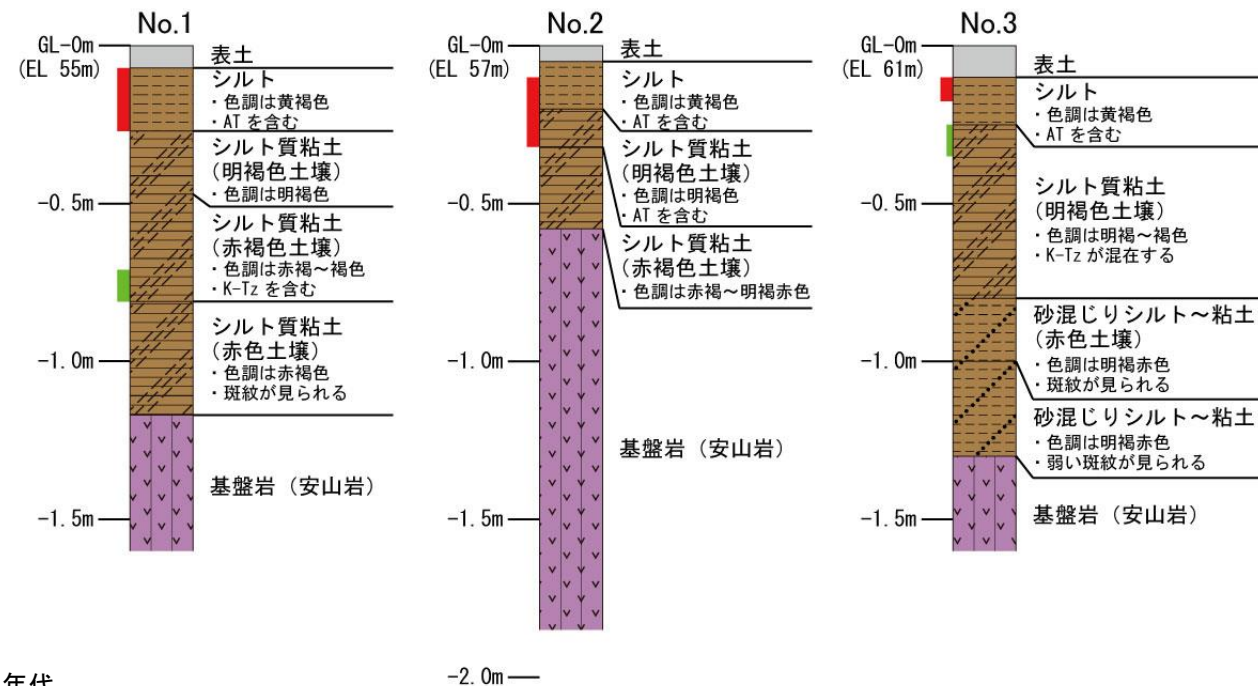
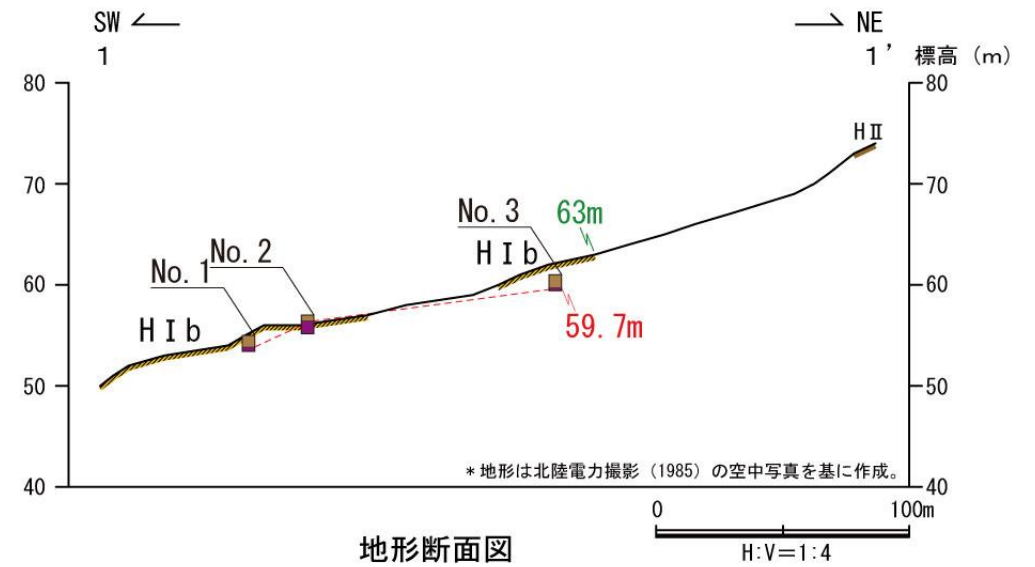
# 高位段丘 I b面 1-1' 断面



調査位置図

凡例

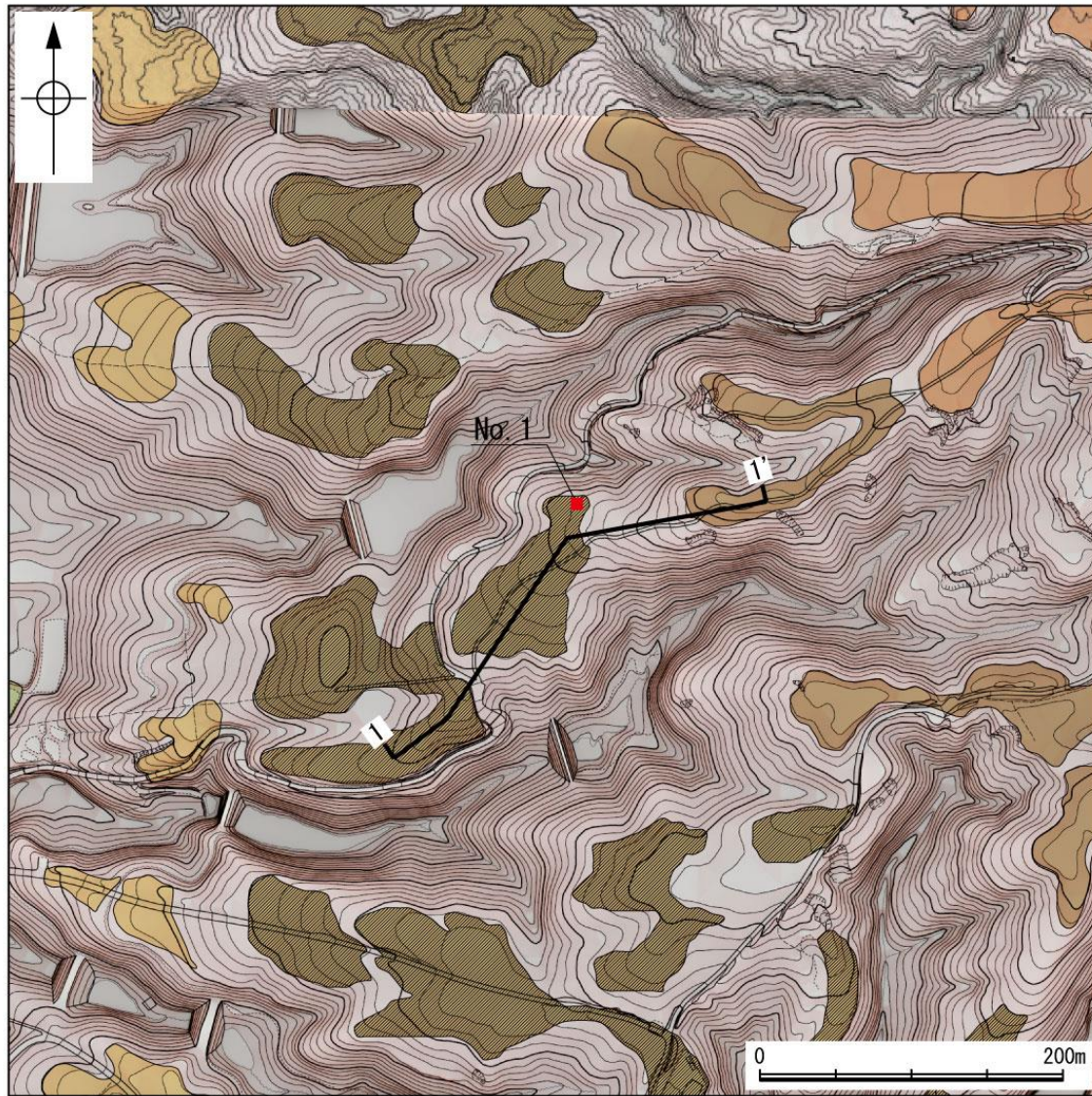
〔調査位置図〕	〔地形断面図〕	〔柱状図〕
高位段丘Ⅲ面	陸成堆積物	粘土
高位段丘Ⅱ面	基盤岩	シルト
高位段丘Ⅰb面	23m 段丘面内縁標高	シルト質
高位段丘Ⅰa面	20.0m 旧汀線高度	砂混じり
● No. 1 調査位置		陸成堆積物
1-1' 断面線		基盤岩
		AT
		K-Tz
		K-Tz混在



柱状図

テフラの年代  
(町田・新井, 2011)  
AT: 2.8万~3万年前  
K-Tz: 9.5万年前

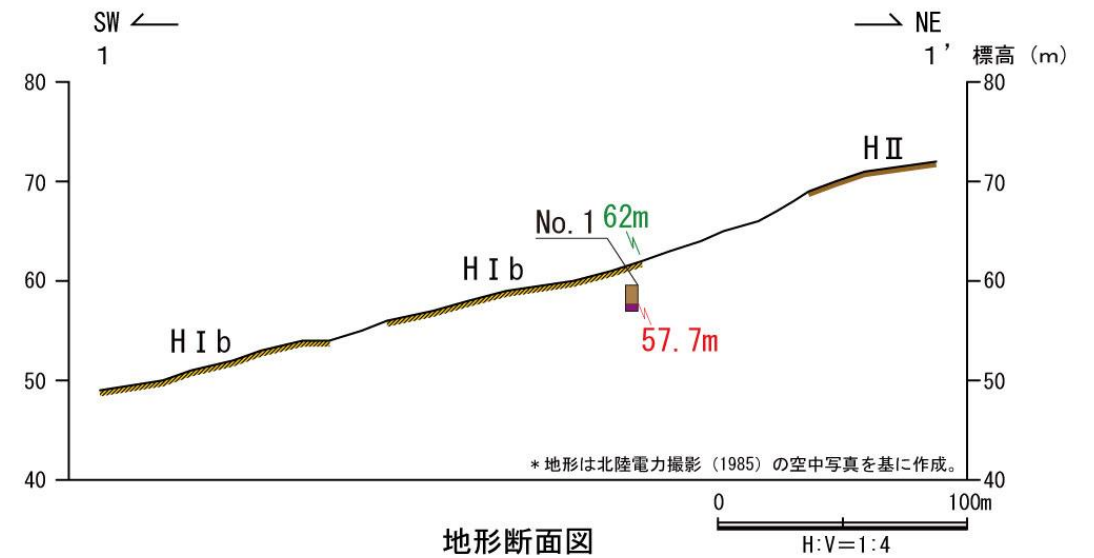
# 高位段丘 I b面 2-2' 断面



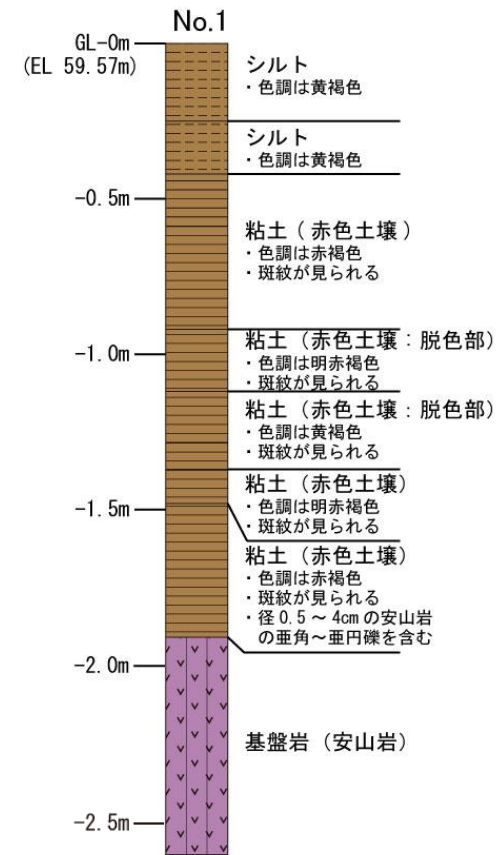
調査位置図

凡例

〔調査位置図〕	〔地形断面図〕	〔柱状図〕
高位段丘Ⅲ面	陸成堆積物	粘土
高位段丘Ⅱ面	基盤岩	シルト
高位段丘Ⅰb面	23m 段丘面内縁標高	基盤岩
高位段丘Ⅰa面	20.0m 旧汀線高度	
1' 1' 断面線		

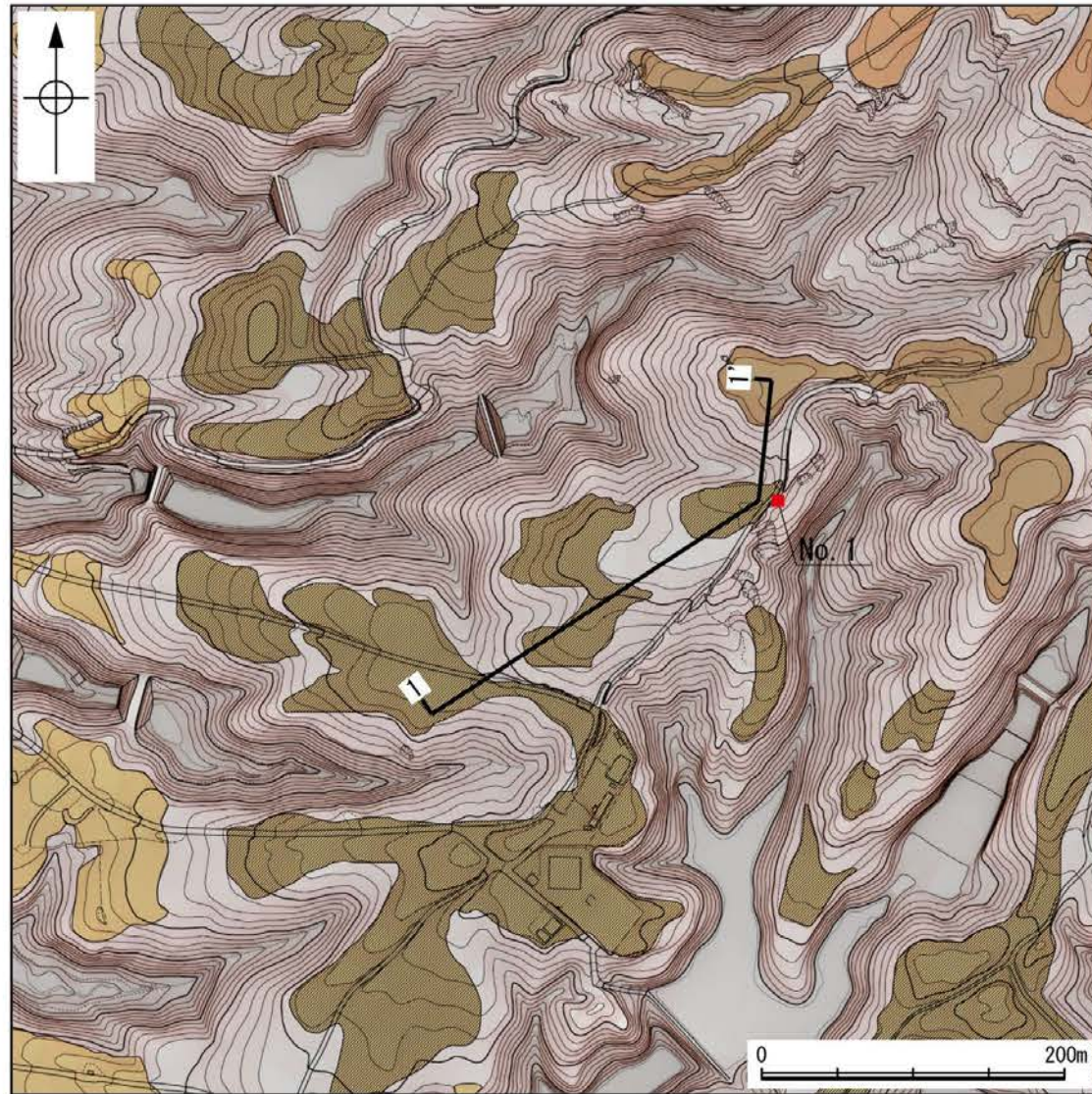


地形断面図



柱状図

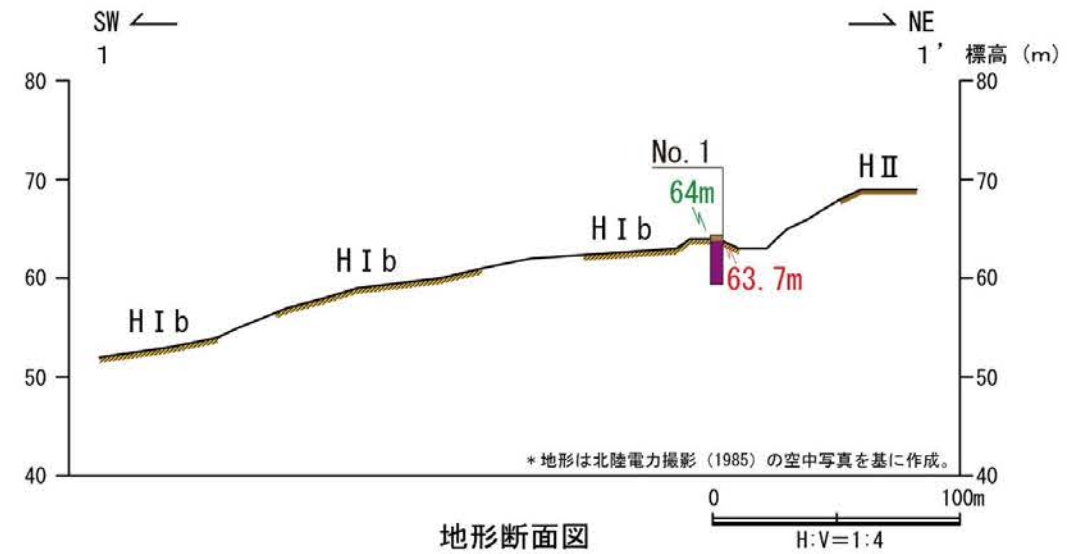
# 高位段丘 I b面 3-3' 断面



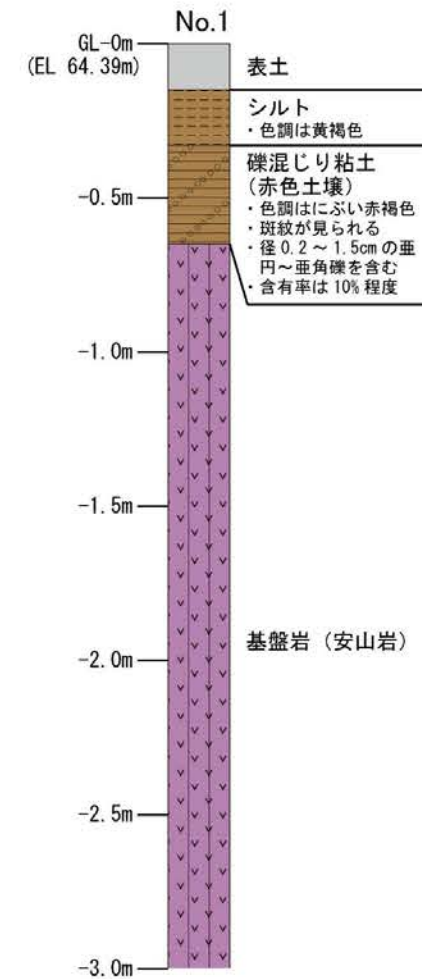
調査位置図

凡 例

〔調査位置図〕	〔地形断面図〕	〔柱状図〕
高位段丘Ⅲ面	陸成堆積物	粘土
高位段丘Ⅱ面	基盤岩	シルト
高位段丘Ⅰb面	23m 段丘面内縁標高	礫混じり
高位段丘Ⅰa面	20.0m 旧汀線高度	陸成堆積物
No. 1 調査位置		基盤岩
1:1' 断面線		



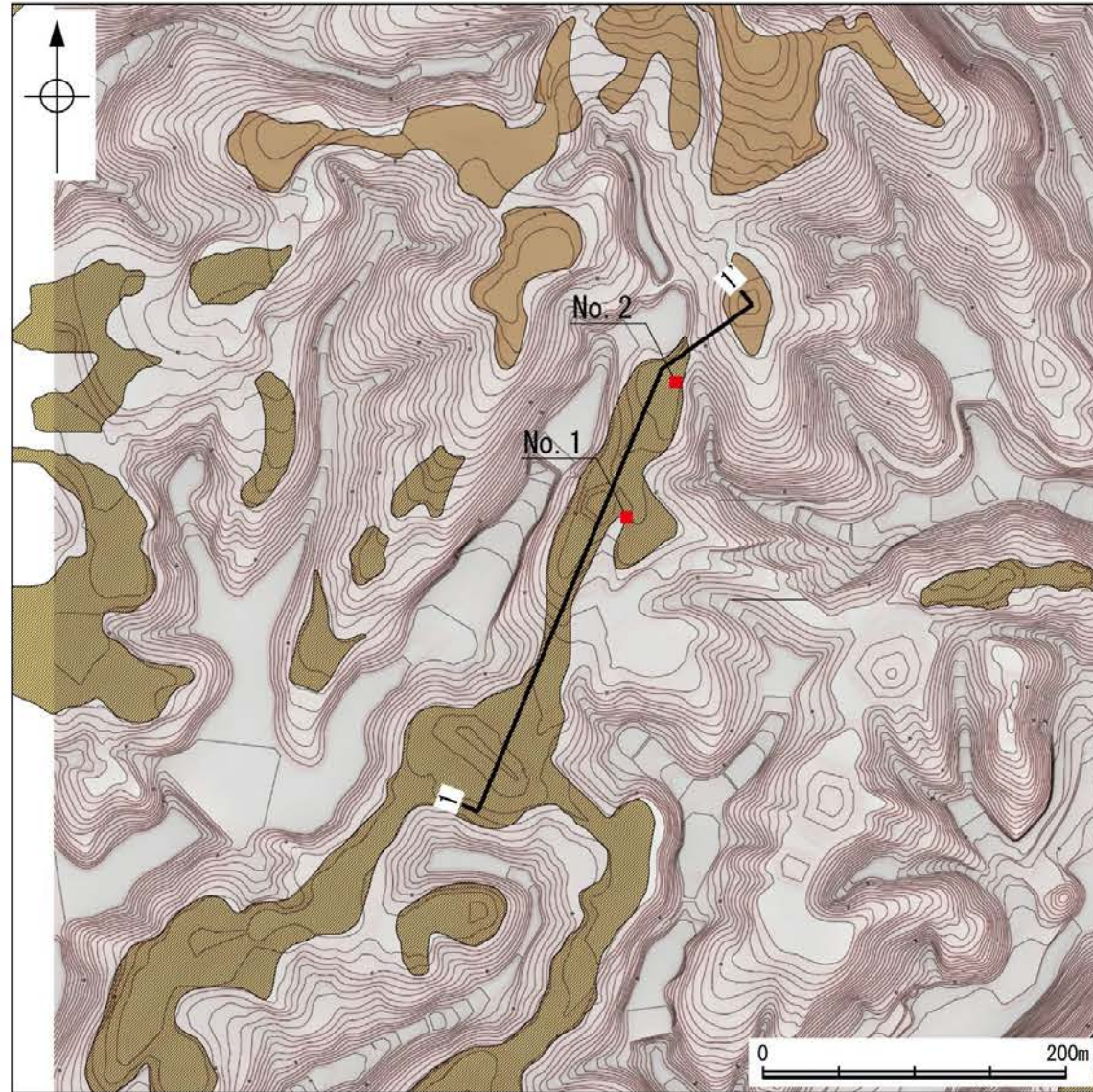
地形断面図



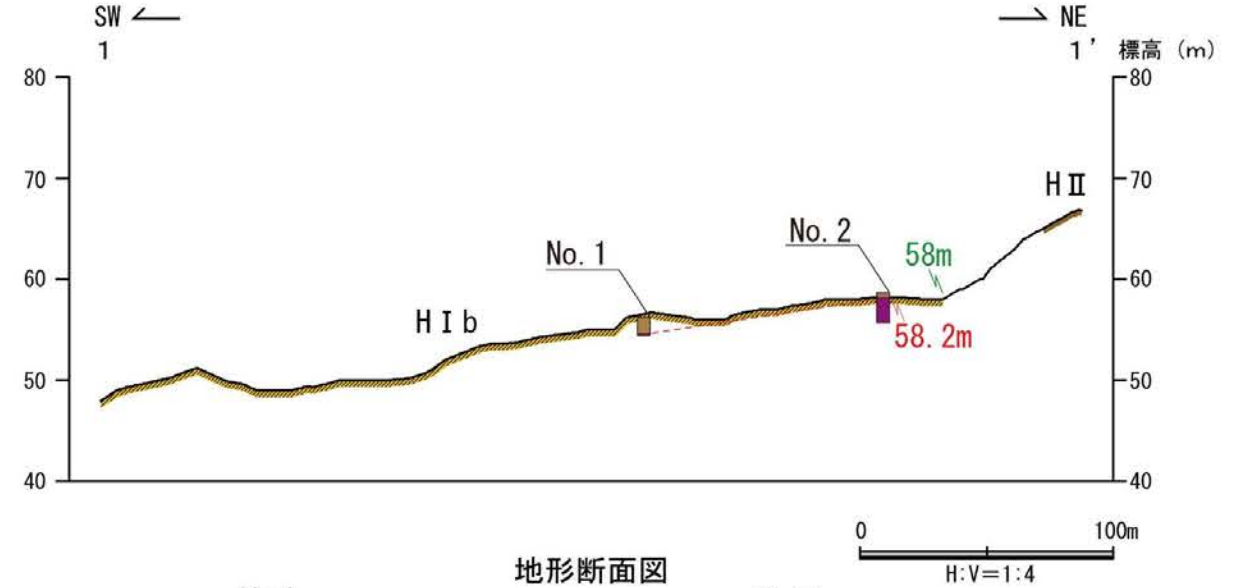
柱状図



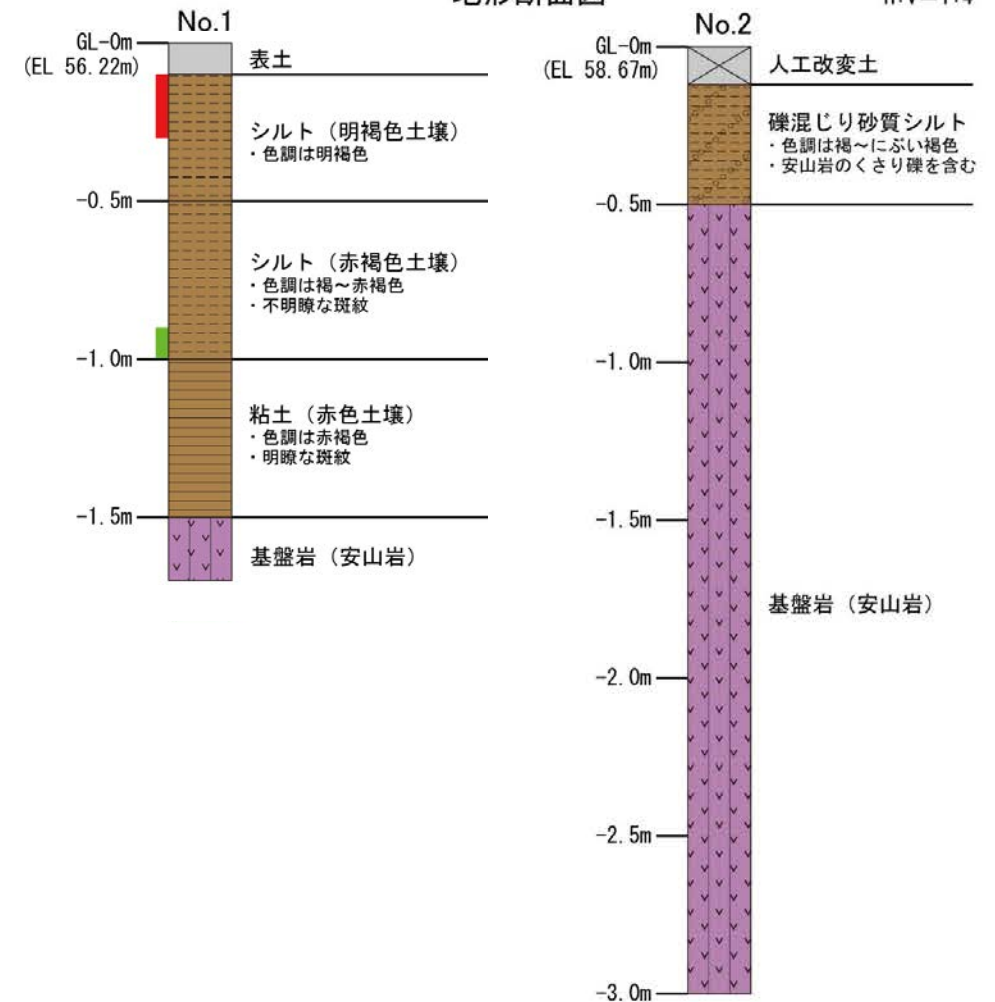
# 高位段丘 I b面 4-4' 断面



調査位置図



地形断面図



柱状図

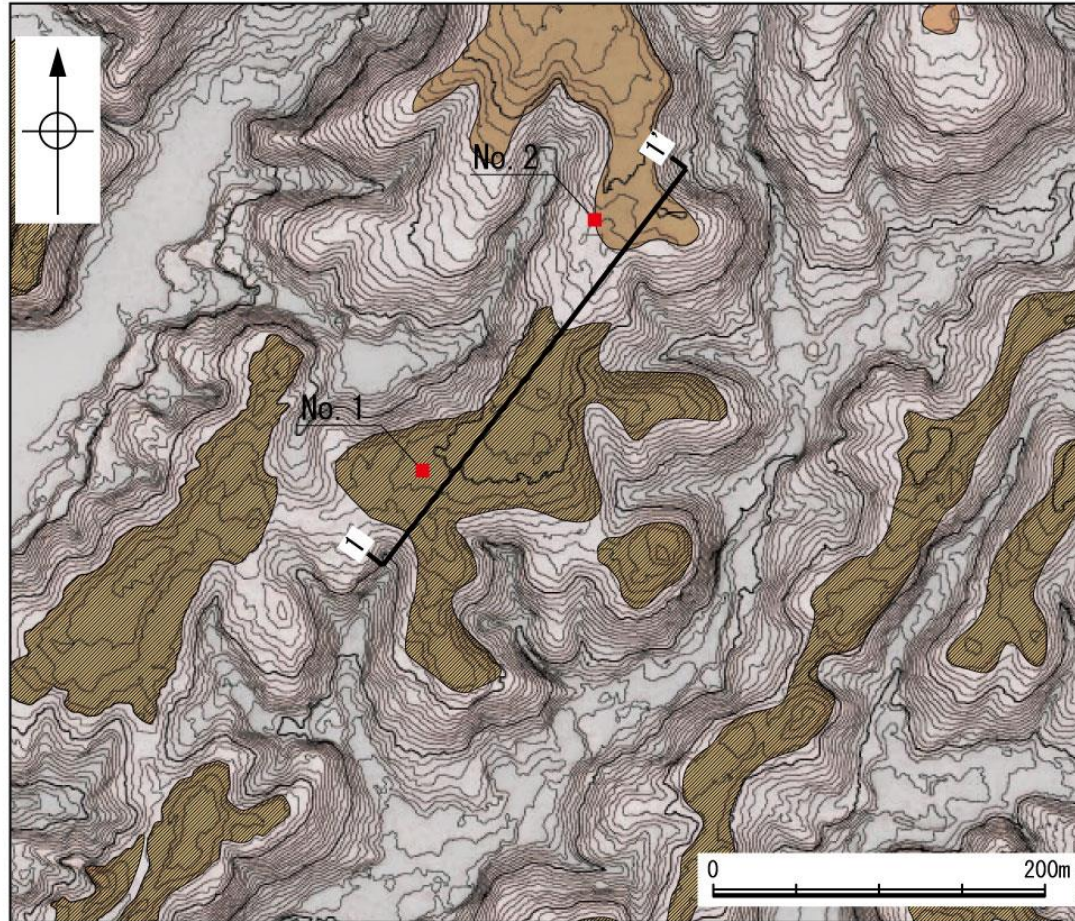
凡 例

〔調査位置図〕		〔柱状図〕	
高位段丘Ⅲ面	シルト	陸成堆積物	
高位段丘Ⅱ面	粘土	基盤岩	
高位段丘Ⅰb面	砂礫	AT	
1' 断面線	シルト質	K-Tz	
〔地形断面図〕		砂混じり	
23m 段丘面内縁標高	礫混じり		
20.0m 旧汀線高度			

テフラの年代  
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万~3万年前  
K-Tz: 9.5万年前

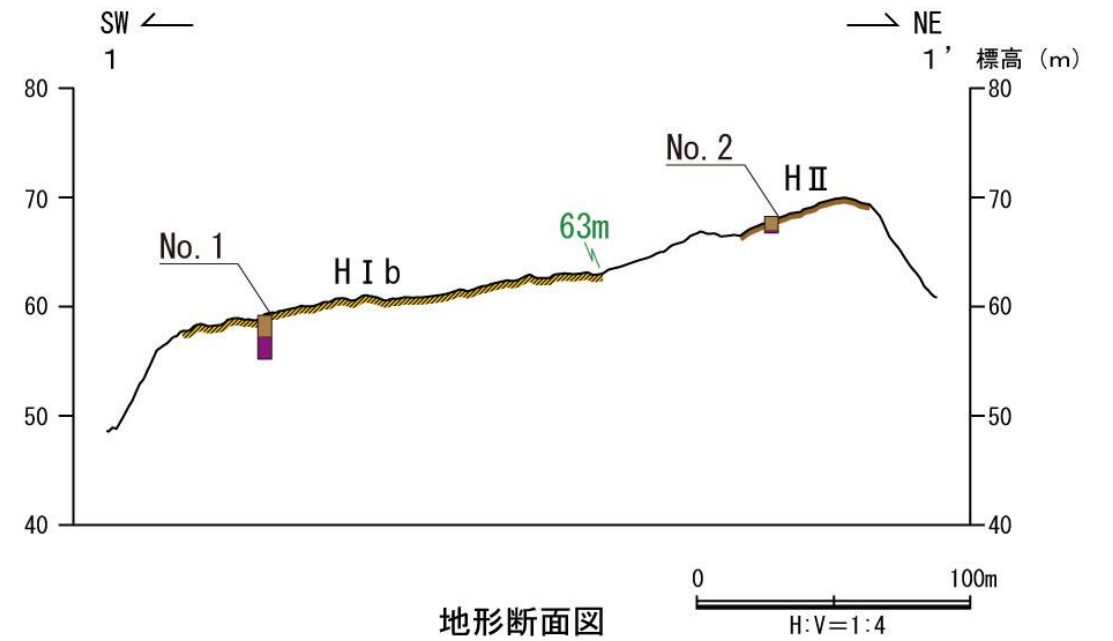
# 高位段丘 I b面 6-6' 断面



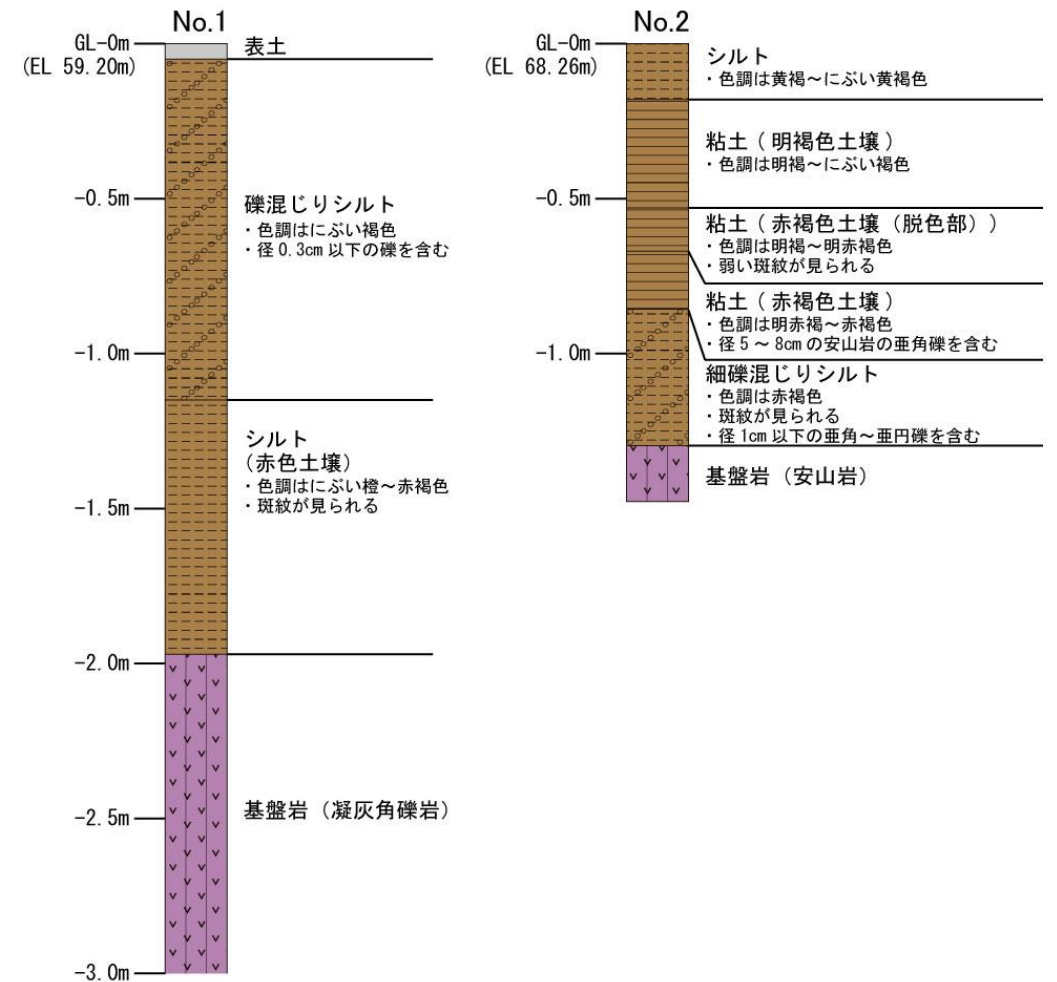
調査位置図

## 凡 例

〔調査位置図〕	〔柱状図〕
高位段丘 III面	粘土
高位段丘 II面	シルト
高位段丘 I b面	礫混じり
1 1' 断面線	陸成堆積物
〔地形断面図〕	基盤岩
23m 段丘面内縁標高	



地形断面図



柱状図